

143

110

檢
查
報
告

昭和六年度

會計検査院長官房調査料編



0030571-001

14. 3-110

〔会計検査院〕検査報告

会計検査院長官房調査科・編

会計検査院長官房調査科

昭和6-8年度

〔昭和8-10〕

AEA

會計検査院長官房調査科編纂

檢
査
報
告

昭和六年度



會計検査院長官房調査科編纂



報告

昭和六年度



會計検査院 寄贈本

14.3-110.

凡例

一、本書ハ昭和六年度歳入歳出決算検査報告ヲ集録シタルモノナルモ會計検査院ヨリ政府ニ提出セル歳入歳出決算検査報告トハ其ノ體裁ヲ異ニス

一、本書ニハ豫算及法律勅令違背ノ事項ニ對スル政府ノ辯明及貴衆兩院ノ決議ヲ併セ掲記セリ

一、本書中【報告】ハ検査報告、【辯明】ハ政府辯明、【貴決】ハ貴族院決議、【衆決】ハ衆議院決議ノ略稱トス

昭和八年八月

會計検査院長官房調査科

- 一 本書中「報告」ハ會計部報告、「附録」ハ海關報告、「資料」ハ貴族院報告、「参考」ハ衆議院報告、各報告イニ
- 一 本書ニハ實業及商工部報告、事案ニ従テハ海關報告、附録ニ貴族院報告、先頭ニ附シテ附録イニ
- 告イハ其ノ關係ヲ異ニス

J 10

一 本書ハ昭和六年六月三十日現在ノ歳入歳出決算報告ヲ其ノ中心トシテ、其ノ前年及前々年ノ歳入歳出決算報告

昭和六年度歳入歳出決算検査報告

目次

索引	前頁
昭和六年度歳入歳出總決算	一
昭和六年度各特別會計歳入歳出決算	一
決算額ト日本銀行證明額トノ對照	四
豫算及法律勅令違背ノ事項	五
一般會計	七
歳入	七
歳出	一八
内務省所管	一八
大藏省所管	二四
陸軍省所管	二六
海軍省所管	三二
文部省所管	三五
農林省所管	三六
商工省所管	三八
逓信省所管	四〇

目次

一

特別會計

特別會計	四四
內務省所管	四四
健康保險	四四
歲入	四四
歲出	四五
大藏省所管	四五
造幣局	四五
歲出	四六
印刷局	四六
歲出	四七
專賣局	四七
歲出	四七
大藏省預金部	五二
歲出	五二
國有財產整理資金	五三
歲入	五三
海軍省所管	五八
海軍工廠資金	五八
歲出	五八

文部省所管

文部省所管	五九
學校及圖書館	五九
歲出	五九
商工省所管	六二
製鐵所	六二
資本勘定	六二
歲出	六二
作業勘定	六三
歲入	六三
鐵道省所管	六六
帝國鐵道	六六
資本勘定	六七
歲出	六七
用品勘定	六九
歲出	六九
收益勘定	七二
歲入	七二
拓務省所管	七三
朝鮮總督府	七三

歲入	七四
歲出	七八
臺灣總督府	八三
歲入	八三
歲出	八五
樺太廳	九〇
歲入	九〇
官有物	九二
豫算超過及豫算外支出	九七
既往年度	九九
既往年度未確定金額ノ檢查確定	九九
豫算及法律勅令違背ノ事項	九九
昭和二年度	一〇〇
昭和四年度	一〇〇
昭和五年度	一〇一
昭和六年度總決算未確定金額表	一〇六
昭和六年度各特別會計決算未確定金額表	一一〇
既往年度總決算未確定額中檢查確定金額表	一一三
既往年度各特別會計決算未確定額中檢查確定金額表	一二八

附錄

昭和六年度豫算及法律勅令違背事項別件數及金額表	一
-------------------------	---

索引

目次

(一)	租	五頁
(一)	租	五頁
(1)	徵收不足ニ屬スルモノ	五
(2)	徵收過ニ屬スルモノ	七
(3)	賦課徵收ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ	七
(4)	徵收ニ關シ監督其ノ宜シキヲ得サルモノ	八
(二)	租税外歳入	九
(1)	徵收ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ	九
(2)	徵收ニ關シ監督其ノ宜シキヲ得サルモノ	一〇
(3)	土地又ハ物件ノ賣拂ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ	一〇

索引 目次

歳入歳出

(一)	俸給、給與又ハ賞與等ノ支給	一二
(1)	豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ	一一
(二)	工事ノ施行	一四
(1)	措置其ノ宜シキヲ得サルモノ	一四
(2)	請負契約其ノ宜シキヲ得サルモノ	一五
(3)	豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ	一五
(三)	物品ノ購入	一六
(1)	措置其ノ宜シキヲ得サルモノ	一六
(四)	土地ノ買収	一七
(1)	措置其ノ宜シキヲ得サルモノ	一七
(五)	補助金又ハ給與金ノ交付ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ	一七
(六)	運賃又ハ請負代金ノ決定其ノ宜シキヲ得サルモノ	一八

(七)	監督其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ	一八
(八)	虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノ	一九
(九)	鹽ノ賣渡ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ	一九
官有物		
(一)	貸付又ハ豫約賣渡ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ	二〇

(一) (二) (三) (四) (五)



部所 管局及		(一) 租 税	
署名	要	款	項
永代橋稅務署	貸金利息ノ脱漏シタルト脱漏シタル貸金利息ノ追加決定ヲ爲ササリシトニ因ルモノ	租	所得稅
淀橋稅務署	使用人名義ト爲シタル株式ニ對シ調査不十分ナリシ爲配當所得等ヲ脱漏シタルト脱漏シタル配當所得ノ追加決定ヲ爲ササリシトニ因ルモノ	同	同
東稅務署	貸地及貸家所得ノ計算ヲ誤リタルト前年度脱漏シタル貸金利息ニ對シ決定ヲ爲ササリシトニ因ルモノ	同	資本利子稅
淀川稅務署	貸家所得ノ計算ヲ誤リタルニ因ルモノ	所得稅	同
茨木稅務署	報酬及賞與ノ脱漏シタルト脱漏シタル報酬及賞與ノ追加決定ヲ爲ササリシトニ因ルモノ	同	同
堺稅務署	報酬、賞與ヲ脱漏シタル等ニ因ルモノ	同	同
堺稅務署	貸金利息ヲ脱漏シタルト前年度脱漏シタル貸金利息ニ對シ決定ヲ爲ササリシトニ因ルモノ	資本利子稅	同
永代橋稅務署	貸金利息ノ脱漏シタルト脱漏シタル貸金利息ノ追加決定ヲ爲ササリシトニ因ルモノ	七、四三六八〇円	(昭和二)
淀橋稅務署	使用人名義ト爲シタル株式ニ對シ調査不十分ナリシ爲配當所得等ヲ脱漏シタルト脱漏シタル配當所得ノ追加決定ヲ爲ササリシトニ因ルモノ	三、二七九三〇	(昭和五)
東稅務署	貸地及貸家所得ノ計算ヲ誤リタルト前年度脱漏シタル貸金利息ニ對シ決定ヲ爲ササリシトニ因ルモノ	三、一九七九〇	昭、和六
淀川稅務署	貸家所得ノ計算ヲ誤リタルニ因ルモノ	四、三二〇〇〇	昭、和六
茨木稅務署	報酬及賞與ノ脱漏シタルト脱漏シタル報酬及賞與ノ追加決定ヲ爲ササリシトニ因ルモノ	三、四二七七八〇	(昭和五)
堺稅務署	報酬、賞與ヲ脱漏シタル等ニ因ルモノ	二、八二四三〇〇	昭、和六
堺稅務署	貸金利息ヲ脱漏シタルト前年度脱漏シタル貸金利息ニ對シ決定ヲ爲ササリシトニ因ルモノ	三、三七七四〇〇	同
堺稅務署	貸金利息ヲ脱漏シタルト前年度脱漏シタル貸金利息ニ對シ決定ヲ爲ササリシトニ因ルモノ	四、九七七六〇	(4)
永代橋稅務署	貸金利息ノ脱漏シタルト脱漏シタル貸金利息ノ追加決定ヲ爲ササリシトニ因ルモノ	七、四三六八〇円	(58)
淀橋稅務署	使用人名義ト爲シタル株式ニ對シ調査不十分ナリシ爲配當所得等ヲ脱漏シタルト脱漏シタル配當所得ノ追加決定ヲ爲ササリシトニ因ルモノ	三、二七九三〇	(61)
東稅務署	貸地及貸家所得ノ計算ヲ誤リタルト前年度脱漏シタル貸金利息ニ對シ決定ヲ爲ササリシトニ因ルモノ	三、一九七九〇	(4)
淀川稅務署	貸家所得ノ計算ヲ誤リタルニ因ルモノ	四、三二〇〇〇	(4)
茨木稅務署	報酬及賞與ノ脱漏シタルト脱漏シタル報酬及賞與ノ追加決定ヲ爲ササリシトニ因ルモノ	三、四二七七八〇	(61)
堺稅務署	報酬、賞與ヲ脱漏シタル等ニ因ルモノ	二、八二四三〇〇	(4)
堺稅務署	貸金利息ヲ脱漏シタルト前年度脱漏シタル貸金利息ニ對シ決定ヲ爲ササリシトニ因ルモノ	三、三七七四〇〇	(4)
堺稅務署	貸金利息ヲ脱漏シタルト前年度脱漏シタル貸金利息ニ對シ決定ヲ爲ササリシトニ因ルモノ	四、九七七六〇	(4)
永代橋稅務署	貸金利息ノ脱漏シタルト脱漏シタル貸金利息ノ追加決定ヲ爲ササリシトニ因ルモノ	七、四三六八〇円	(58)
淀橋稅務署	使用人名義ト爲シタル株式ニ對シ調査不十分ナリシ爲配當所得等ヲ脱漏シタルト脱漏シタル配當所得ノ追加決定ヲ爲ササリシトニ因ルモノ	三、二七九三〇	(61)
東稅務署	貸地及貸家所得ノ計算ヲ誤リタルト前年度脱漏シタル貸金利息ニ對シ決定ヲ爲ササリシトニ因ルモノ	三、一九七九〇	(4)
淀川稅務署	貸家所得ノ計算ヲ誤リタルニ因ルモノ	四、三二〇〇〇	(4)
茨木稅務署	報酬及賞與ノ脱漏シタルト脱漏シタル報酬及賞與ノ追加決定ヲ爲ササリシトニ因ルモノ	三、四二七七八〇	(61)
堺稅務署	報酬、賞與ヲ脱漏シタル等ニ因ルモノ	二、八二四三〇〇	(4)
堺稅務署	貸金利息ヲ脱漏シタルト前年度脱漏シタル貸金利息ニ對シ決定ヲ爲ササリシトニ因ルモノ	三、三七七四〇〇	(4)
堺稅務署	貸金利息ヲ脱漏シタルト前年度脱漏シタル貸金利息ニ對シ決定ヲ爲ササリシトニ因ルモノ	四、九七七六〇	(4)

索引 租稅 收徵不足ニ屬スルモノ

(報告) 頁

部所管局及	應名	摘	款	項	金額	會計年度	報告頁
岸和田稅務署	岸和田稅務署	前年度脱漏シタル賞與ノ性質ヲ有スル給與金ノ計算ヲ誤リ且納稅者死亡シ追加決定ノ途ナキニ至リタルニ因ルモノ	租	所得稅	三、〇五五、二〇〇	昭和六	(4) 一一
上京稅務署	上京稅務署	下京稅務署ニ於テ通報ヲ誤リシ爲賞與ノ性質ヲ有スル給與ヲ脱漏シタルニ因ルモノ	同	同	二、四七六、三八〇	昭和四	(59) 一〇一
神戸稅務署	神戸稅務署	積立金ノ性質ヲ有セサル責任準備金ノ減少額ヲ損金ニ計算シタル等ニ因ルモノ	同	營業收益稅	一、八二八、〇〇〇	昭和五	(61) 一〇四
彦根稅務署	彦根稅務署	當署ニ於テ綜合決定スヘキ配當所得、賞與等ヲ誤テ西宮稅務署ニ於テ分離決定シタルニ因ルモノ	同	所得稅	一、七四八、六〇〇	昭和四	(59) 一〇一
福井稅務署	福井稅務署	貸金利子ヲ脱漏シタルニ因ルモノ	同	資本利子稅	一、八八九、九〇〇	昭和六	(4) 一一
石卷稅務署	石卷稅務署	賞與ノ性質ヲ有スル給與ヲ脱漏シタルト脱漏シタル同給與ノ追加決定ヲ爲ササリシトニ因ルモノ	同	所得稅	三、七六一、九三〇	昭和五	(61) 一〇三
一宮稅務署	一宮稅務署	賞與ノ性質ヲ有スル給與ヲ脱漏シタルト前年度脱漏シタル賞與ノ性質ヲ有スル給與金ニ對シ決定ヲ爲ササリシトニ因ルモノ	同	營業收益稅	二、四七八、二〇〇	昭和六	(4) 一一
榊太應大泊支廳	榊太應大泊支廳	稅則施行地外ノ營業場ノ固定資産減價償却金ヲ損金ニ計算シタルニ因ルモノ	同	營業收益稅	五、二〇七、七二〇	昭和五	(68) 一一五
榊太應泊居支廳	榊太應泊居支廳	事業ノ擴張ニ過キサル工場ノ増設ヲ開業ト認メ免稅シタルニ因ルモノ	同	營業收益稅	九、六九一、三〇〇	昭和五	(67) 一一五

(2) 徴收過ニ屬スルモノ

部所管局及	應名	摘	款	項	金額	會計年度	報告頁
神戸稅務署	神戸稅務署	昭和五年度末現在酒ノ價格ヲ誤テ益金ニ重複計算シタル爲酒造業所得及營業純益ノ計算ヲ誤リタルニ因ルモノ	租	所得稅	四、九六七、二七〇	昭和六	(4) 一一
長岡稅務署	長岡稅務署	重役等ニ對スル立替金利子收入ノ計算ヲ誤リタルト個人負擔ノ諸經費ヲ會社ノ損金トシテ計算シタル等トニ因ルモノ	同	營業收益稅	二、五五〇、四八〇	昭和六	(4) 一一
		煙草元賣捌業ノ收入金及所得率ヲ誤リ收入、所得及純益ヲ誤算シタルニ因ルモノ	同	營業收益稅	三三七、四〇〇	昭和五	(61) 一〇四

(3) 賦課徴收ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ

部所管局及	應名	摘	款	項	金額	會計年度	報告頁
大田原稅務署	大田原稅務署	適切ナラサル査定標準ニ依リ消費稅ヲ徴收シタルモノ	租	砂糖消費稅	三、〇三八、三六八、二〇〇	昭和六	(5) 一一
京 城 府	京 城 府	土地株式會社經營地一部ノ賣却ニ過キサルニ其全部ニ對シ施工セル工事費等ヲ當期ノ損金ト計算シタルモノ	同	所得稅	五、三八〇、六四〇	昭和五	(60) 一〇二
朝鮮總督府	朝鮮總督府	貯蓄銀行業務ヲ總括的ニ承繼セルモノナルニ之ヲ新規開業ト認メ營業稅ヲ免除シタルモノ	同	營業稅	一、四六四、七六〇	昭和六	(44) 七四
			同	營業稅	三、九六三、五六〇	昭和六	(44) 七四

(4) 徴収ニ關シ監督其ノ宜シキヲ得サルモノ

(註) 租税外歳入ニシテ租税ト共ニ一件トシテ検査報告ニ掲載セラレタルモノハ便宜之ヲ本欄ニ掲記ス

所管局及	廳名	摘要	款		項		金額		會計年度	報告頁																
千葉及松戸稅務署		分任收入官吏稅務署屬工藤某ニ於テ關係書類ニ虛偽ノ記載ヲ爲シ國稅其ノ他ノ歳入金ヲ横領シタルニ因リ收入ニ至ラサルモノ	租	所得稅	地租	營業收益稅	相續稅	免許及手数料	雜收入	租	所得稅	地租	營業收益稅	相續稅	免許及手数料	雜收入	同	昭和六	(3)	九						
志津川稅務署		分任收入官吏稅務署屬櫻井某ニ於テ關係書類ニ虛偽ノ記載ヲ爲シ國稅其ノ他ノ歳入金及鐵業稅ノ滞納處分ニ因リ差押物件ノ公賣代金ヲ横領シタルニ因リ收入ニ至ラサルモノ	租	所得稅	地租	營業收益稅	相續稅	免許及手数料	雜收入	租	所得稅	地租	營業收益稅	相續稅	免許及手数料	雜收入	同	昭和六	(2)	九						
										二、四六八八九〇	五、五七九七四〇	一、六六六八六〇	一一一八〇	三三九二〇八〇	一三、一三三九〇〇	四、六四九六二〇	五一三二〇〇	五、六四六〇〇	同	同	同					
										四七五三〇	一六七七〇	六〇八〇〇	二九四七六〇	六〇〇	二八一〇	二、二四八〇〇	一五八二〇〇	一〇、六四九七〇	一、七九八二〇	三、七四八八〇	一〇、一〇〇	六六〇	一一、八〇六〇	同	同	同

(二) 租税外歳入

(1) 徴収ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ

所管局及	廳名	摘要	款		項		金額		會計年度	報告頁																		
大館稅務署		分任收入官吏稅務署屬佐藤某ニ於テ關係書類ニ虛偽ノ記載ヲ爲シ國稅其ノ他ノ歳入金、酒稅ノ滞納處分ニ因リ差押物件ノ公賣代金等ヲ横領シタルニ因リ收入ニ至ラサルモノ	租	所得稅	地租	營業收益稅	資本利子稅	相續稅	鐵業稅	酒稅	免許及手数料	雜收入	租	所得稅	地租	營業收益稅	資本利子稅	相續稅	鐵業稅	酒稅	免許及手数料	雜收入	同	昭和六	(1)	八		
										二、四六八八九〇	五、五七九七四〇	一、六六六八六〇	一一一八〇	三三九二〇八〇	一三、一三三九〇〇	四、六四九六二〇	五一三二〇〇	五、六四六〇〇	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
										四七五三〇	一六七七〇	六〇八〇〇	二九四七六〇	六〇〇	二八一〇	二、二四八〇〇	一五八二〇〇	一〇、六四九七〇	一、七九八二〇	三、七四八八〇	一〇、一〇〇	六六〇	一一、八〇六〇	同	同	同		

索引 租稅外歲入 徵收ニ關シ監督其ノ宜シキヲ得サルモノ
土地又ハ物件ノ賣拂ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ

(前) 一〇

(2) 徵收ニ關シ監督其ノ宜シキヲ得サルモノ

所管局及	應名	摘	要	款	項	金額	會計年度	報告頁
岡山地方裁判所	岡山地方裁判所	裁判所書記岡本某ニ於テ國庫ニ歸屬セ ル刑事證據金ヲ横領又ハ騙取シタルニ 因ルモノ	裁判所書記岡本某ニ於テ罰金料等ヲ 横領シタルニ因ルモノ	雜收	懲罰及沒收金	一、二七五〇 三、五九八〇〇〇	昭和六	(8) 一八
札幌地方及區裁判所	札幌地方及區裁判所	川上某ニ於テ東京健康保險署書記補ト シテ又同署事務ノ移管ニ伴ヒ分任收入 官吏等視察屬トシテ歲入金收納事務ニ 從事中關係書類及帳簿ニ虛偽ノ記載ヲ 爲シ保險料等ヲ横領シタルニ因ルモノ	川上某ニ於テ東京健康保險署書記補ト シテ又同署事務ノ移管ニ伴ヒ分任收入 官吏等視察屬トシテ歲入金收納事務ニ 從事中關係書類及帳簿ニ虛偽ノ記載ヲ 爲シ保險料等ヲ横領シタルニ因ルモノ	健康保險收入	保險料收入	一、二、五八九二〇	同	(24) 四四
樺太廳	樺太廳惠須取林務署	現金收入官吏樺太廳屬川島某ニ於テ誤 盜伐賠償金ヲ横領シタルニ因ルモノ	現金收入官吏樺太廳屬川島某ニ於テ誤 盜伐賠償金ヲ横領シタルニ因ルモノ	雜收	辨償及違約金	一六、二九九〇〇	同	(55) 九一
北海道上野石狩支廳外五箇所	北海道上野石狩支廳外五箇所	事實上開墾セラレタル市街宅地等ニ對 シ北海道上野支廳外五箇所ニ於テ未 開墾地トシテ處分シタルモノ	官業及官有財產收入	森林收入	一八六、〇五九二〇 一五六、九八四八九〇	昭和五 昭和六	(62) 一〇五	(6) 一五

(3) 土地又ハ物件ノ賣拂ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ

所管局及	應名	摘	要	款	項	金額	會計年度	報告頁
東京稅務監督局	東京稅務監督局	當初ノ目的ニ使用セサル者ニ對シ土地 ノ貸付ヲ繼續シ且借受人ニ非サル者ニ 對シ名義變更ヲ名トシテ貸付ヲ許シ之 ヲ緣故特賣シタルノミナラス賣拂價格 低廉ニ失シタルモノ	國有財產整理資金收入	國有財產賣拂代	一六、七五二一五〇	同	(33) 五三	
札幌稅務監督局	札幌稅務監督局	土地ノ賣拂ニ當リ比準地ノ選定其ノ適 正ヲ得ス評定價格低廉ニ失シタルモノ	官有物拂下代	官有物拂下代	二八、〇〇〇〇〇〇	昭和五	(65) 一〇九	
臺灣總督府	花蓮港廳	土地ノ賣拂ニ當リ比準地ノ選定其ノ適 正ヲ得ス評定價格低廉ニ失シタルモノ	官有物拂下代	官有物拂下代	七八八〇六六〇	同	(66) 一一三	
(其ノ他)		立木ノ拂下ニ關スル代價査定ノ内容タル 伐木造材人夫賃及牛車運賃ノ見積高價 ナリシ爲賣拂代價低廉ニ失シタルモノ	官業及官有財產收入	森林收入	一一、四二七六〇	昭和六	(45) 七五	
臺灣總督府	成鏡北道明川郡	木材ノ賣拂ニ當リ延納金整理ノ目的ヲ 以テ割引率ヲ增加シタルモノ	同	同	五八六、六七三二七〇	同	(49) 八三	
臺灣總督府	製鐵所東京出張所	先物契約ニ依リ耳附鋼板ノ引渡ニ際シ 其ノ價格低落セルノ故ヲ以テ長期ニ互 其ノ製品ノ引取ヲ猶豫シ爾後價格ノ低 基シキニ及ヒ其ノ大部分ヲ低價ナル新 契約ノ引渡ニ充當シタルモノ	製鐵所作業收入	作業收入	五六六、九九三三二〇	同	(39) 六三	

索引 租稅外歲入 土地又ハ物件ノ賣拂ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ

(前) 一一

歳出

(一) 俸給給與又ハ賞與等ノ支給

(1) 豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ

所管局及	應名	摘要	款	項	金額	會計年度	報告頁
内務省	北海道廳外十四箇所	他費目ヲ流用シ賞與ヲ支給シタルモノ	北海道拓殖費	殖民費	三三、一八、〇八〇	昭和六	(10)
	同廳外二十八箇所		森林費	六六、六三、二〇五〇			
	同廳外十五箇所		産業費	三七、二八、二八〇			
	同廳外十四箇所		土地改良費	一九、七九、六〇〇			
	同廳外八箇所		道路橋梁費	五七、二五、四三七〇			
	同廳外八箇所		河川費	一〇、六〇、〇二〇			
	同廳外三箇所		治水費	一一、五六、四三七〇			
	同廳外十箇所		港灣費	一四、三七、九六〇			
	内閣		營繕管財局	議院建築費	二六、七九、九〇〇		
	同		同局及神戸出張所	中央諸官衙建築費	五一、一七、三〇〇		
同	同	神戸税關陸上設備費	一一、五八、四〇〇				

所管局及	應名	摘要	款	項	金額	會計年度	報告頁
大藏省	營繕管財局	豫算ニ積算ナキニ慰勞金ヲ支給シタルト多額ニ慰勞金ヲ支出シタルモノ	調査費	福國簡易保險支局新設費	一〇、三七、六〇〇	昭和六	(11)
	大藏省及東京外六稅務監督局		國有財産整理費	四六、五三、四〇〇			
	營繕管財局		震災復舊及新營費	六六、六八、四〇〇			
	大藏省及東京外六稅務監督局		土地臺帳其他簿書整理費	六八、九、五〇〇			
	大藏省		賠償事務取扱費	二二、四二、七〇〇			
	營繕管財局		産業獎勵費	一〇、四九、一三六〇			
	農林省		農村振興費	六二、八九、五〇〇			
	農林省		調査及研究費	二一、五六、〇〇〇			
	農林省		公有林野官行造林費	二五、〇九、八〇〇			
	農林省		綿羊飼養獎勵費	一三、一四、九〇〇			
農林省	同省、農事試驗場及蠶業試驗場	豫算上積算ナキニ慰勞金ヲ支出シタルト他費目ヨリ賞與及慰勞金ヲ流用支出シタルモノ	農事費	綿羊飼養獎勵費	一三、一四、九〇〇	昭和六	(18)
	同省、林業試驗場及産業試驗場		産業獎勵費	一〇、四九、一三六〇			
	同省及青森外五營林局		調査及研究費	二一、五六、〇〇〇			
	同省、林業試驗場及産業試驗場		公有林野官行造林費	二五、〇九、八〇〇			
	同省、林業試驗場及産業試驗場		綿羊飼養獎勵費	一三、一四、九〇〇			
	同省、農事試驗場及蠶業試驗場		農事費	六二、八九、五〇〇			
	同省、林業試驗場及産業試驗場		産業獎勵費	一〇、四九、一三六〇			
	同省、農事試驗場及蠶業試驗場		調査及研究費	二一、五六、〇〇〇			
	同省、林業試驗場及産業試驗場		公有林野官行造林費	二五、〇九、八〇〇			
	同省、農事試驗場及蠶業試驗場		綿羊飼養獎勵費	一三、一四、九〇〇			
商工省	特許局	豫算ニ積算ナキニ多額ノ慰勞金ヲ支出シタルモノ	特許局事務費	同	二〇、六三、七〇〇	昭和六	(20)
	商工省		貿易振興費	同	一六、七三、四〇〇		
	商工省		調査及試驗費	同	三八、四七、四〇〇		
	商工省		臨時産業合理局費	同	一六、四五、八〇〇		
	商工省		健康保險事業費	同	一三、九三、八〇〇		
	商工省		健康保險事業費	同	一四、一三、〇〇〇		
	商工省		健康保險事業費	同	一四、一三、〇〇〇		
	商工省		健康保險事業費	同	一四、一三、〇〇〇		
	商工省		健康保險事業費	同	一四、一三、〇〇〇		
	商工省		健康保險事業費	同	一四、一三、〇〇〇		

索引 俸給給與又ハ賞與等ノ支給 豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ

索引 運賃又ハ請負代金ノ決定其ノ宜シキヲ得サルモノ
監督其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ

(前) 一八

所管局及	應名	摘	要	款	項	金額	會計年度	報告頁
專賣局	東京地方專賣局	煙草元賣捌制度廢止ニ先チ任意ニ廢業セル者ニ對シ給與金ヲ交付シタルモノ		專賣局作業費	事業費	二〇、九七三〇〇	昭和六	(28) 四七
專賣局	臺北州	補助金ノ支給ニ當リ法令ノ定ムル補助率ヲ超過シタルモノ		補助費	傳染病豫防費補助	一六、八〇二七〇	同	(52) 八七

(六) 運賃又ハ請負代金ノ決定其ノ宜シキヲ得サルモノ

所管局及	應名	摘	要	款	項	金額	會計年度	報告頁
專賣局	東京地方專賣局	鹽包裝請負單價高價ナルノミナラス包裝材料品ノ市價著シク低落シタルニ之カ改定ヲ爲サザリシモノ		專賣局作業費	事業費	一八〇、〇三七〇	昭和五	(63) 一〇五
		鹽包裝請負ニ當リ單ニ營業者ノ見積價格ニ依リ決定シタルノミナラス他局ノ請負單價ニ比シ著シク高價ニ失シタルモノ		同	同	二〇六、二六〇〇〇	昭和六	(29) 四八
		緊搾截斷濟煙草ノ運送ニ當リ貨物自動車ニ依ルヲ有利トスルニ荷馬車運搬ニ依リ契約ヲ締結シタル爲請負單價高價ニ失シタルモノ		同	同	五、五六三五六〇	同	(31) 五一

(七) 監督其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ

所管局及	應名	摘	要	款	項	金額	會計年度	報告頁
大藏省	廣島稅務監督局	稅務署屬藤野某ニ於テ租稅拂戻請求書ヲ偽造シ内國稅拂戻金ヲ騙取シタルニ因ルモノ		諸拂戻及補填金	諸拂戻及補填金	三、七九二〇七〇	昭和六	(12) 二六

(八) 虛構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノ

所管局及	應名	摘	要	款	項	金額	會計年度	報告頁
文部省	東京聾啞學校	同校書記中村某ニ於テ事實ニ副ハサル證明ヲ爲シ工事費又ハ物品代等ヲ費消シタルモノ		營繕費	校館費	八、三二九七六〇	同	(17) 三五
文部省	學校及圖書	資金前渡官吏專賣局屬下村某ニ於テ關係書類ニ虛偽ノ記載ヲ爲シ前渡資金ヲ横領シタルモノ		設備費	設備費	一、五六〇〇〇	同	(35) 五九
朝鮮總督府	朝鮮總督府專賣局	稅關監吏安永某ニ於テ關係書類ニ虛偽ノ記載ヲ爲シ雇員給料等ヲ騙取シタルモノ		專賣局	事業費	二〇、九四四三〇〇	同	(47) 七九
朝鮮總督府	新義州稅關	同課雇木村某及工夫伊藤某ニ於テ單獨又ハ共謀シ使役セサル人夫ヲ使役シタルモノノ如ク裝ヒ入夫賃ヲ騙取シタルモノ		稅關	事務費	一、八三二六八〇	同	(46) 七八
臺灣總督府	臺灣總督府交通局道路港灣課	同所雇井戸某ニ於テ關係書類ニ虛偽ノ記載ヲ爲シ賃金ヲ騙取シタルモノ		災害費	道路河川其他風水害應急及復舊費	六、四一五〇〇	同	(53) 八九
臺灣總督府	臺灣總督府營林			林務費	事業費	二、七〇六〇〇〇	同	(51) 八七

(九) 鹽ノ賣渡ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ

所管局及	應名	摘	要	款	項	金額	會計年度	報告頁
專賣局	大阪地方專賣局	鹽ノ賣渡ニ當リ強ヒテ受入ノ順序ニ隨ヒ拂出ヲ爲シタル爲多量ノ更裝ヲ要スルニ至リタルモノ		專賣局作業費	事業費	四四、一六七三二	昭和五	(63) 一〇五

索引 虛構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノ
鹽ノ賣渡ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ

(前) 一九

索引 官有物ノ貸付又ハ豫約賣渡ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ

官有物

(一) 貸付又ハ豫約賣渡ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ

所管及局	應名	摘	要	款	項	金額	會計年度	報告頁
朝鮮總督府		官有地ノ貸付ニ當リ貸付料低廉ト認メラルルノミナラス貸付期間中全然其ノ利用ニ著手セサル者ニ期間満了後更ニ繼續貸付ヲ許容シタルモノ					昭和六	(56) 九二
臺灣總督府		名ヲ未成林地ノ造林ニ藉リ成林地ヲ無償貸付シ且低廉ナル地代金ヲ以テ賣渡ヲ豫約シタルモノ					同	(57) 九四

昭和六年度歳入歳出決算検査報告

昭和六年度歳入歳出總決算

歳	決算		未確定金額
	入	出	
歳入	一、五三〇、八二〇、四二二、四八八	一、四七六、八七五、二六五、二〇四	四八四、八五二、八二〇
歳出			二、九八二、七六四、四五八

右決算額ハ前記未確定金額ヲ除クノ外之ヲ検査確定セリ其ノ未確定ニ屬スルハ證明未済又ハ審理ニ對スル答辯未済ナルモノアルト犯罪事件ニ關シ尙審査ヲ要スルモノアル等ニ因ル其ノ款項ノ金額別表第一號表ノ如シ

昭和六年度各特別會計歳入歳出決算

部局別	決算		未確定金額
	入	出	
對支文化事業	六、五八九、九九六、九九九	三、〇八二、四三三、七四一	五、四六、三六、二三〇
健康保險	一七、四八〇、七四四、七五四	一六、八二六、七九九、六四〇	
勞働者災害扶助責任保險	一五五、二四六、二七〇	三六、三七七、二五〇	
造幣局	四、五五二、五八二、一六二	三、二〇六、五七二、〇九九	
資金部	二、一三七、三八一、八五九	四、四八三、九三四、八六二	

昭和六年度

部局別	決算		未確定金額	
	歳入	歳出	歳入	歳出
印刷局	五、六四八、〇六四九八〇	四、四四五、九九五〇七〇		
專賣局	三二八、七四四、五九三一二六	一三七、三五六、六二二六四二		一〇七、六四二、一六〇
大藏省預金部	一五三、三一三、四三三三四二	一二七、六五六、四三九六二四		
教育基金	二、一〇〇、三三六			
國債整理基金	八五〇、三一、五〇八七五一	八一七、四〇九、九七一四八七		
公債	一六七、三九九、九四八三八〇	一六七、三九九、九四八三八〇		
國有財産整理資金	七、七八七、五二四五一二	五、九六三、八九八九三〇	四九〇、五六、一八一〇	
教育改善及農村振興基金	七、六九四、九四二六三〇	七、四九一、九五四一七三		
陸軍造兵廠	二、一〇〇、〇七六〇九〇	二、一三九、七五九七一五		
千住製絨所	二、一四七、〇〇四七八〇	二、三七八、六六七〇四〇		
海軍工廠資金	二〇、一八一、一七五四二〇	一七、九〇四、六〇五三七八		
海軍火藥廠	二、〇七〇、五五一〇二〇	二、四七八、七六六三〇		
海軍燃料廠	一六、一四八、二三三四六〇	一四、九二八、二三一六三七		
帝國大學	二五、三四〇、四二五〇五八	二四、三八一、八六二七五七		一〇〇〇〇〇
資本金部	二、八四七、八六一五五四	八八七、五二〇三二〇		
官立大學	一一、四四三、八六七一一〇八	一一、七四七、三七二二三三		

部局別	決算		未確定金額	
	歳入	歳出	歳入	歳出
資本金部	七三六、三三九七八八	三〇七、六六〇二〇三		
學校及圖書館	一六、八〇七、七三九六六	一六、二四九、一八二九七二		五〇〇〇〇〇
米穀需給調節	二六、一〇六、〇九五八〇〇	二四、一五〇、九四七二二七		
家畜再保險	一一、一六八、八〇六	一〇七、九八〇三一〇		
製作用品勘定	八、〇七五、三三三〇	五、五二四、九五三五四〇		
鐵作用品勘定	四一、〇九二、三三五〇二	四一、六四一、一三〇一九〇		
所作業勘定	七三、四九二、七七八八九六	七〇、八五一、七三〇八七六		
簡易生命保險	一八二、五九二、六二七七五〇	八六、二四一、九六八二〇		一九九二〇〇〇
郵便年金	一一、六〇一、七二四六三二	三、〇三二、九六二七三〇		
帝本勘定	一一四、〇七八、三三七六六九	一一〇、九六九、三八〇一五四		六一〇、四一四、三五四
國用品勘定	一一四、九七二、六〇八四八三	一〇七、六四九、九九七二二九		二一、七三四、六七〇
鐵道收益勘定	五二八、六〇六、七七四八八八	四六〇、一五五、〇二二八八七		
朝鮮總督府	二二四、九五四、〇九九八七七	二〇七、七八二、七九八九一四	六八、八八五、四〇〇	一四、六〇〇、〇〇〇
朝鮮鐵道用品資金	一三、七二二、三七三二六〇	一三、〇五七、五二四〇九〇		
朝鮮簡易生命保險	三、六六九、七二四五〇七	一一、二六一、四〇〇六三〇		
臺灣總督府	一一五、九七二、一四七九二二	九九、〇六〇、〇一三二二九	四二四、七三八七六〇	五、〇〇〇、〇〇〇
臺灣官設鐵道用品資金	四、五八五、六五〇五二〇	四、四四一、四五三〇五〇		

部局別	決算		未確定金額	
	入	出	入	出
關東廳	二四、六二八、〇六二、二六六	二〇、八九八、五三六、〇六三	四七、九六三、三五〇	
樺太廳	二三、三六八、九四一、四三五	二二、一七九、七四九、〇八七	一三四、七八四、〇五〇	二六八、一九二〇
南洋廳	七、六九八、五八九、九三六	四、五七六、四三六、一七九		

右決算額ハ前記未確定金額ヲ除クノ外之ヲ検査確定セリ其ノ未確定ニ屬スルハ證明未済又ハ審理ニ對スル答辯未済ナルモノアルト犯罪事件ニ關シ尙審査ヲ要スルモノアル等ニ因ル其ノ款項ノ金額別表第二號表ノ如シ

右ノ外國債ニ關ル計算中株式會社橫濱正金銀行ヨリ借入ニ係ル臨時國庫證券整理借入金七千貳拾八萬八千貳百貳拾五圓ノ借換ノ爲發行セル五分利公債額面貳千六百拾九萬圓及昭和四年法律第五十二號(製鹽地整理ニ關スル件)ニ依リ六年度中交付ノ爲發行セル五分利公債額面貳拾萬六千四百貳拾五圓ハ審理ニ對スル答辯遲延シ尙審査ノ要アル爲之ヲ検査確定スルニ至ラス

決算額ト日本銀行證明額トノ對照

總決算及各省決算報告書並各特別會計決算及各特別會計決定計算書ノ金額ト日本銀行證明額トノ對照ハ左記ヲ除クノ外符合セリ

事項	一	般	會	計	朝鮮總督府特別會計
歳入決算額	一、五三一、〇八二、〇四二、二四八				二二四、九五四、〇九九、八七七
日本銀行證明歳入額	一、五三〇、九六九、四七一、四〇六				二二四、九九一、八三九、三三一

内	増	差
本年度出納閉鎖期迄ニ拂込ヲ了セザリシ金額	一一四、五三四、三七二	
本年度歳入ヲ翌年度歳入トシテ誤納セシ金額	〇〇三〇	
翌年度歳入ヲ本年度歳入トシテ誤納セシ金額	一、九六三、五六〇	
		一一二、五七〇、八四二
		四、九一五、九四五

豫算及法律勅令違背ノ事項

昭和六年度歳入歳出總決算及各特別會計歳入歳出決算ノ内歳入ノ賦課徴收、歳出ノ使用及官有物ノ管理處分ニ於テ豫算又ハ法律勅令ニ違背シタル事項ハ一般會計ニ於テ三十三件參千四百拾七萬千參百五拾參圓九拾六錢參厘特別會計ニ於テ三十二件參千九百拾萬參千八百六拾圓七拾七錢五厘官有物ニ於テ二件合計六十七件ニシテ即チ左ノ如シ

一般會計

- 歳入ニ於テ
 - 租税及租税外歳入ノ徴收ニ關シ監督其ノ宜シキヲ得サルモノ五件 四四、五二五、七九〇
 - 租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ九件 二九、八六六、七五〇
 - 租税ノ徴收過ニ屬スルモノ二件 九、〇二七、七五〇
 - 租税ノ賦課徴收ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件 三一、〇三八、三一六、八二〇
 - 土地ノ賣拂ニ關シ法令ニ違背シタルモノ一件 一五六、九八四、八九〇
- 合計十八件 三一、二七八、七二二、〇〇〇
- 歳出ニ於テ
 - 工事ノ施行ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ二件 一九九、一九八、七〇三

昭和六年度

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ四件
 物品ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ四件
 契約ノ變更ニ當リ請負代金ノ決定其ノ宜シキヲ得サルモノ一件
 補助金ノ支給ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ二件
 其ノ他不當ナルモノ二件
 合計十五件

特別會計

歳入ニ於テ

租税外歳入ノ徴收ニ關シ監督其ノ宜シキヲ得サルモノ二件
 國有財産ノ管理處分其ノ宜シキヲ得サルモノ一件
 物件ノ賣拂ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ二件
 運賃ノ徴收ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件
 租税ノ賦課徴收ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件
 立木ノ賣拂價格低廉ニ失スルモノ一件
 誤伐木ノ代金徴收上措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件
 合計九件

歳出ニ於テ

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ七件
 煙草元賣捌人制度廢止ニ伴フ給與金ノ交付其ノ宜シキヲ得サルモノ一件

六

一、五三一、四六二、五二〇
 四九二、二一八、二二三〇
 五七四、四三七、四四〇
 八七、六九八、〇〇〇
 七、六一七、〇七〇
 二、八九二、六三一、九六三

二八、八二六、八〇〇
 一六一、七五一、一五〇
 一、一五三、六六六、四九〇
 七〇、五八八、〇八〇
 三、九六三、五六〇
 一一、四二〇、七六〇
 八七、三四二、四二〇
 一、五一七、五五九、二六〇

三六、二〇二、四七七、八七〇
 二一〇、九七三、〇〇〇

鹽包裝請負單價ノ決定其ノ宜シキヲ得サルモノ一件
 物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件
 工事ノ施行ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件
 枕木ノ購入及防腐作業請負料金等高價ニ失スルモノ一件
 虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノ三件
 土地買収ニ當リ價格ノ評定其ノ宜シキヲ得サルモノ一件
 補助金ノ支給其ノ宜シキヲ得サルモノ一件
 其ノ他不當ナルモノ六件
 合計二十三件

官有物ニ於テ

官有地ノ貸付其ノ宜シキヲ得ス且貸付料金低廉ニ失スルモノ一件
 國有林ノ豫約賣渡ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件
 合計二件
 總計六十七件
 ナリ

一般會計

歳入

租税及租税外歳入ノ徴收ニ關シ監督其ノ宜シキヲ得サルモノ五件(一)(二)(三)(七)(八)
 租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ九件(四)
 租税ノ徴收過ニ屬スルモノ二件(四)

七

四四、五二五、七九〇
 二九、八六六、七五〇
 九〇、二七七、七五〇

昭和六年度

昭和六年度 歳入 (一)

租税ノ賦課徴收ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(五)
土地ノ賣拂ニ關シ法令ニ違背シタルモノ一件(六)
合計十八件

三、〇三八、三一六、八二〇
一五六、九八四、八九〇
三、二七八、七三三、〇〇〇

歳入經常部

第一款 租税 第一項 所得税

【報告】 (一) 大館稅務署ノ收入ニ至ラサルモノ本項ニ於テ

第二項地租ニ於テ

第三項營業收益稅ニ於テ

第四項資本利子稅ニ於テ

第五項相續稅ニ於テ

第六項鑛業稅ニ於テ

第八項酒稅ニ於テ

第四款雜收入第一項免許及手数料ニ於テ

第十一項雜入ニ於テ

計參萬千四百七拾貳圓九拾參錢アリ右ハ稅務署屬佐藤某カ分任收入官吏トシテ同署在勤中昭和二年一月頃ヨリ六年九月ニ至ル間ニ於テ關係書類ニ虛偽ノ記載ヲ爲シ國稅其ノ他ノ歳入金貳萬六千八百貳拾參圓參拾壹錢酒稅ノ滯納處分ニ因ル差押物件ノ公賣代金等四千六百四拾九圓六拾貳錢ヲ橫領シタルモノナリ右ハ監督其ノ宜シキヲ得サリシニ因ルモノニシテ不當ナリトス

【辯明】 會計檢査院檢査報告ノ通

但シ被害金額ニ對シテハ徵收手續中

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】

(二) 志津川稅務署ノ收入ニ至ラサルモノ本項ニ於テ

第二項地租ニ於テ

第三項營業收益稅ニ於テ

第五項相續稅ニ於テ

第六項鑛業稅ニ於テ

第四款雜收入第一項免許及手数料ニ於テ

第三項辨償及違約金ニ於テ

第十一項雜入ニ於テ

計七千四百七拾壹圓四拾九錢アリ右ハ稅務署屬櫻井某カ分任收入官吏トシテ同署勤務中昭和二年四月頃ヨリ六年十月頃ニ至ル間ニ於テ關係書類ニ虛偽ノ記載ヲ爲シ國稅其ノ他ノ歳入金六千六百七拾壹圓四拾九錢及鑛業稅ノ滯納處分ニ因ル差押物件ノ公賣代金八百圓ヲ橫領シタルモノナリ右ハ監督其ノ宜シキヲ得サリシニ因ルモノニシテ不當ナリトス

【辯明】 會計檢査院檢査報告ノ通

但シ被害金額ニ對シテハ徵收手續中

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】

(三) 千葉、松戸兩稅務署ノ收入ニ至ラサルモノ本項ニ於テ

第二項地租ニ於テ

第三項營業收益稅ニ於テ

第五項相續稅ニ於テ

第四款雜收入第一項免許及手数料ニ於テ

昭和六年度 歳入 (1)(1)(11)

四七五、三八〇
一六、七七〇
六〇、八〇〇
二、九四、七六〇
〇、六〇〇

昭和六年度 歳入 (四)

第十一項雑入ニ於テ

計八百五拾壹圓拾貳錢アリ右ハ稅務署屬工藤某カ分任收入官吏トシテ松戸及千葉兩稅務署ニ勤務中昭和六年四月頃ヨリ七年四月ニ至ル間ニ於テ關係書類ニ虛偽ノ記載ヲ爲シ國稅其ノ他ノ歳入金ヲ横領シタル總額千八百六拾圓ノ内ニシテ八拾壹圓四拾四錢ハ七年度ニ屬シ九百貳拾七圓四拾四錢ハ收入濟額ニ整理セルモ未タ拂込ヲ了セサルモノナリ右ハ監督其ノ宜シキヲ得サリシニ因ルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ被害金額ニ對シテハ徵收手續中

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】

(四) 石卷稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

四、九〇六三二〇

アリ右ハ宮城縣桃生郡前谷地村齋藤某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ齋藤株式會社ヨリ受ケタル賞與ノ性質ヲ有スル給與貳萬五千參百八拾圓ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ

三、四二二七八〇

淀川稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ大阪市東淀川區木下某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ貸家所得四萬四千九百六拾四圓ナルヲ誤テ貸家所得貳萬九百參拾八圓雜收入所得貳千七百七拾七圓ト爲シタルニ因ルモノナリ

三、三七七四〇〇

本項ニ於テ堺稅務署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

四九七七六〇

第四項資本利子稅ニ於テ同署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ大阪府高石町近江岸某ノ所得額及資本利子額ヲ決定スルニ當リ函館海運株式會社ヨリ受ケタル貸金利子壹萬貳百貳拾壹圓ヲ脱漏シタルト昭和五年分所得額及資本利子額ノ決定ニ當リ脱漏シタル同會社外一會社ヨリ受ケタル貸金利子壹萬四千六百六拾八圓ヲ所得稅法第二十六條第二項及資本利子稅法第八條第二項ニ依リ本年度ニ於テ追加決定スヘキモノナリ

三、一一九七九〇
四三二二〇〇

ルニ之ヲ爲ササリシ等ニ因ルモノナリ

本項ニ於テ東稅務署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

第四項資本利子稅ニ於テ同署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

三、〇五五二二〇

アリ右ハ大阪市東區谷川某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ貸地及貸家所得四萬七千九百四拾六圓トスヘキヲ五萬參千六百六拾六圓ト計算シタルト昭和五年分所得額及資本利子額ヲ決定スルニ當リ脱漏シタル株式會社神戸新聞社ヨリ受ケタル貸金利子貳萬千六百圓ヲ所得稅法第二十六條第二項及資本利子稅法第八條第二項ニ依リ本年度ニ於テ追加決定スヘキモノナルニ之ヲ爲ササリシトニ因ルモノナリ

岸和田稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

二、八二四三〇〇

アリ右ハ岸和田市寺田某ノ昭和五年分所得額ヲ本年度ニ於テ所得稅法第二十六條第二項ニ依リ決定スルニ當リ寺田合名會社ヨリ受ケタル賞與ノ性質ヲ有スル給與參萬六千貳百五圓ヲ貳萬千貳百貳拾圓ト爲シタルニ因ルモノニシテ尙同人ハ六年十一月死亡シ追加決定ノ途ナキニ至リタルモノナリ

茨木稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

二、四七八一一〇

アリ右ハ大阪府池田町小林某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ第一生命保險相互會社外六會社ヨリ受ケタル報酬參千貳百五拾圓賞與壹萬千貳百參圓ヲ脱漏シタル等ニ因ルモノナリ

一宮稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

一、八八九九〇〇

アリ右ハ一宮市墨某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ艶金興業株式會社ヨリ受ケタル賞與ノ性質ヲ有スル給與貳千貳百拾九圓ヲ脱漏シタルト昭和五年分所得額ヲ決定スルニ當リ脱漏シタル同給與壹萬千五百圓ヲ所得稅法第二十六條第二項ニ依リ本年度ニ於テ追加決定スヘキモノナルニ之ヲ爲ササリシトニ因ルモノナリ

本項ニ於テ福井稅務署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

一一

昭和六年度 歳入 (四)

第四項資本利子税ニ於テ同署ノ徴收不足ニ屬スルモノ

二五三八〇〇

アリ右ハ福井市熊谷某ノ所得額及資本利子額ヲ決定スルニ當リ庄内電氣鐵道株式會社ヨリ受ケタル貸金利子壹萬貳千六百九拾五圓ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ

本項ニ於テ神戸稅務署ノ徴收不足ニ屬スルモノ

一、八一九四七〇

第三項營業收益税ニ於テ同署ノ徴收不足ニ屬スルモノ

一、八〇〇〇〇〇

アリ右ハ朝日海上火災保險株式會社 自昭和五年一月 至昭和五年十二月 事業年度分所得額及營業純益額ヲ決定スルニ當リ積立金ノ性質ヲ有セサル責任準備金ノ減少額五萬圓ヲ損金ニ計算シタル等ニ因ルモノナリ

本項ニ於テ神戸稅務署ノ徴收過ニ屬スルモノ

四、九六七二七〇

第三項營業收益税ニ於テ同署ノ徴收過ニ屬スルモノ

七九七一六〇

アリ右ハ神戸市葦合區高田某ノ所得額及營業純益額ヲ決定スルニ當リ昭和五年末現在酒五百三十石餘ノ價格ヲ誤テ益金ニ重複計算シタル爲酒造業所得壹萬六千五百參拾五圓ヲ四萬五千圓ニ營業純益壹萬六千六百貳拾五圓ヲ四萬五千九拾圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

本項ニ於テ長岡稅務署ノ徴收過ニ屬スルモノ

二、五五〇四八〇

第三項營業收益税ニ於テ同署ノ徴收過ニ屬スルモノ

七二二八四〇

アリ右ハ川上同族株式會社 自昭和三年六月 至昭和四年三月 事業年度分所得額及營業純益額ヲ決定スルニ當リ重役等ニ對スル立替金利子收入壹萬八千九百九拾四圓トスヘキヲ四萬貳千貳拾壹圓ト爲シタルト個人負擔ノ諸經費貳千貳百四拾圓ヲ會社ノ損金トシテ計算シタル等ニ因ルモノナリ

右ハ孰モ取扱ノ過誤ニ因リ徴收上過不足ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ本人死亡シ又ハ本人ニ於テ追加申告ヲ肯セサル爲税金徴收ノ途ナキモノノ外昭和七年度ニ於テ更正済

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

(參照) ○所得税法(大正九年七月三十一日)

第二十六條第二項 所得調査委員會閉會後第三種ノ所得ノ決定ニ付脱漏アルコトヲ發見シタルトキハ其ノ決定ヲ爲スヘカリシ年ノ翌年ニ於ケル所得調査委員會ノ調査ニ依リ政府ニ於テ其ノ所得金額ヲ決定スルコトヲ得

○資本金子税法(大正十五年三月二十七日)

第八條第二項 所得調査委員會閉會後乙種ノ資本金子ノ決定ニ付脱漏アルコトヲ發見シタルトキハ其ノ決定ヲ爲スヘカリシ年ノ翌年ニ於ケル所得調査委員會ノ調査ニ依リ政府ニ於テ其ノ資本金子金額ヲ決定スルコトヲ得

第十項 砂糖消費税

【報告】 (五) 龜戸外九稅務署ノ徴收ニ係ル

三一、〇三八、三一六八二〇

ハ大日本、明治、臺灣、鹽水港、中央各製糖株式會社及東京精糖株式會社製造ノ砂糖及糖蜜ニ對シ査定標準率ニ依リ課稅數量第四種糖三億六千八百九十六萬百八十八斤糖蜜第二種甲二千三百一萬四千八百九十斤ト査定シ徴收シタル稅額ナリ右査定標準率ハ原料糖百斤ニ對シ第四種糖九十五斤糖蜜第二種甲三斤計九十八斤ト定メ昭和三年二月ヨリ之ヲ適用シ來レルモノナルカ爾後各會社ヨリ稅務當局ニ報告セル精製糖製造歩留調査ニ徴スルニ低率ニ失スルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

各工場ヨリ報告ノ實績歩合ハ稅務署ニ於テハ立會調査ヲ爲シタルモノニ非サルヲ以テ正確ヲ保シ難キ點アルモ査定標準歩合トノ間ニ相當ノ差異アルコトハ事實ニシテ各會社ハ其ノ採算上査定標準歩合以上ノ事績歩留ヲ得ムカ爲ニ比較的粗惡ナル砂糖(水分等多ク糖度低ク歩留多シ)ヲ製造スル傾向アルヲ以テ標準歩合ヲ高クスレハ隨テ實績歩留ヲ多クスルトニ努力スルヲ免レス一而標準歩合ハ全國各工場ニ對シ一率ニ適用スル關係上其ノ歩合高キニ失スレハ優良ナル砂糖(水分等少ク糖度高ク歩留低シ)ヲ製造スル者ニ酷ニシテ品質改良ヲ阻害スルカ如キ結果ヲ生スル點等ヲモ考慮スルノ必

昭和六年度 歳入 (五)

要アリ旁標準歩合ト實績歩留トノ間差ハ之ヲ防止スルコト困難ナル性質ノモノナルモ前同ノ標準歩合改定後既ニ四年ヲ經過シ技術ノ進歩等ニ因ル製造歩留ノ昂上等アルヲ以テ適實ニ改正ヲ加フヘキ時期ナリト認メ其ノ準備トシテ七年七月中旬ヨリ各工場ニ就キ一齊ニ質量査定ヲ開始シ調査中ナリ

ト謂フニ在リ然レトモ本稅徵收ニ當リ稅務ノ實際上査定標準率ヲ使用スルノ已ムヲ得サル事情アリトスルモ該標準率ヲ適用スル以上直ニ之ヲ質量ト看做サレ實際ノ引取數量カ之ニ超過スルモノハ消費稅ヲ課セラレサルノ結果ト爲リ課稅上重大ノ影響ヲ生スルモノナルヲ以テ標準率ノ決定ニ當リテハ本稅カ元來質量ニ依リ課稅スヘキ趣旨ナルニ照シ實際引取數量ニ對シ著シキ差異ナキヲ期セサルヘカラス然ルニ本件査定標準率ハ二年七月ヨリ翌三年二月迄ニ於ケル質量査定ノ實績原料糖百斤ニ對シ平均第四種糖九十六斤九七糖蜜三斤〇五ニ基キ水分發散量其ノ他ヲ斟酌シ第四種糖九十五斤糖蜜第二種甲三斤計九十八斤ト定メ三年二月ヨリ之ヲ適用シ來レルモノナルモ各會社工場ヨリ報告セル實績歩留調査ヲ觀ルニ

三年	九八・五	一四九
四年	九八・九	一三九
五年	九八・九	一二五
六年	一〇〇・二	〇八九

砂糖 糖蜜

ニシテ水分發散量等ヲ斟酌スルモ標準率ニ比シ著シキ差異アリ答辯ニ謂フカ如ク此ノ間各會社ニ於テ採算上比較的粗惡ナル砂糖ヲ製造スル傾向アリタリトスルモ該砂糖カ引續キ市場ニ於テ取引セラルルモノナル以上其ノ査定標準率ハ之カ製造實績ヲ參酌スルヲ妥當トシ本件標準率ハ低キニ失スルモノト認メサルヲ得ス尙關稅ニ在リテモ橫濱外四稅關ニ於テ關稅定率法第九條ニ依リ輸入原料糖二億三千三百七十四萬餘斤ニ對シ輸入稅ノ免除ヲ爲シタルモノ九百貳拾參萬貳千餘圓アリ然ルニ右輸入原料糖ヨリ製造セル精製糖ニ付テモ前記査定標準率ニ基キ輸出申告ヲ爲ストキハ其ノ原料糖ノ全部カ輸出用

ニ供セラレタルモノト看做スノ取扱ナルヲ以テ右標準率低キニ失スルカ爲内地消費ニ向ケラレタルモノニ對シ消費稅及其ノ原料糖ニ對スル關稅ヲ課セサルノ結果ヲ來セリ要スルニ本件ハ適切ナラサル査定標準率ニ依リ消費稅ヲ徵收シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件精製糖ノ査定ニ當リ標準歩合ヲ使用スルコトハ徵稅ノ實際上ノ必要ヨリシテ多年慣行セラレ來リタルモノニシテ其ノ標準歩合ト實際ノ製造歩留トノ間ニ多少ノ差異アルコトハ免レ難キ所ナルモ政府ハ昭和七年七月中旬ヨリ從來ノ標準歩合ニ依リ査定ヲ廢止シ全國各工場ニ就キ質量査定ヲ爲シ之ニ依リ課稅シツツアリ今後標準歩合ニ依リ査定ヲ爲ス場合ニハ其ノ實績ニ徵シ適實ナル標準歩合ヲ定ムヘキ見込ナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

(參照) ○關稅定率法明治四十三年四月十五日法律第五十四號

第九條第一項 輸入原料品ニシテ命令ヲ以テ指定シタル輸出品ノ製造ニ使用スルモノニハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ輸入稅ノ全部又ハ一部ノ免除又ハ拂戻ヲ爲スコトヲ得

○砂糖消費稅法明治三十四年三月三十日法律第十三號

第四條第一項 前條ノ消費稅ハ製造場又ハ保稅地域ヨリ砂糖、糖蜜又ハ糖水ヲ引取ルトキ之ヲ徵收ス但シ政府ニ於テ相當ト認ムル擔保ヲ提供スルトキハ六箇月以内消費稅ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ政府ハ其ノ砂糖、糖蜜又ハ糖水ノ見本ヲ採取スルコトヲ得

第三款 官業及官有財產收入 第二項 森林收入

【報告】

(六) 北海道廳石狩支廳外五箇所ノ徵收ニ係ル

一五六、九八四、八九〇

ハ北海道國有未開地處分法第二條後段ニ依リ賣拂ヒタル札幌外五市所在市街宅地雜用地等百二十七町餘ノ代金ナリ右ハ本道ニ於ケル官民有地ノ位置、區域、境界等ヲ測定シ相互ノ連絡ヲ確定スルト共ニ土地處分ノ確實ヲ期セムトシ大正十年度以降施行セル土地連絡調査ノ結果發見セルモノニ係リ從來此ノ種土地ノ處分ハ逐年増加シ昭和四年度十六町九段餘五年度四十九町六段餘ヲ處分シ本年度ニ於テ更ニ前掲多數ノ處分ヲ爲シタル外既墾田畑ニシテ此ノ種發見ニ係ルモノニ就キ同様ノ

昭和六年度 歳入 (六)

要アリ旁標準歩合ト實績歩留トノ間差ハ之ヲ防止スルコト困難ナル性質ノモノナルモ前回ノ標準歩合改定後既ニ四年ヲ經過シ技術ノ進歩等ニ因ル製造歩留ノ昂上等アルヲ以テ適實ニ改正ヲ加フヘキ時期ナリト認メ其ノ準備トシテ七年七月中旬ヨリ各工場ニ就キ一齊ニ質量査定ヲ開始シ調査中ナリ

ト謂フニ在リ然レトモ本稅徵收ニ當リ稅務ノ實際上査定標準率ヲ使用スルノ已ムヲ得サル事情アリトスルモ該標準率ヲ適用スル以上直ニ之ヲ質量ト看做サレ實際ノ引取數量カ之ニ超過スルモノハ消費稅ヲ課セラレサルノ結果ト爲リ課稅上重大ノ影響ヲ生スルモノナルヲ以テ標準率ノ決定ニ當リテハ本稅カ元來質量ニ依リ課稅スヘキ趣旨ナルニ照シ實際引取數量ニ對シ著シキ差異ナキヲ期セサルヘカラス然ルニ本件査定標準率ハ二年七月ヨリ翌三年二月迄ニ於ケル質量査定ノ實績原料糖百斤ニ對シ平均第四種糖九十六斤九七糖蜜三斤〇五ニ基キ水分發散量其ノ他ヲ斟酌シ第四種糖九十五斤糖蜜第二種甲三斤計九十八斤ト定メ三年二月ヨリ之ヲ適用シ來レルモノナルモ各會社工場ヨリ報告セル實績歩留調査ヲ觀ルニ

砂糖 糖蜜

三年	九八・五	一四九
四年	九八・九五	一三九
五年	九八・九四	一二五
六年	一〇〇・二九	〇八九

ニシテ水分發散量等ヲ斟酌スルモ標準率ニ比シ著シキ差異アリ答辯ニ謂フカ如ク此ノ間各會社ニ於テ採算上比較的粗惡ナル砂糖ヲ製造スル傾向アリタリトスルモ該砂糖カ引續キ市場ニ於テ取引セラルルモノナル以上其ノ査定標準率ハ之カ製造實績ヲ參酌スルヲ妥當トシ本件標準率ハ低キニ失スルモノト認メサルヲ得ス尙關稅ニ在リテモ横濱外四稅關ニ於テ關稅定率法第九條ニ依リ輸入原料糖ニ億三千三百七十四萬餘斤ニ對シ輸入稅ノ免除ヲ爲シタルモノ九百貳拾參萬貳千餘圓アリ然ルニ右輸入原料糖ヨリ製造セル精製糖ニ付テモ前記査定標準率ニ基キ輸出申告ヲ爲ストキハ其ノ原料糖ノ全部カ輸出用

ニ供セラレタルモノト看做スノ取扱ナルヲ以テ右標準率低キニ失スルカ爲内地消費ニ向ケラレタルモノニ對シ消費稅及其ノ原料糖ニ對スル關稅ヲ課セサルノ結果ヲ來セリ要スルニ本件ハ適切ナラサル査定標準率ニ依リ消費稅ヲ徵收シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件精製糖ノ査定ニ當リ標準歩合ヲ使用スルコトハ徵稅ノ實際上ノ必要ヨリシテ多年慣行セラレ來リタルモノニシテ其ノ標準歩合ト實際ノ製造歩留トノ間ニ多少ノ差異アルコトハ免レ難キ所ナルモ政府ハ昭和七年七月中旬ヨリ從來ノ標準歩合ニ依ル査定ヲ廢止シ全國各工場ニ就キ質量査定ヲ爲シ之ニ依リ課稅シツツアリ今後標準歩合ニ依リ査定ヲ爲ス場合ニハ其ノ實績ニ徵シ適實ナル標準歩合ヲ定ムヘキ見込ナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

(參照) ○關稅定率法(明治四十三年四月十五日法律第五十四號)

第九條第一項 輸入原料品ニシテ命令ヲ以テ指定シタル輸出品ノ製造ニ使用スルモノニハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ輸入稅ノ全部又ハ一部ノ免除又ハ拂戻ヲ爲スコトヲ得

○砂糖消費稅法(明治三十四年三月三十日法律第十三號)

第四條第一項 前條ノ消費稅ハ製造場、又ハ保税地域ヨリ砂糖、糖蜜又ハ糖水ヲ引取ルトキ之ヲ徵收ス但シ政府ニ於テ相當ト認ムル擔保ヲ提供スルトキハ六箇月以内消費稅ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ政府ハ其ノ砂糖、糖蜜又ハ糖水ノ見本ヲ採取スルコトヲ得

第三款 官業及官有財產收入 第二項 森林收入

一五六、九八四、八九〇

【報告】

(六) 北海道廳石狩支廳外五箇所ノ徵收ニ係ル
北海道國有未開地處分法第二條後段ニ依リ賣拂ヒタル札幌外五市所在市街宅地雜用地等百二十七町餘ノ代金ナリ右八本道ニ於ケル官民有地ノ位置、區域、境界等ヲ測定シ相互ノ連絡ヲ確定スルト共ニ土地處分ノ確實ヲ期セムトシ大正十年度以降施行セル土地連絡調査ノ結果發見セルモノニ係リ從來此ノ種土地ノ處分ハ逐年増加シ昭和四年度十六町九段餘五年度四十九町六段餘ヲ處分シ本年度ニ於テ更ニ前掲多數ノ處分ヲ爲シタル外既墾田畑ニシテ此ノ種發見ニ係ルモノニ就キ同様ノ

昭和六年度 歳入 (六)

處分ヲ爲シタルモノノ勘カラス今後尙繼續處分スルノ狀況ナルモ此等土地ハ現ニ札幌、函館、小樽、旭川、室蘭、釧路等主要都市内ニ介在シ住宅及倉庫ノ敷地等トシテ利用セラレツツアルモノナルヲ以テ北海道國有未開地處分法ニ所謂未開地ト看做シ處分スルハ妥當ナラスト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

本道國有未開地ハ拓殖ノ目的ヲ以テ合理的ニ處分セラルヘキモノナルカ故ニ無願使用其ノ他適法ナラサル原因ニ依リ既セラレサル土地ハ依然未開地タルノ性質ヲ失ハス而モ此等土地ハ既處分地整理ノ爲ニ行フ連絡調査ノ結果發見セラレタルモノニシテ極メテ狭小ナル土地ナルカ故ニ一一起業條件ヲ附シ他ノ大地積ノ如キ取扱ヲ爲スハ勞費ノ關係上困難ナルト又時價ニテ拂下ケツツアルヲ以テ條件ヲ附セサルモ買受人ニ於テ無爲ニ放置スルコトナカルヘシト認メ同法第二條後段ノ取扱ヲ爲シタルモノナリ而シテ本件土地ハ故意又ハ過失ニ基キ開墾セラレタルモノニシテ若斯ル不法行爲ヲ以テ直ニ地種目變更ノ適法原因ナルカ如ク容認シ適用法律財産ノ種類ノミナラス其ノ收入歸屬ノ會計ヲモ變更セムカ法ノ秩序及本道ノ合理的ナル開發ハ期シ難ク元來未開地處分法ニ於テ幾多ノ特典ヲ認メタルハ適當ナル起業條件及使用方法ニ依リ未開地開發ノ義務ヲ履行セシメムカ爲ニシテ若其ノ利用方法ニ關シ不法行爲者ノ任意ノ起業方法ヲ容認スルノ外ナシトセハ未開地處分法ノ國有財産法ニ對スル特別法タル性質ノ大部分ハ沒却セラレ同法ノ根本原則タル許可主義モ不法行爲ニ對シテハ何等權威ナク不法行爲者ノ意思ニ依リ土地ノ利用方法ハ決セラレ本道ノ開發ハ無方針無計畫ト何等異ルナキ狀態ニ陥ルニ至ルヘキヲ以テ縱ヒ既墾ノ如キ土地ト雖未タ未開地處分法ニ依リ處分セラレサル土地ニ對シテハ果シテ其ノ利用方法ノ合理的ナリヤ否ヲ吟味シ適當ノ處分ヲ爲スヘキ實質上ノ必要アリ現ニ此等擬似的既墾地ノ處分ニ際シテハ拓殖上利用方法ノ適否ヲ精査シ若適當ナラハ之ヲ追認許可シ然ラサレハ更ニ起業條件ヲ附シ許可シ居レルノ實情ニシテ右ノ如キ手續ヲ經テ許可シタル場合免稅ノ如キ一特典ヲ認ムルモ不當ナリト謂フヲ得サルヘシト謂フニ在リ然レトモ北海道國有未開地處分法ハ未開地ノ開拓ヲ目的トスルモノニ外ナラサルヲ以テ之カ處分土地ハ處分

當時ノ現況ニ於テ未開地タルコトヲ要件トシ既ニ開拓セラレアル土地ニ對シテハ其ノ原因ノ如何ヲ問ハス同法ヲ適用シ得サルコト當然ニシテ同法第二十一條ニ拓殖上又ハ土地整理上必要アル場合ニ於テハ既ニ開墾セラレタル部分ヲ含ム土地ト雖本法ニ依リ處分スルコトヲ得トシ其ノ特例ヲ規定セルニ徴スルモ明ナリ而シテ本件土地ハ札幌市等本道ニ於ケル主要都市ノ市街地内ニ介在シ店舗若ハ倉庫敷地等トシテ利用セラレ此等土地ノ現況ニ鑑ミ未開地ト看做スヘキ理由毫モ存セサルニ未タ同法ニ依リ處分セラレサルノ故ヲ以テ之ヲ未開地ト看做シ且同法第二條後段ヲ適用シ素地ノ儘使用スヘキモノナリトシテ處分シ之カ代金ヲ國有財産整理資金特別會計ノ所屬ト爲ササルハ失當ノ措置ト認メサルヲ得ス加之本件土地ヲ未開地トシ處分スルコトキハ開拓後相當年月ヲ經過セル熟地ニ對シ拂下ノ翌年ヨリ十箇年間地租ヲ免除スルノミナラス登録稅ヲモ免除セラレルコトト爲リ其ノ措置當ヲ得タルモノニ非ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 處分土地ノ未開地ナリヤ否ノ認定ハ當局ニ於テハ現況ノ既墾地タルト否トニ依リテノミ定ムヘキモノニ非ス拓殖乃至土地整理ノ必要上ヨリ廣ク解スヘキモノトシ多年實行シ來リタルモノナレハ本件處分土地ノ場合ニ於テモ北海道國有未開地處分法ニ依ル妥當ト認メ處分シタルモノナリ然レトモ北海道國有未開地處分法ト國有財産法トノ關係ニ付テハ相當考究ノ要アリト認メ尙調査中ナリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 注意

(參照) ○北海道國有未開地處分法(明治四十一年四月十五日法律第五十七號)

第二條 土地ノ賣拂ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ一定ノ期間内ニ其ノ土地ニ關スル事業ヲ成功スヘキ者又ハ素地ノ儘使用セムトスル者ニ對シ之ヲ行フ

第二十一條 拓殖上又ハ土地整理上必要アル場合ニ於テハ既ニ開墾セラレタル部分ヲ含ム土地ト雖本法ニ依リ處分スルコトヲ得

第四款 雜收入 第二項 懲罰及沒收金

【報告】

(七) 本項決算額ノ外札幌地方、區兩裁判所ニ於テ歳入ニ編入スヘキモノ

第三項辨償及違約金決算額ノ外同地方裁判所ニ於テ歳入ニ編入スヘキモノ

昭和六年度 歳入 (七)

三、五九八〇〇〇
四五〇〇

昭和六年度 歳入 (八) 内務省 (九)

一八

【報告】 あり右ハ裁判所書記藤岡某カ札幌地方、區兩裁判所檢事局ニ勤務中昭和四年八月ヨリ六年一月ニ至ル間ニ於テ受領セル罰金料等ヲ横領シタルモノナリ右ハ監督其ノ宜シキヲ得サリシニ因ルモノニシテ不當ナリトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通
【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス
【衆決】 不當

【報告】 (八) 本項決算額ノ外岡山地方裁判所ニ於テ歳入ニ編入スヘキモノ

あり右ハ裁判所書記岡本某カ岡山地方裁判所檢事局ニ勤務中昭和四年三月ヨリ五年三月ニ至ル間ニ於テ没收ノ裁判確定ニ依リ國庫ニ歸屬セル刑事證據金ヲ横領又ハ騙取セルモノナリ右ノ外還付ヲ爲スヘキモノ又ハ事件繫屬中ニ屬スル刑事證據金品ヲ横領又ハ騙取セルモノ現金四百九拾參圓四拾錢五厘及物品價格貳拾圓アリ右ハ監督其ノ宜シキヲ得サリシニ因ルモノニシテ不當ナリトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス
【衆決】 不當

歳出

内務省所管

工事ノ施行ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(九)
豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(一〇)
合計二件

歳出臨時部

第三款 港灣改良費 第五項 清水港修築費

【報告】 (九) 内務省横濱土木出張所ノ支出ニ係ル

一〇六、三一七^円二三四

ハ昭和五年十一月豆相地方ニ於ケル震災ニ因リ被害アリタル清水港岸壁物揚場及埋立ニ對スル復舊費中岸壁復舊費トシテ本年度迄ニ支出シタル拾壹萬貳千八百七拾九圓九拾錢七厘ノ内ニシテ六千五百六拾貳圓六拾七錢參厘ハ五年度ニ屬シ外ニ材料價格四百拾五圓四拾四錢四厘ヲ使用セリ

抑清水港修築工事ハ總工費七百八拾貳萬千餘圓ヲ以テ大正十年度以降昭和八年度ニ至ル十三箇年ノ繼續事業トシテ岸壁延長八百六十餘米及護岸物揚場延長四千二百餘米浚渫五百八十二萬餘立米埋立二百十七萬餘立米等ヲ施行スルノ計畫ニ依リ著著之カ工事ヲ進メ埋立岸壁護岸物揚場等ノ大部分ヲ完成セシ前記震災ニ因リ既成岸壁護岸物揚場等多大ノ損害ヲ被リタルノ故ヲ以テ六年度ニ於テ之カ復舊費六拾貳萬圓ヲ本費豫算ニ追加計上シ完成年度ヲ九年度ト爲シ之カ復舊工事施行中ニ屬セリ七年六月之カ實地ヲ検査スルニ右被害ハ甲岸壁ハ全延長二百十餘米ニ互リ僅少ノ移動アリ滑出ノ最大ナルモノハ乙岸壁トノ接續部ニ於テ約〇、二米前進シ乙岸壁ハ全延長百八十餘米ニ互リ滑出及沈下ヲ來シ其ノ最大ナルモノハ岸壁前面肩ニ於テ法線ヨリ八米餘前進シ沈下一米餘ニ及ヒ甲物揚場ハ全延長中三箇所ニ於テ合計四百八十米ニ互リ滑出及沈下ヲ來シ其ノ最大ナルモノハ岸壁前面肩ニ於テ法線ヨリ四米餘前進シ沈下一米餘ニ及ヒ其ノ他追加岸壁ノ内側ニ當ル物揚場ニ於テ滑出及沈下ヲ來シ又丙岸壁及乙物揚場ニ於テハ其ノ背面埋立地ニ僅少ノ龜裂等ヲ生セルモノアリ然ルニ這般ノ震災ハ静岡縣警察部ノ調査ニ依レハ伊豆相模地方ヲ中心トシ沼津市以西ハ被害漸次輕微ニシテ同市ヨリ約四十軒ノ遠距離ナル本港所在地タル清水市内ニ於テハ格別ノ被害ナカリシ狀況ナルノミナラス曩ニ工費豫算額四拾八萬餘圓ヲ以テ鐵道省ノ委託ニ依リ施行ニ係ル岸壁中三年二月函塊ノ一部自然移動セシ事實アリシニ徵スレハ前掲被害ハ幾分震動ノ影響アリタリトスルモ主トシテ當初ノ設計並施工上注意ノ周到ヲ缺キタルニ基因スルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

清水港條築工事施行中這般ノ地震ニ因リ既成ノ岸壁及物揚場ニ被害アリシハ幾分震動ノ影響アリタリトスルモ主トシテ其ノ修築工事ノ設計及施行上注意ノ周到ヲ缺キタルニ基因スト思考セラルルハ一應當然ナルモ地震ニ因ル震動ノ強弱ハ

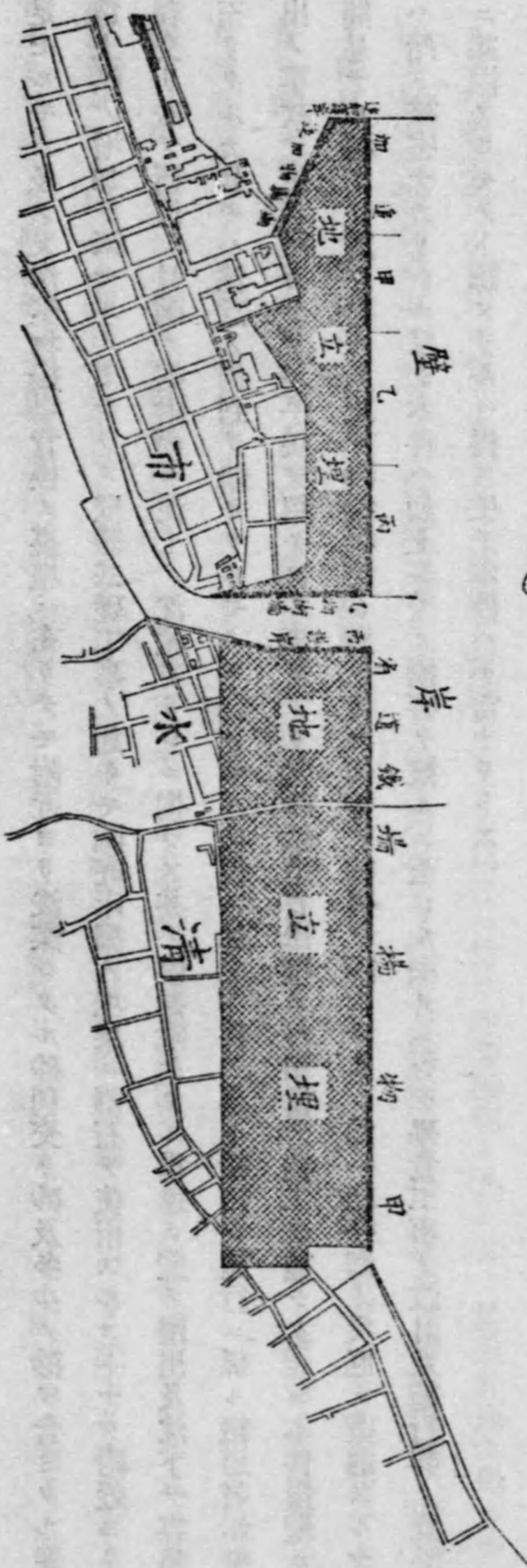
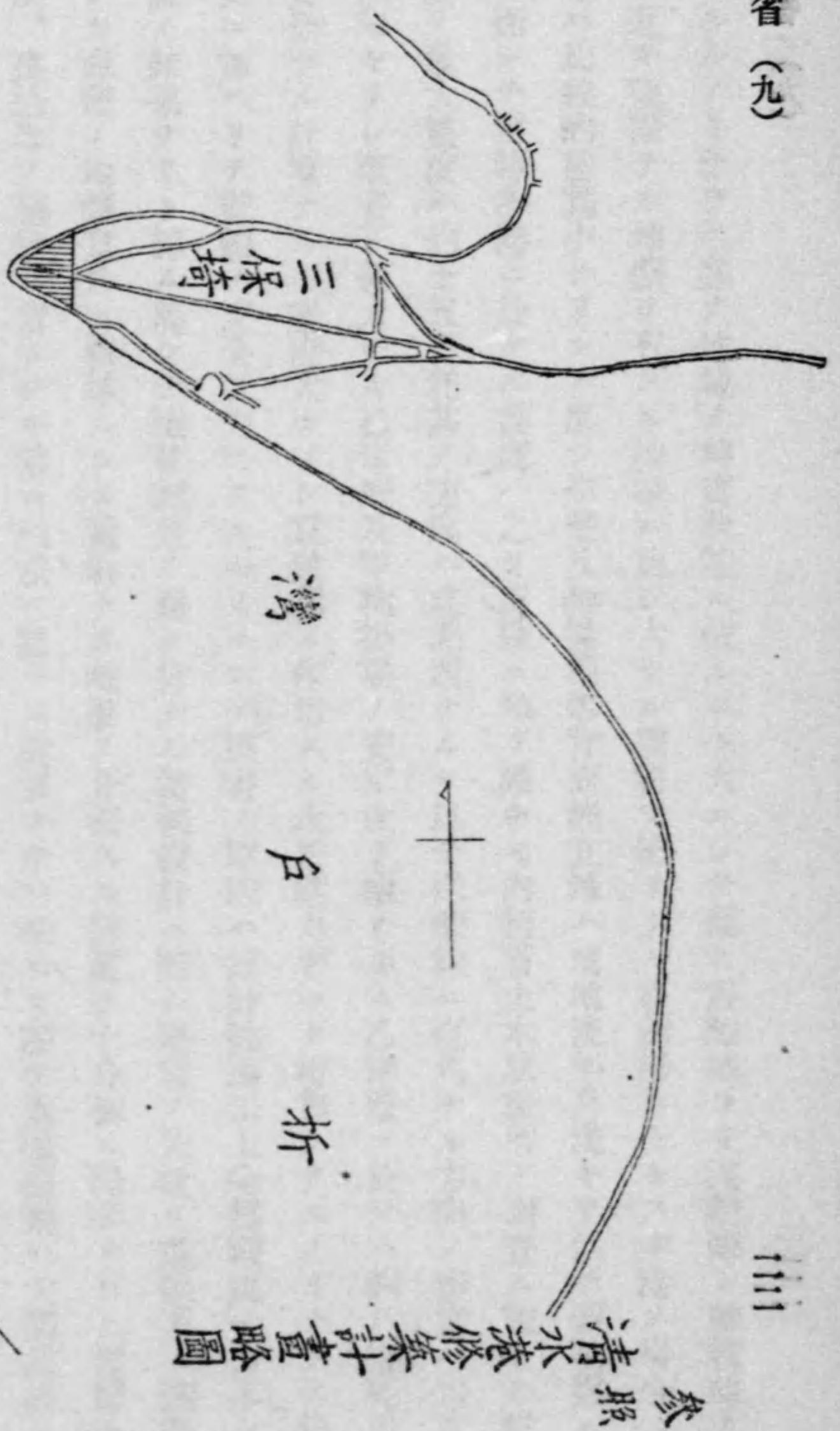
昭和六年度 内務省 (九)

一九

距離ノ遠近ニ左右セラルルノミナラス其ノ地域ノ地質状態ニ依ルコト大ニシテ縦ヒ震源地ヨリ遠距離ト雖軟弱ナル地層ニ於テハ却テ震源地ニ近キ強固ナル地盤ヲ有スル地域ニ比シ大ナル震害ヲ被リタル事例尠シトセス本港ノ場合ニ於テモ舊地盤ニ屬スル市街地ハ比較的震動小ナリシニ反シ岸壁及物揚場等背面埋立地ハ成地後年月淺キヲ以テ舊地盤ニ比シ震度大ナルモノアリタリ而シテ當時本港ニ於ケル震度ハ之ヲ正確ニ知り難キモ内務省土木試験所ノ調査ニ依レハ岸壁附近埋立地ニ於ケル主要動ノ最大震度ハ約千五百耗其ノ方向ハ北西ナルヲ以テ岸壁線ニ直角ナル方向ノ震度ハ六百耗乃至八百耗ナリシモノト推定セラレ被害ノ甚大ナル乙岸壁及甲物揚場ノ安定度ヲ檢スルニ乙岸壁ニ於テハ約八百耗甲物揚場ニ於テハ約四百耗迄安全ナル計算ナルモ震度大ナリシ爲壁體ニ作用スル水平壓力著シク増加シタルノミナラス偶干潮時ナリシ爲背面ノ水壓更ニ加ハリテ壁體ノ安全ヲ失ヒタルモノニシテ被害ノ原因ハ設計並施工上全然瑕疵ナカリシトハ斷シ難キモ主トシテ地震ノ結果ナリト認ム而シテ地質調査ノ點ニ付テハ當初設計ニ際シ適當ノ位置ニ數箇所ノ調査ヲ行ヒ標準設計ヲ定メタリシカ海底ノ地盤意外ニ複雑ニシテ軟弱ナル地層ノ介在スル位置ヲ十分極メ得サリシハ遺憾トスル所ニシテ基礎根掘、埋戻、裏込等ノ施行ニ當リテモ常ニ注意ヲ怠ラス違算ナキヲ期セリ即チ基礎根掘ハ大體設計ニ依リタルモ掘鑿地盤ノ如何ニ依リ多少其ノ深度ヲ加減シタルカ爲之ニ伴フ埋戻砂利ト共ニ其ノ量設計高ト異ルモノアリ裏込土砂ニ付テモ背面埋立ニ利用スル浚渫土砂ノ良否ニ依リ増減シ又岸壁及物揚場背後ノ埋立ニ海中浚渫ノ砂利交リ砂及多少ノ砂ヲ含ミタル泥土ヲ用ヒタルモノハ浚渫土砂ノ利用上已ムヲ得サルモノニシテ其ノ良質ノモノヲ用ユル場合ハ裏込ノ量ヲ減シタルモ泥土ヲ混セル場合ハ裏込ヲ十分使用シ努メテ土壓ノ減少ヲ圖リタリ然リト雖其ノ息角豫定ヨリ幾分小ニシテ多少土壓ノ増加ヲ來シタルモノアルカ如キハ已ムヲ得サルモノナリ

ト謂フニ在リ然レトモ本件被害箇所タル岸壁物揚場等ハ之カ實施ニ先チ數箇所ニ互リ地質調査ヲ行ヒ之ニ基キ各工法ヲ決定實施セリト雖其ノ調査十分ナラサルノミナラス該箇所ハ潮流ノ作用ニ依リ砂礫ト巴川ヨリ流下スル泥土トノ錯綜セル地質ナルヲ以テ基礎根掘、埋戻、裏込工事ヲ施行スルニ當リテハ最留意スヘキ所ナルニ其ノ設計高ニ對スル實績ハ概シテ不

足セルモノ多ク又岸壁物揚場背後ノ裏埋ニ在リテモ附近ヨリ浚渫シタル砂利交リ砂及多少ノ砂ヲ含ミタル泥土ヲ使用セシ爲土壓ノ増加ヲ來セルノミナラス壁體基礎工事ノ如キモ函底床掘ノ埋戻ニ割石ヲ使用スルコトナク附近ヨリ浚渫シタル砂利交リ砂ヲ利用シ且函ノ据附面ニ泥土ノ沈澱アリシニ拘ラス其ノ儘据附ケタル爲遂ニ壁ノ滑出及沈下ヲ容易ナラシムルニ至リタルカ如キハ注意ノ周到ヲ缺キタルモノト認メサルヲ得ス加之本件工事ト接續シ施行ニ係ル鐵道省岸壁ハ曩ニ自然滑出ノ事故ヲ生シ尠カラサル手戻ヲ招キタル事實アリ當時鐵道省岸壁ニハ相當ノ控工ヲ施シタルニ本件岸壁ニハ前者ニ比シ簡易ナル控工ヲ施シタルニ止リ物揚場等ニ對シテハ何等ノ補強ヲ講セザリシ爲一朝今回ノ災厄ニ遭遇スルヤ鐵道省岸壁ニハ殆ト被害ナカリシニ反シ本件ハ如上多大ノ損害ヲ被ルニ至レルモノニシテ畢竟工事ノ設計及施行其ノ宜シキヲ得サリシニ基因スルモノト認メサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス



【辨明】

會計検査院カ本件ノ被害ヲ工事ノ設計及施行其ノ宜シキヲ得サリシニ基因スルモノト断定セシ根據ハ(一)地質ノ調査十分ナラズト爲シタルコト(二)基礎根柢及埋戻砂利ノ使用量カ設計高ヨリ少キコト(三)岸壁及物揚場背後ノ埋立ニ海中ヨリ浚渫シタル土砂ヲ使用セシコト(四)基礎工ニ割石ヲ使用セサリシコト(五)鐵道省ノ岸壁ニハ相當ノ控工ヲ施シアルモ本件岸壁ニハ簡易ナル控工ヲ施シタルニ過キサルモノトナシタルコト等ニアルカ如シ然レトモ(一)地質調査ニ關シテハ當初設計ニ當リ臨海工事ニ對シ通常施スヘキ程度ノ調査ヲ行ヒタルモノニシテ不十分ナリト謂フヲ得ス而シテ震害ノ結果ニ依レハ岸壁築造箇所ノ地盤ハ豫定以上局部的ニ軟弱ナリシカ如ク認メラルルモ當時ニ於テ之ヲ豫知シ得サリシハ全ク已ムヲ得サリシコトニ屬ス(二)基礎根柢及埋戻砂利ノ使用量カ設計高ト異レルハ此種直營工事ニ於テ屢々見ル如ク實施ニ當リ基礎地盤ノ良否ニ應シ適當ト認ムル深サニ止メタルニ由ルモノニシテ之カ爲何等工事ニ及ホシタル支障ナシ(三)岸壁及物揚場ノ背後ヲ附近ノ海中ヨリ浚渫シタル土砂ヲ以テ埋立テタルハ埋立工事ニ採ルヘキ一般的ノ工法ニシテ浚渫土砂ノ利用上已ムヲ得サリシモノナリ(四)基礎工ニ割石ヲ使用セスシテ浚渫砂礫ヲ用ヒタルハ工費ニ著シキ相違アリシニ由ルモノニシテ之カ爲岸壁又ハ物揚場ノ安定ニ支障ヲ來ササル様設計シ尙施行ニ當リテハ埋戻砂利ハ清淨ニシテ良質ノモノヲ使用セリ(五)鐵道省ノ岸壁ニハ相當ノ控工ヲ施シアルモ本件岸壁ニハ簡易ナル控工ヲ施シタルニ過キサル結果被害ヲ受ケタル如ク批難セルハ會計検査院ノ誤解ニ基クモノニシテ鐵道省ノ岸壁ニ於テハ之ニ使用セル兩塊十九箇ノ内控工ヲ施シタルハ六箇三十本ニ過キサルニ本件ノ岸壁ニ於テハ全體ヲ通シ各箇四本宛即チ五十二本ノ控工ヲ施シアルヲ以テ其ノ補強ノ程度ハ前者ニ比シ遙カニ優レルモノト謂フヲ得ヘシ以上述フルカ如ク本件ハ工事ノ設計及施行上ニ於テハ相當ノ注意ヲ拂ヒタルモノナルモ地震ノ震度大ナリシ爲被害ヲ蒙ルニ至リタルモノナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第七款 北海道拓殖費 第一項 殖民費

【報告】

- (一〇) 本項ニ於テ北海道廳外十四箇所ノ支出ニ係ル
- 第二項森林費ニ於テ同廳外二十八箇所ノ支出ニ係ル
- 第三項産業費ニ於テ同廳外十五箇所ノ支出ニ係ル
- 第四項土地改良費ニ於テ同廳外十四箇所ノ支出ニ係ル

昭和六年度 内務省 (一〇)

三三、一八一	〇八〇
六六、六三二	〇五〇
三七、二八八	二八〇
一九、七九六	〇〇〇
一一三	

昭和六年度 大藏省 (一一)

第五項道路橋梁費ニ於テ同廳外八箇所ノ支出ニ係ル

二四
五七、二五四^円三七〇

第六項河川費ニ於テ同廳外八箇所ノ支出ニ係ル

一〇、六〇〇^円〇二〇

第七項治水費ニ於テ同廳外三箇所ノ支出ニ係ル

一一、五六四^円三七〇

第八項港灣費ニ於テ同廳外十箇所ノ支出ニ係ル

一四、三七九^円九六〇

計貳拾五萬六千九百九拾六圓拾參錢ハ前掲各廳所屬官吏ニ對シ賞與トシテ支給シタルモノナルモ右ハ事業費又ハ工事費等ヲ流用シ支出シタルモノニシテ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 官吏ニ對スル賞與ハ俸給豫算ノ殘額ヲ以テ支辨スルヲ原則トシテ實行シツツアルモ右殘額ノ僅少ナル場合ニ於テハ勤勞者ニ對シ相當賞與ノ途ヲ講スルノ外給與ノ權衡ヲ保ツノ必要上同一項内ノ事務費等ヨリ流用支辨スルヲ例トセリ北海道廳ニ於テハ昭和五年度決算検査報告ニ對スル辨明書ニ記述セシ如ク高給者ノ多キ關係上俸給豫算ニ剩餘ヲ生スルコト少キヲ以テ從來賞與ノ支出ニ當リ事業費等ヨリ流用支辨シ來レルハ實際ノ經理上已ムヲ得サル措置ニ屬ス (昭和五年度(一九五七六頁參看))

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

大藏省所管

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(一一)

其ノ他不當ナルモノ一件(一二)

合計二件

一、〇三三、八八九^円〇〇〇
三、七九二^円〇七〇
一、〇三七、六八一^円〇七〇

歳出經常部

第二款 内閣 第二項 事務費

【報告】 (一一) 本項ニ於テ内閣ノ支出ニ係ル

臨時部第一款營繕費第一項議院建築費ニ於テ營繕管財局ノ支出ニ係ル

一六、三三六^円〇〇〇
二六、七九九^円〇〇〇
五一、一七三^円〇〇〇

第二款中央諸官衙建築費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

第三項神戸税關陸上設備費ニ於テ同局及神戸出張所ノ支出ニ係ル

第十四項福岡簡易保險支局新營費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

第二款調査費第九項無届異動地整理調査費ニ於テ大藏省及東京外六稅務監督局ノ支出ニ係ル

第四款國有財産整理費第一項國有財産整理費ニ於テ營繕管財局及東京外六稅務監督局ノ支出ニ係ル

第七款震災復舊及新營費第一項事務費ニ於テ營繕管財局ノ支出ニ係ル

第十三款土地臺帳其他簿書整理費第一項土地臺帳其他簿書整理費ニ於テ大藏省及東京外六稅務監督局ノ支出ニ係ル

六八九、五〇五^円〇〇〇
二三、四二七^円〇〇〇

第十四款賠償事務取扱費第一項賠償事務取扱費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

計百參萬參千八百八拾九圓ハ前掲各廳ニ於テ官吏ニ對シ支給シタル慰勞金ナルモノ(一)内閣事務費ニ在リテハ豫算上官吏ニ對スル慰勞金ノ積算ナキニ之ヲ支給シ(二)議院建築費ニ在リテハ官吏以下ニ對スル慰勞金ノ積算額千八百餘圓中央諸官衙建築費ニ在リテハ貳千八百餘圓ナルニ官吏ニ對スル慰勞金ノミヲ以テスルモ前掲多額ノ支出ヲ爲シ之カ爲工費等ヨリ豫算流用ヲ爲セルモノ議院建築費貳萬圓中央諸官衙建築費五萬圓ニ及ヒ(三)神戸税關陸上設備費ニ在リテハ官吏以下ニ對スル慰勞金ノ積算額千餘圓福岡簡易保險支局新營費ニ在リテハ八百餘圓無届異動地整理調査費ニ在リテハ參千七百餘圓國有財産整理費ニ在リテハ四千九百餘圓震災復舊及新營費事務費ニ在リテハ五千參百餘圓土地臺帳其他簿書整理費ニ在リテハ五萬八百餘圓賠償事務取扱費ニ在リテハ四千四百餘圓ナルニ官吏ニ對スル慰勞金ノミヲ以テスルモ前掲ノ如ク賠償事務取扱費ハ約五倍其ノ他ハ約九倍乃至二十四倍ニ達スル多額ノ支出ヲ爲シタルモノニシテ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノト認メサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

内閣ノ款事務費ノ項ヨリ支出シタルモノハ恩給審査會中央統計委員會及資源審議會等ノ關係者ニ對シ事務委嘱手當トシテ支給シタルモノニシテ慰勞金トシテ支出シタルモノニアラス又營繕費ノ款議院建築費ノ項其他ニ於テ官吏ニ對シ慰勞金ヲ支給シタルハ營繕管財局等ニ於テ

各其ノ複雑廣汎ナル事務ノ支障ナキ進捗ヲ圖ルニ付テハ當務者以外ノ職員ヲシテ之ヲ補助セシメタルコト多ク其ノ勤勞多大ナル者ニ對シ相當ノ慰勞金ヲ支給スルハ當然ノ措置ナリト認メタルニ依ルモノニシテ支出額ノ多額トナリシハ給與ノ公平ヲ期シタル爲メカ人員ノ多カリシ結果ニ外ナラス尙検査報告中議院建築費及中央諸官衙建築費ニ於テ官吏ニ對シ多額ノ慰勞金ヲ支出シ之カ爲工專費等ヨリ豫算流用ヲ爲セルモノ議院建築費貳萬圓中央諸官衙建築費五萬圓ニ及ヘリトアルモ右ハ昭和四年度以降數度ノ豫算節減ニ遭遇シタル關係上在來人員ノ經理ニ多大ノ困難ヲ來シタルモ一時ニ所期ノ人員ヲ整理スルコト能ハサル事情アリシヲ以テ徐々ニ整理ヲ行フコトナシタル結果之カ人員經理ニ關スル經費ニ不足ヲ生シ之カ爲已ムヲ得ス流用ヲ爲シタルモノナリ

【貴決】 異議ナシ (内閣ノ支出) 將來ノ注意ヲ促ス(其ノ他) 【案決】 不當

第十款 諸拂戻及補填金 第一項 諸拂戻及補填金

【報告】 (一二) 廣島稅務監督局ノ支出ニ係ル

三、七九二、〇七〇

ハ内國稅拂戻金トシテ證明シタルモノナルモ其ノ實稅務署屬藤野某カ下關稅務署在勤中昭和六年七月ヨリ七年一月ニ至ル間ニ於テ租稅拂戻請求書ヲ偽造シ騙取シタル金額ナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【案決】 不當

陸軍省所管

物品ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ二件(一三)(一四)

四五八、五一、一六七〇

歳出經常部

第二款 軍事費 第四項 衣糧費

【報告】 (一三) 本項ニ於テ陸軍糧秣本廠ノ支出ニ係ル

四一七、九七二、四四五

臨時部第六款震災復舊費第一項各部隊建造物其他復舊費ニ於テ同廠ノ支出ニ係ル
第二十四款滿洲事件費第一項滿洲事件費ニ於テ陸軍省經理局主計課ノ支出ニ係ル

一四、七六九、五三五
五、六八一、七七〇

計四拾參萬八千四百貳拾參圓七拾五錢ハ字品陸軍糧秣支廠ニ於テ戰用糧食品罐詰肉製造用トシテ廣島市畜産組合外二十餘組合ヨリ購入シタル牝牛精肉八十二萬四千九百八十二斤ノ代價ナリ右購入價格ハ廣島市畜産市場生牛價格ニ一割ヲ加ヘタルモノヲ基準トシ枝肉歩留四五%ヲ以テ算出シタル枝肉價格十斤當四圓拾五錢乃至五圓四拾錢ヨリ副生物價格ト屠殺解體費等トノ差額ヲ控除シ決定セルモノナルモ當局者ノ調査セル廣島市畜産市場ノ生牛百斤當平均價格ハ實際ノ市場價格ニ比シ一厘乃至四割九分ノ差増アルノミナラス枝肉歩留ノ調査亦當ヲ得サルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

(一) 廣島市畜産市場價格ニ一厘乃至四割九分餘ヲ加算シタルハ市場取引牛ハ其ノ品位並大小等區區ナルノミナラス市場法規ニ觸レサル失格損微牛等ヲ包含シ且其ノ大部分ハ肉牛ニ非スシテ既ニ勞役其ノ他本來ノ役務ヲ終ヘタルモノニシテ品質劣リ例ヘハ生體量ニ於テモ市場取引牛ハ一、二割輕キ狀況ナルニ反シ購入ノ分ハ當廠所定ノ生牛購買手續ノ規格ニ合格セル生牛ヨリ得タルモノナルヲ以テ終始其ノ品位一定セル關係上兩者賣買價格ノ實際ニ應スル様前掲割増ヲ爲シタルモノニ係リ更ニ一割ノ加算ヲ爲シタルハ市場取引牛ハ其ノ取引直前ニ平均五斗ノ水ヲ強飲セシムル慣習アルニ當廠購買牛ハ普通一斗ノ飼水ニシテ其ノ差ハ約七十五斤ニ當リ生體量ノ約一割乃至二割ナルヲ斟酌シタルモノナリ

(二) 支廠屠殺直營枝肉歩留實績五〇%乃至五三%ナルニ本件計算ニ當リ其ノ歩留ヲ四五%ト爲シタルハ當廠ニ在リテハ屠殺前一晝夜絶食セシメ罐詰原料牛肉トシテ不用ニ歸スヘキ物質ハ總テ屠殺前ニ排除セシメアルカ故ニ屠殺直前ニ對スル枝肉歩留ハ自然高率ナルニ反シ市場取引牛ハ屠牛ニ對スル最後ノ嚙トシテ屠殺前平常ヨリモ却テ多量ノ飼料及飲水ヲ給與シアルカ故ニ其ノ枝肉歩留ハ自然低率ナラサルヲ得サル所ナルノミナラス市場取引牛ノ枝肉ニハ頭頸部橫隔膜等ヲモ含ムニ對シ支廠枝肉ニハ此等ヲ除外スルヲ以テ兩者枝肉歩留ニ約五%ノ差異アルモノトス

ト謂フニ在リ然レトモ

(一) 支廠購入牛ト市場取引牛トノ一頭當牽入生體量ヲ觀ルニ前者四百四十七斤後者四百四十六斤ニシテ答辯ニ謂フカ如ク生

體量ニ於テ一、二割ノ差異アルモノト認メ難ク又年齢ノ點ニ關シテモ前者ノ購買規格ハ原則トシテ年齢四歳以上八歳以下トアリ購入ノ約九割ハ之ニ該當セルニ對シ廣島市家畜市場取引牛ノ八割餘ハ四歳乃至八歳ニシテ大差ナク兩者間毎日ノ平均品位ノ差異其ノ他ヲ斟酌シ若干ノ増價ヲ認ムルトスルモ其ノ割増實行ノ方法ヲ觀ルニ各日ニ於ケル市場取引牛ノ實地ヲ調査スル所ナク一箇月一回若ハ二回程度ノ調査ニ際シ漫然各日分ニ對シ一厘乃至四割九分ノ割増ヲ加ヘ居レルノ狀況ニシテ其ノ計算適實ナルモノト認ムルヲ得ス率入前ニ於ケル飲水ノ點ニ關シテモ兩者ノ率入ヨリ屠殺ニ至ル間ノ歩減ヲ觀ルニ前者二十一疋後者五十二疋其ノ差三十一疋ニシテ生體量ニ對シ約七分ニ過キサルニ一、二割ノ差アルモノトシ右割増額ニ對シ更ニ一割ノ増價ヲ爲シタルハ妥當ノ措置ト認ムルヲ得ス

(二)支廠屠獸規程ニ依レハ翌早朝屠殺スルモノニ對シ前日ノ夕飼ヨリ給飼ヲ絶ツニ過キス市屠場ニ於テ屠殺スルモノハ家畜市場ニ於テ賣買成立後其ノ翌朝屠殺スル迄飼付ヲ爲ササルモノニシテ兩者飼付方法ニ於テ大ナル差異ヲ認メ難ク又市屠場ニ於ケル枝肉ニハ頭頸部横縱隔膜等ヲ含ミ延イテ歩留ヲ高カラシムルモノナリト謂フモ廣島市屠場ニ就キ調査スル所ニ依レハ前記各種ノモノハ之ヲ含マシムルノ事實ナク殊ニ七年二月以降ニ於テ戰地追送ノ爲購入セル枝肉等ノ價格算定ニ當リテハ孰モ枝肉歩留ヲ四七%ト爲セルノ狀況ニシテ支廠屠殺直營歩留實績(率入生體量ニ對シ四九%)ヲ直ニ採用シ得ストスルモノヲ四五%ト定メタルハ低率ニ失スルモノト謂ハサルヲ得ス

絛上ノ事實ヲ勘案シ兩者ノ間品位其ノ他ニ若干ノ優劣アリトスルモ答辯ニ謂フカ如キ著シキ懸隔アルモノト認メ難キヲ以テ今假ニ廣島市家畜市場生牛取引價格ニ平均一割ノ増價ヲ爲シタルモノヲ基準トシ歩留ヲ四七%トシテ枝肉價格ヲ算出セハ參圓五拾錢乃至四圓八拾七錢ト爲リ本件購入價格ニ於テ平均一割四分餘ノ高價ニ當リ畢竟價格ノ算定適實ヲ缺キタルモノト認メサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

宇品陸軍糧秣支廠ニ於テ購買スル牛肉ハ生體重ニ依ルコトナク同廠ニ於テ各地ノ畜産組合ヨリ直接生牛ヲ供給セシメ之ヲ屠殺解體ノ上枝肉トシテ購買スルヲ以テ其ノ價格決定ニ當リテハ一應廣島市家畜市場ニ於ケル生牛賣買平均價格ヲ基準トシ之ニ支廠購買牛ト市場取引

牛トノ品位ノ差異、生牛取引並率入ヨリ屠殺迄ノ各種ノ實情ノ差異ヲ加減シ更ニ翌月ノ騰落見込等ヲ參酌シ通常毎月下旬其ノ翌月分ノ價格ヲ決定スルモノニシテ本件購買ニ在リテモ右ニ依リタルモノニシテ其ノ價格ノ算定適實ヲ缺キタルモノト認メス

即チ

(1)本件牛肉ハ軍用雜詰ニ使用スルモノナルカ故ニ特ニ資質良好ニシテ耐久性ニ富ム等軍用上特殊ノ要求アリ從ツテ同廠購買牛ノ品位ハ市場取引牛ノ平均品位ニ對比シ體重、年齢、營養及體格等凡テ上位ニ在リ之ヲ生體重ノ點ニ就テ觀ルニ會計検査院ノ例示ニ依ルモ屠殺時ニ於ケル實生體重ハ兩者ノ間既ニ三十二疋(率入時ノ差一疋ト飲水ニ依リ)ノ差ヲ生シ又年齢ノ點ニ就テ之ヲ觀ルモ支廠購買牛ハ資質良好ナル三歳乃至十歳ノモノニ限ラレアルニ反シ市場取引牛ハ二歳ノ幼年及十一歳乃至十五歳ノ老牛ヲ混シアリ其他營養、體格等ノ點ヨリ品位ヲ比較スルモ支廠購買牛優良ナルヲ以テ之ニ應シ平均相當ノ増價ヲ要スルヤ必セリ殊ニ程度不齊ナル市場取引牛ノ某月中ノ最低價格ヲリシ某日ノ價格ト支廠同月購買價格ト比較シ相當大ナル軒輕ヲ生スル場合アルヘキハ又想像ニ難カラサル所ナリ而シテ市場取引牛品位判定ノ方法ニ於テモ支廠ハ信用シ得ヘキ廣島市役所技師ニ依嘱シ其ノ判定ヲナスノ外時々同廠獸醫官其他專門職員ヲ直接市場ニ派シ之ヲ實査セシメアルヲ以テ市場ヨリ提供スル資料ト支廠購買牛日々ノ生體検査成績調書トノ照合コソ月一、二回ナリト雖モ右ニ依リ市場取引牛ノ品位ヲ判定シ得ル所ナリ

次ニ生牛率入前ニ於ケル飲水ニ依ル歩減率ハ會計検査院ノ例示ニ依ルモ市場取引牛ハ支廠購買牛ニ比シ既ニ體重ノ七分ノ増價アルヲ認メアリ而モ此ノ差ハ率入ヨリ屠殺迄前者ハ後者ニ比シ著シク短少ナル時間ニ生シタルモノナルト市場取引牛取引ノ實況ニ徴シ支廠ニ於テ兩者ノ間一割ノ差アリト認定シ増價ヲナシタルハ敢テ失當ニ非サルモノト認ム

(2)廣島市屠場ニ於ケル枝肉歩留率及枝肉ノ範圍ニ關シ同市役所ニ就キ最近更ニ之ヲ質シタルニ同所ニ於テハ事務上計算ヲ簡易ニスル爲メ歩留五〇%ト見做シアリ事實上ノ歩留ハ不明ナルモ四五%以下ノモノモアリテ一樣ナラストナシ又枝肉中ニハ横隔膜、腎臟、尾根等ヲ含ム(支廠ノモノハ之ヲ含マズ)コトヲ明確ニセリ從テ右ノ事實ト市場取引牛ノ品位トニ徴シ支廠ト同様ノ枝肉價格ヲ算出スル爲メ計算上ノ歩留ヲ四五%ト認定シタルハ適當ノモノト認ム昭和七年二月戰地追送品ノ枝肉歩留ヲ四七%トナシタルハ同品ハ上海方面派遣將兵ニ直接給與スヘキ生肉ニシテ常時購入ノ雜詰肉材料ニ比シ一層品質良好ナリシニ依ルモノナリ

之ヲ要スルニ本件購買價格ノ決定適當ニシテ之ヲ廣島商工會議所公表ニ係ル同期間ニ於ケル枝肉卸賣價格ニ比シ支廠購買牛廉價ナルノ事實ニ徴スルモ其ノ價格ノ算定適實ヲ缺キタルモノト認メス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【案決】 警告

第二十四款 滿洲事件費 第一項 滿洲事件費

【報告】 (一四) 陸軍省經理局主計課ノ支出ニ係ル

二〇、〇八七、九二〇

ハ陸軍衛生材料廠ニ於テ昭和六年九月ヨリ七年二月ニ至ル間ニ於テ九回ニ互リ東京府中野町石地某ヨリ隨意契約ニ依リ單價百粒入一瓶拾貳錢乃至拾貳錢八厘五百粒入一瓶五拾貳錢ヲ以テ購入シタル「クレオソート」丸千六百四十八萬粒ノ代價ナリ右ハ滿洲事件用衛生材料補給ノ目的ヲ以テ急速購買ヲ要シ競争ニ付スルノ暇ナク且陸軍藥局方適合品ヲ製造セシムルハ甚タ困難ニシテ熟練且信用アル技術ヲ必要トストノ事由ニ依リ本供給者ノミヨリ購入シタルモノナルモ敢テ獨占供給セシムルノ要ナキモノト認メラルルノミナラス七年六月本供給者外一名ヨリ別途購入セシモノノ單價拾錢ニ比スルトキハ高價ト認メラルルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

「クレオソート」丸ハ技術經驗信用アルモノニ非サレハ陸軍藥局方適合品ヲ製造スルコト至難ニシテ市井ニ於テ「クレオソート」丸ト稱シ販賣シツツアルモノハ分析試驗ノ結果其ノ成分不正確原料粗惡ナルコト當廠購買品ノ比ニ非ス而シテ「クレオソート」丸ノ如ク諸原料ヲ調合製劑スルモノニ在リテハ原料ノ選擇製劑方法ノ按配等ニ依リ其ノ生産原價ヲ或程度迄加減シ得ヘキモノナルモ醫藥ハ其ノ精粗人命ニ關スルコト至大ニシテ就中醫藥的知識ニ乏シキ兵ニ常用セシムル携帶藥ニ在リテハ特ニ其ノ成分整正ナルコトヲ必要トシ殊ニ本品ハ滿洲上海派遣部隊急需ニ對シ補給用トシテ命令ヲ受領セルモノニシテ整備期間短ク之ヲ一般競争ニ付スルノ暇ナク已ムヲ得ス會計規則第一百四條第一項第二號ヲ適用シ技術經驗アル供給者ト契約セルモノナリ然レトモ永ク一商人ニ獨占供給セシムルコトハ軍需工業動員ニ對スル資源ヲ培養スル所以ニ非サルニ付他ニ適當ナルモノヲ選定スルノ必要ヲ感シ別途六月富山市阿部某ニ試製セシメタルモ其ノ製品ハ辛ウシテ規格ニ合格スルヲ得タル狀況ナルヲ以テ更ニ他ニ適當ナル斯業者ヲ調査ノ結果三共株式會社ヲ適當ト認メ八月該社ヲシテ當廠直接監督ノ下ニ百四十萬粒ノ試製ヲ命シタル所其ノ納入成績ハ概ネ良好ニシテ合格スルヲ得タリ依テ將來

ハ指名競争入札ヲ實施シ購買スル方針ナリ

ト謂フニ在リ然レトモ本件「クレオソート」丸ノ陸軍藥局方ト日本藥局方トヲ比較對照スルニ「クレオソート」ノ含有量ハ孰モ一粒當〇、〇五瓦ニシテ其ノ他ノ點ニ於テ前者ハ小麥粉五瓦甘草細末十四瓦トアルニ後者ハ甘草細末十九瓦トアルノ外全然同一ナルヲ以テ觀ルモ答辯ニ謂フカ如ク陸軍藥局方適合品ヲ製造スルコト至難ナリトハ認メ難ク市井販賣品ハ其ノ成分不正確原料粗惡ナルモノアリトスルモ之カ規格ヲ示シ納品検査ヲ爲スニ於テハ必スシモ一商人ニ獨占供給セシムルノ必要アルモノト認ムルヲ得ス又當局者ハ急迫ノ際競争ニ付スルノ暇ナカリシト謂フト雖之カ購入ノ續ヲ觀ルニ六年九月ヨリ七年二月ニ至ル間ニ於テ九回ニ互リ契約セルモノナルヲ以テ其ノ大部分ニ付テハ指名競争ニ付シ又ハ他ノ同業者ヨリ見積ヲ徵スルノ迫ナカリシモノト認ムルヲ得ス要スルニ本件ハ物品ノ購買ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件「クレオソート」丸ハ滿洲及上海派遣部隊將兵携帶用豫防藥トシテ滿洲事變ノ當初購入シタルモノニシテ本劑ハ市井品ト異リ特ニ兵ノ行軍戰鬪等ノ行動ニ際シ崩壞セス寒暑乾濕等ノ影響ヲ受ケサルモノタルヲ要シ爲メニ優秀ナル製劑技術ニ俟ツヘキ所大ナリ加之醫藥ノ精粗ハ人ノ健康及生命ニ影響ヲ及ホシ特ニ醫學的知識ニ乏シキ兵ニ豫防藥トシテ連日携帶服用セシメ且劇藥ヲ以テ製造スル本劑ノ如キハ殊ニ調劑慎重ナルヲ要スルモノトス

而モ本劑ハ事變ノ擴大ニ伴ヒ部隊派遣ノ都度急遽多量ノ調劑ヲ要セシヲ以テ特ニ技術經驗並ニ信用ヲ兼備スルモノヨリ供給セシムルヲ要セシナリ

然ルニ事變當初本劑調達ニ當リ調査スルニ石地某以外ニ適當ナル供給者ナク獨リ石地某ハ西伯利、濟南兩事變ニ際シ本劑ヲ一手ニ供給シ其ノ成績モ亦極メテ良好ニシテ本劑製造ニ特有ノ技能ヲ有セシノミナラス調達當時ノ如キ急迫セル狀況ニ際シ未タ曾テ陸軍藥局方ニ適合スル特殊品ヲ製造シタル經驗ヲ有セサル他ノ供給者ヲ調査シ之ニ試製セシメ其ノ製品カ規格ニ合格スルヤ否ヤヲ判定シタル上更ニ競争ニ付スルカ如キ追無カリシヲ以テ製品ノ精良ト補給ノ迅速確實ヲ期セシカ爲メ隨意契約ニ依リ石地某ヲシテ本劑ノ供給ヲナサシメタルモノナリ

而シテ其ノ價格ニ於テモ既往ノ調劑價格及市井品價格ヲ參酌シ慎重調査ノ上決定セルモノニシテ當時ノ價格トシテハ適當ノモノト認メ

ラルノミナラス之ヲ昭和七年六月購入品ノ價格ニ比シ高價ナリトナスモ後者ハ製造期間長キ等ノ事情ニ基クモノニシテ之ヲ以テ前者ノ價格高キニ失スルモノト認メス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 警告

(參照) ○會計規則(大正十一年一月九日)

第百十四條第一項 會計法第三十一條第二項ノ規定ニ依ルノ外左ニ掲クル場合ニ於テハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

二 急迫ノ際競争ニ付スルノ暇ナキトキ

海軍省所管

契約ノ變更ニ當リ請負代金ノ決定其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(一五)

五七四、四三七^四四四〇

工事ノ施行ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(一六)

九二、八八一^四四六九

合計二件

六六七、三一八^四九〇九

歳出臨時部

第一款 艦艇製造費 第一項 補助艦艇製造費

五七四、四三七^四四四〇

【報告】

(一五) 横須賀海軍經理部ノ支出ニ係ル

ハ昭和四年九月構成材料ヲ官給シ横濱船渠株式會社ニ請負ハシメタル龍驤船體部建造請負代價百七拾參萬七千四百拾八圓ノ内ニシテ百拾六萬貳千七百拾圓五拾六錢ハ既往年度ニ屬スルモノナリ右ハ當初請負代價ヲ百九拾參萬圓トシテ契約シ工事實施中五年七月一時工事ノ中止ヲ命シ同年十二月更改契約ヲ爲シ上甲板以上ノ工事ヲ取止メタル等ノ爲結局前掲請負金額ト爲リタルモノナルモ上甲板以上ノ工事取止メ等ノ爲減少シタル請負金額ハ貳拾八萬貳千四百拾貳圓ニシテ搭載重量ノ減少割合ニ比シ過少ナルモノト認メカ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

原契約ニ於テハ船殼工事ノ所要工數ヲ噸當平均七十一工餘ト算定シタルモ上甲板以上ノ工事ハ上甲板以下ノ工事ニ比シ作業容易ナルヲ以テ原契約所要工數ノ約八割即チ噸當五十六工餘ヲ相當ト認メ之ニ依リ減少スヘキ額ヲ船殼工事費貳拾

六萬千餘圓其ノ他之ニ件ヲ塗裝工事費並材料割掛費等合計參拾萬九千餘圓ト算定シ一面設計變更ニ件ヒ増加スヘキ鑄造工事費ハ大型鑄物其ノ他ノ取附ナルニ依リ其ノ所要工數ハ原契約算定ノ噸當七十一工餘ヲ其ノ儘採用シテ費額貳萬七千餘圓トシ差引貳拾八萬貳千餘圓ノ減額ヲ至當ト認メタルモノナリ

ト謂フニ在リ然レトモ六年四月横須賀海軍工廠ニ於テ請負會社ヨリ本件船體檢收後主トシテ上甲板以上ニ施行セル船殼工事ノ實績ヲ調査スルニ六年度中ノ搭載重量ニ對シ使用シタル工數ハ噸當平均八十五工餘(間接費ニ屬スルモノヲ除ク)ト爲リ該實績中ニハ素材準備等會社ノ請負工事ニ於テハ必要ナキ工數若干ヲ含ムト雖當初契約工數ノ約十二割(減額算定ニ用ヒタル工數ノ約十五割)ニ當ル計算ニシテ答辯ニ謂フカ如上ノ工數ハ上甲板以下ノ工數ニ比シ作業容易ニシテ噸當所要工數ヲ減少シ得ルモノト認ムルヲ得ス現ニ本件直營施工後ノ噸當工數増加ニ關シ當該官吏ハ會社ニ請負ハシメタル工事ハ主トシテ船殼防禦工事ノ大半ニシテ其ノ時期ニ於テ取扱ヒタル材料ハ重量、寸法共ニ大ナルカ爲之カ製造、取附等ニ要スル噸當工數ハ最少ノ時期ニ在リシモ六年度工廠ニ於テ施行シタル船殼工事ハ比較的薄板工事ニシテ搭載重量少キモ之カ製造取附等ニ要スル工數ハ却テ多數ヲ要スル時期ト爲リシ爲自然噸當工數ヲ増加セリト説明セルト鋼材ノ寸度等當初ノ計畫ニ比シ大差ナキノ事實ニ徴シ本件契約ノ更改ニ當リ當初契約所要工數ノ八割ヲ以テ值引額算定ノ基礎ト爲シタルハ失當ノ措置ト認メサルヲ得ス加之本件計畫ノ變更ハ當初契約ノ搭載重量ニ對シ二割三分餘ヲ減少シタルモノナルニ現圖、製圖費等原契約ニ積算セル四拾八萬貳千餘圓ニ對シテハ毫毛減額ヲ爲ササリシモノアリ要スルニ本件ハ契約ノ變更ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件當初横濱船渠株式會社ニ製造セシムヘカリシ部分ト契約更改ノ後海軍ニ於テ直營セシ部分トハ計畫變更ノ結果工事ノ内容ヲ異ニセルモノナルヲ以テ兩者ヲ比較シ直チニ其ノ費用ノ多寡ヲ論スルヲ得サルモノニシテ本件ハ必シモ不當ニアラスト認ム

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 警告

第六款 營繕費 第六項 吳島小島揚炭設備費

【報告】 (一六) 吳海軍經理部ノ支出ニ係ル

九二、八八二、四六九

ハ吳海軍建築部ニ於テ直營ニ係ル島小島揚炭設備中岸壁築造外四廉工事費拾八萬貳千四百四圓五拾錢九厘ノ内ニシテ八萬九千五百貳拾參圓四錢ハ昭和五年度ニ屬シ外ニ材料價格千貳百貳拾八圓六拾八錢壹厘ヲ使用セリ右工事ハ設計豫算高參拾壹萬圓ニテ五年六月著手シ八年三月竣功ノ豫定ヲ以テ工廠製鋼部地先ノ海底十四米乃至十九米ニ堆積セル軟泥土石炭燼軟黑粘土等ノ比較的軟弱ナル地盤ニ基準水面下九米同水面上約六米計約十五米ノ混凝土岸壁延長百米ヲ築造シ左右兩翼ニ延長百八十米及百二十米ノ護岸張石ヲ施シ背面ヲ埋立テ繫船柱ノ設備等ヲ施行セムトスルモノニシテ著手以來基礎掘栗石ノ投入前面捨石等ヲ終リ混凝土方塊ヲ疊積セムトスルニ先チ岸壁基礎ノ沈下ヲ試驗スル爲方塊ノ假積ヲ爲シ荷重試驗ヲ行フコトトシ六年十一月末假積ニ著手シ漸次方塊ヲ疊積セシニ次第ニ沈下シ七年一月十一日ニ於テ沈下約九十糎ニ及ヒシカ同日荷重ヲ平米當約八噸ヨリ約十五噸ニ増加シタルニ十三日朝方塊ハ基礎沈下ノ爲俄然顛覆スルニ至レリ依テ當局者ハ其ノ後岸壁基礎ノ地點ニ就キ再度地質調査ノ爲「ボーリング」ヲ爲セシニ基準水面下三十三、四米ニテ漸ク砂層ニ達スルノ狀況ニシテ本件工事ハ岸壁自體及揚炭機ノ總荷重平米當二十八噸ト爲ル計算ナルヲ以テ此ノ如キ地質ニ岸壁ヲ築造スルハ危險ナリト認メ工事ヲ中止シ調査ノ結果現位置ノ西方ニ當ル島小島ノ沿岸ハ海底砂硬盤ニシテ岸壁築造ニ適當ナリトシ七年八月位置變更ヲ決定スルニ至リ隨テ岸壁基礎工事等ニ要セシ費額七萬餘圓ハ損失ト爲ル結果ヲ來セリ依テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

該位置附近ハ從來工廠石炭揚場トシテ充當セル所ニシテ揚炭設備實施ノ計畫ニ當リ專ラ運送船ノ發著並各工場配炭上ノ利便ヲ考慮シ現計畫通實施スルヲ適當ト認メ地質調査ノ結果基準水面下十六米附近ハ石炭燼夫レ以下ハ少量ノ細砂交リ黑粘土ニシテ岸壁基礎トシテ最適ニ非サルモ當軍港内諸工事ノ實績ニ鑑ミ基礎ニ眞砂及栗石ヲ十分投入シ試驗荷重ニ依リテ基礎眞砂及栗石ノ沈定ヲ圖リツツ進行スルニ於テハ本工事ヲ遂行シ得ルモノト認メタルニ因ルモノナリ

ト謂フニ在リ然レトモ岸壁築造箇所ノ選定ニ當リテハ基礎地質ノ適否ニ關シ十分檢討スヘキモノナルニ五年二月「ボーリング」施行ノ結果ニ依レハ基準水面下二十六米餘迄ハ石炭燼軟黑粘土等ニシテ岸壁築造ノ地點トシテ最適ノ場所ニ非サルコト判明セルニ其ノ儘該位置ヲ選定シタルモノニ係リ海底ノ石炭燼等若干淺深シ眞砂厚二米基礎栗石厚二米餘乃至五米ヲ捨込ミ前面捨石ヲ爲ストスルモ尙其ノ下部ニハ軟弱ナル粘土層ノ厚十米餘ニ及フモノアルヲ以テ揚炭機及岸壁自體ノ重畳平米當二十八噸ニ達スル岸壁ヲ築造スルカ如キ設計ヲ以テセハ不規則ナル沈下ノ結果岸壁ノ安定ヲ缺クハ明ナル所ニシテ若強ヒテ該位置ニ施工スルノ要アリトセハ他ニ適當ノ工法ヲ選フヘキニ拘ラス漫ニ工事ニ著手シ基礎工事ヲ略終了シタル後工事ノ續行不能ニ陥リ多額ノ工費ヲ無用ニ歸セシメタルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス尙當局者ハ軍港内諸工事ノ實績ニ鑑ミ本工事ヲ遂行シ得ルモノト認メタリト謂フト雖大正七年度該場所ノ東方約八百八十米ノ地點ニ突堤ヲ築造スルニ當リ本件工事ト略同様ノ事例アリタルニ再ヒ本件事態ヲ惹起スルニ至リタルハ注意ノ周到ヲ缺クモノト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ工事ノ施行ニ當リ計畫其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

本件工事ハ當初其ノ目的ニ從ヒ最モ便利ナル位置ヲ選ヒ相當重ナル地質調査ヲ爲シ著手シタルモノナルカ其ノ基礎地盤豫想外ニ弱ク終ニ中途工事變更ノ已ムヲ得サルニ至リシハ遺憾トスルトコロニシテ將來注意スヘシ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 不當

文部省所管

工事ノ請負及物品ノ購入ニ關シ不當ナルモノ一件(一七)

三、八二五、〇〇〇

歳出臨時部

第一款 營繕費 第三項 新營費

【報告】 (一七) 東京雙嘔學校ノ支出ニ係ル

三、八二五、〇〇〇

ハ工事費又ハ物品代等トシテ支拂ヒタル貳萬參千五百八拾六圓拾貳錢ノ内ニシテ壹萬九千七百六拾壹圓拾貳錢ハ學校及圖

昭和六年度 文部省 (一七)

書館特別會計昭和五年度乃至七年度ノ歳出ニ屬スルモノナリ右ハ同校書記中村某カ會計事務擔任中五年四月ヨリ七年六月ニ至ル間ニ於テ福島某外一名ニ工事ノ請負又ハ物品供給等ヲ爲サシムルニ當リ圖面ノ作製工事ノ設計其ノ他諸經費ニ充當スルモノナリト詐稱シ見積金額累計壹萬九千貳百餘圓ニ對シ四千參百餘圓ノ附掛見積ヲ爲サシメ之ヲ正當ナルモノノ如ク裝ヒ右附掛金額ヲ恣ニ費消シタルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【精明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ詐取金一般會計特別會計ヲ通シ四、三五一圓七六〇ノ内三六四圓ハ工事設計料其他トシテ事實上中島某外二名ニ支拂ヒタルモノニシテ結局本人ノ費消金額三、九八七圓七六〇ノ内二、一〇〇圓ヲ七年度ニ於テ辨償シ殘額二、七八七圓七六〇ハ本人資産ノ關係上漸次辨償セシムルコトトセリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

農林省所管

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(一八)
補助金ノ支給ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(一九)
合計二件

歳出臨時部

第一款 産業獎勵費 第十三項 綿羊飼育獎勵費

【報告】 (一八) 本項ニ於テ農林省、種羊場及瀧川種羊場ノ支出ニ係ル
第十八項蠶絲業改良獎勵費ニ於テ農林省ノ支出ニ係ル
第二款農村振興費第二項事務費ニ於テ同省、農事試驗場及蠶業試驗場ノ支出ニ係ル
第三款調査及研究費第二項事業費ニ於テ同省、林業試驗場及蠶業試驗場ノ支出ニ係ル
第七款公有林野官行造林費第一項公有林野官行造林費ニ於テ同省及青森外五營林局ノ支出ニ係ル
一〇、四九一、三六〇
一三、一四九、〇〇〇
六二、八九五、〇〇〇
一一、五六〇、〇〇〇
二五、〇九八、〇三〇

計拾參萬參千九拾參圓參拾九錢ハ官吏ニ對シ賞與及慰勞金トシテ支給シタルモノナルモ(一)蠶絲業改良獎勵費、農村振興費事務費並調査及研究費事業費ニ在リテハ豫算上官吏ニ對スル慰勞金ノ積算ナキニ拘ラス前掲金額ヲ支出シ(二)綿羊飼育獎勵費及公有林野官行造林費ニ在リテハ殆ト全部ヲ飼料費又ハ造林費、土木費ヨリ流用シ支出シタルモノニシテ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【精明】 本件中産業獎勵費ノ内蠶絲業改良獎勵費、農村振興費並調査及研究費ニ在リテハ專任職員ノ設置アルモ極メテ僅少ノ人員ニ過キサルカ故ニ之レカ豫算ノ執行ニ當リテハ經常部所屬職員等ヲシテ其ノ事務ヲ兼掌若ハ援助セシムルノ必要アリ從テ此等繁劇ナル事務ニ從事シ豫算ノ目的ノ達成ニ盡力不遑者ニ對シ年末、退官等ニ際シ手當金ヲ支給シタルモノナリ綿羊飼育獎勵費並公有林野官行造林費ニ在リテハ其ノ所屬ノ職員ニ對シ賞與ヲ支給シタルハ繁劇ナル事務ニ携ハル職員ノ勞ヲ犒フハ必要且己ムヲ得サル所ナリ故ニ豫算ノ目的ノ達成ヲ妨ケサル範圍ニ於テ支辨シタルモノニシテ何レモ不當ナリト認メス

【貴決】 措置穩當ヲ闕ク

【衆決】 不當

第六款 治水事業費 第三項 補助及補償費

【報告】 (一九) 農林省ノ支出ニ係ル
ハ昭和六年度ニ於ケル高知縣ノ荒廢地復舊事業費豫算額拾五萬五千五百參拾五圓ニ對シ國庫補助金トシテ交付シタル金額ナリ

抑同縣ニ於ケル荒廢地復舊事業ハ四年度ニ在リテハ豫算額貳拾六萬四千餘圓ニ對シ補助金拾萬參千餘圓ヲ受ケ事業費拾八萬餘圓ヲ使用シ五年度ニ在リテハ豫算額拾八萬六千餘圓ニ對シ補助金九萬餘圓ヲ受ケ事業費八萬九千餘圓ヲ使用シ同年度末豫算使用未済額拾四萬四千餘圓ニ達セルニ六年度ニ於テ更ニ多額ノ事業費豫算ヲ年度内使用スルモノナリトシ前掲補助金ヲ交付シタルハ妥當ナラスト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

高知縣ニ於ケル荒廢地復舊事業ノ前年度豫算繰越額ハ荒廢地復舊費補助規則ニ依リ後年度ニ於テ行フ同一事業ニ對シ支出スヘキ義務アル關係上當年度補助金ハ當年度分事業ニ對シ交付シタルモノニシテ縣カ四年度以降多額ノ繰越金ヲ擁シ

ナカラ補助規則ニ依リ支出セザリシハ取扱上甚タ遺憾ト認メタルヲ以テ六年度末職員ヲ同縣ニ出張セシメ之カ支出方ヲ嚴重交渉セシメタル結果縣ハ七年度ニ於テ前記繰越金ニ相當スル事業ヲ爲スノ計畫ヲ以テ豫算ノ編成替ヲ爲スコトトセリ尙七年度補助金交付ニ際シテハ既往年度補助金ニ比シ著シク減額シ七千九百餘圓ヲ交付スルニ止メタリ

ト謂フニ在リ然レトモ本件補助事業ハ連年豫算額ニ對シ多額ノ使用未済額ヲ生シ五年度末ニ於テハ前掲拾四萬四千餘圓ニ達シ内後年度ニ於テ施行スヘキ事業ヲ豫定セス單ニ金額ノミヲ繰越シタルモノノ三年度分壹萬七千餘圓四年度分貳萬六千餘圓五年度分壹萬餘圓計五萬四千餘圓ニ及ヘルノ狀況ナルニ後年度ニ於テ支出ノ義務アルモノトシ漫然補助金ヲ交付シタルカ爲六年度末ニ於テハ金額ノミヲ繰越シタルモノノ八萬參千餘圓ニ達セルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス要スルニ本件ハ國庫補助金ノ交付ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本縣ハ相續テ豪雨出水ヲ蒙リ治水上急速復舊工事ノ施行ヲ要スルモノ多キヲ以テ之カ復舊ノ完成ヲ圖ルハ最モ緊要ト認メ常ニ督勵ヲ怠ラズ縣モ亦之カ復舊ニ努メ來リタル次第ナリ

然ルニ昭和三年度以降ニ於テ金額ノミノ繰越金相當ノ額ニ達シタルニヨリ之ヲ翌年度ニ於テ同一事業ニ支出セシムルコトトシタルモ昭和五年度迄ニ累計五萬四千餘圓ヲ算スルニ至リタルヲ以テ昭和六年中特ニ職員ヲ派遣シ實情ヲ調査シ之カ實行ニ關シ嚴重ナル督勵ヲ加ヘ七年度ニ於ケル新規計上豫算ヲ縮少セシメ以テ前記繰越金ニヨル事業ノ遂行ヲ期セシムルコトトセリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

(參照) ○荒廢地復舊費補助規則(明治四十四年四月四日)

第五條第一項 府縣ニ於テ交付ヲ受ケタル補助金ノ全部ヲ當該年度内ニ支出スルコト能ハサルトキハ其ノ殘額ヲ當該年度後ニ於テ行フ同一ノ事業ニ對シ支出スヘキ義務アルモノトス但シ支出スヘキ見込ナキトキハ其ノ旨ヲ決算表ニ附記スヘシ此ノ場合ニ於テハ農林大臣ハ其ノ金額ノ還付ヲ命スルコトアルヘシ

商工省所管

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(二〇)

一三、六八四〇〇〇

補助金ノ支給ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(二一)
合計二件

八、〇〇〇〇〇〇

一一一、六八四〇〇〇

歳出經常部

第一款 商工本省 第五項 度量衡費

【報告】

(二〇) 本項ニ於テ商工省ノ支出ニ係ル

一一一、三八一〇〇〇

第二款特許局第二項事務費ニ於テ特許局ノ支出ニ係ル

二〇、六三七〇〇〇

臨時部第二款貿易振興費第二項事務費ニ於テ商工省ノ支出ニ係ル

一六、七三四〇〇〇

第三款調査及試験費第二項事業費ニ於テ商工省、福岡鑛山監督局及燃料研究所ノ支出ニ係ル

三八、四七四〇〇〇

第十二款臨時産業合理局費第二項事務費ニ於テ臨時産業合理局ノ支出ニ係ル

一六、四五八〇〇〇

計拾壹萬參千六百八拾四圓ハ官吏ニ對シ慰勞金トシテ支給シタルモノナルモ本項豫算中官吏ニ對スル慰勞金ノ積算ナキニ拘ラス前掲多額ノ支出ヲ爲セルハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

右ハ孰レモ本務以外ニ他ノ事務ヲ兼掌シタル者又ハ兼官者ニ對シ年末又ハ退官者ハ當該事務終了ニ際シ支給シタル慰勞手當ニシテ給與ノ權衡ヲ考慮シ剩餘アル科目ヨリ流用支辨スルハ經理ノ實際上止ムヲ得サル措置ニシテ當初豫算中ニ積算ナカリシト雖多年ノ慣例ニ依リ豫算ノ流用ヲ許サレタル範圍内ニ於テ實行シタルモノナルヲ以テ失當ノ措置トハ認メス

【貴決】 措置適當ヲ闕ク

【衆決】 不當

歳出臨時部

第十二款 臨時産業合理局費 第三項 補助金

【報告】

(二一) 臨時産業合理局ノ支出ニ係ル

八、〇〇〇〇〇〇

ハ國産使用品普及費補助トシテ日本商工會議所ニ對シ交付シタル金額ナリ右ハ同會議所ニ於テ展覽會講演會其ノ他國産品

昭和六年度 商工省 (110)(111)

愛用宣傳等ニ要スル經費豫算壹萬貳千圓ニ對シ補助シタルモノニシテ同會議所ハ計畫ノ通之ヲ實施シ經費壹萬千七百餘圓ヲ支出シタルモノトシテ臨時產業合理局ニ報告セルモノナルモ昭和七年十月ノカ實地ヲ検査スルニ前記國産品愛用ニ關スル事業ハ豫定計畫ノ一部ヲ實施セルニ止リ其ノ經費ノ認メ得ヘキモノ五千參百餘圓ニ過キス補助金ノミヲ以テスルモ貳千六百餘圓ノ剩餘ヲ示セルノ計算ナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ未タ答辯ニ接セスト雖補助ノ目的タル事業ヲ其ノ計畫ノ如ク實施セス交付補助金ニ剩餘アルニ拘ラス漫然之ヲ放任セルカ如キハ妥當ノ措置ト認ムルヲ得ス右ノ外同會議所ニ對シ同局ノ支出ニ係ル産業合理化普及費補助及商工省ノ支出ニ係ル貿易振興費補助ニ在リテモ事業費ノ收支正確ナラサルモノアルノ狀況ナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 本件ハ國産品使用ノ普及ヲ圖ル爲日本商工會議所ニ對シ國産品輸入品對比展覽會ノ開催其ノ他國産品愛用宣傳等ニ要スル經費補助ニ關スルモノニシテ豫算壹萬貳千圓ニ對シ八千圓ノ補助金ヲ交付シタルモノナリ然ルニ右計畫中豫定ノ經費ヲ要セザリシモノアリシト計畫ノ一部ヲ實行スル能ハサリシカ爲其ノ經費ハ豫算額ニ比シ六千六百四拾六圓餘ノ減少ヲ來シタルコト判明シタルヲ以テ右減額中國庫補助金ニ對スル金額四千四百參拾壹圓餘ヲ返還セシメタリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

逓信省所管

物品ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ二件(二二)(三三)

三三、七〇六、五六〇

歳出經常部

第二款 逓信費 第二項 逓信事業費

【報告】

(二二) 本項ニ於テ大阪外四逓信局ノ支出ニ係ル

一六、九二二、五五〇

臨時部第五款電話交換擴張費第二項事業費ニ於テ廣島外二逓信局ノ支出ニ係ル

二、〇三四、〇一〇

計壹萬八千九百五拾六圓五拾六錢八名古屋、大阪、廣島、熊本、札幌各逓信局ニ於テ昭和六年八月以降十二月迄ノ間東京

市芝區柴田某外二名ト購入契約ヲ爲シタル電話「ケーブル」配線用端子函四對二百箇五對四百四十二箇七對八百十三箇十對千箇十三對二百七十九箇十五對千三十箇二十五對百六十二箇ノ代價ナリ右ハ孰モ實用新案ニ係ル順信式、信利式或ハ野村式等ヲ指定ノ上購入契約ヲ爲シタルモノナルモ之ヲ同年九月ヨリ十二月ニ至ル間東京逓信局ニ於テ逓信省ノ實用新案ニ係ル型式ヲ指定シ購入契約ヲ爲セルモノニ對比スルニ

種別	東京	大阪	名古屋	熊本	廣島	札幌
四對	自一五七〇至一七六〇	二二〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
五對	自一九三〇至二二七〇	二七五〇	四七〇〇	三九〇〇	二九〇〇〇	三二五〇
七對	自二二七〇至二九三〇	五二五〇	五二五〇	五五〇〇	四一四〇〇	五二〇〇
十對	自二四五〇至二九七〇	三八〇〇	六三〇〇	六八〇〇	五一一〇〇〇	五二〇〇
十對	自二四五〇至二九七〇	三八〇〇	六八〇〇	六八〇〇	四八六〇	六二〇〇
十五對	自二九七〇至三九七〇	七九〇〇	六七六〇	六八〇〇	六五五〇	六二〇〇
二十五對	自三九七〇至四八八〇	一〇八八〇	一〇八八〇	一〇八八〇	七八〇〇	一〇五〇〇

ニシテ本件購入單價ハ著シク高價ナルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ本器ニハ種種ノ型式アルモ孰モ一長一短アリ購入當時ハ信利式、岡崎式、野村式ハ技術的ニ觀察シ將來保守上比較的適當ト認メ指定シタルモノニシテ東京逓信局ノ購入價格ニ比シ差異アルハ型式仕様ノ相違セル關係及購入數量ノ多少又ハ指定當業者數ニ依リ自然競争ノ結果價格ノ相違ヲ見ルニ至リタルモノト思料ス

ト謂フニ在リ然レトモ逓信省ニ於テハ六年三月端子函ニ關スル實用新案ノ登錄ヲ受ケ七月逓信公報ニ依リ管内一般ニ發表セル所ナルヲ以テ各逓信局ニ於テ此ノ型式ヲ加ヘ指定セハ相當有利ニ購入シ得タルモノト認メラルルニ本型式ヲ採用スル

所ナク特ニ他ノ型式ノミヲ指定シ高價ナルモノヲ購入セルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス要スルニ本件ハ物品ノ購買ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ不利ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件ニ關スル會計検査院批難ノ要旨ハ東京以外ノ各逓信局ニ於テ端子函購入ニ際シ逓信省ニテ權利ヲ所有スル型式ヲ採用スル處ナク特ニ他ノ型式ノミヲ指定シ高價ナルモノヲ購入セルカ如キハ失當ノ措置ナリト謂フニ在リ

抑モ本品ハ電話架空「ケーブル」配線ニ於テ使用スル重要品ニシテ昭和四年頃ヨリノ使用ニ屬シ現在ノ處未タ實地試験中ニ係ルモノナルカ本品ノ適否如何ハ「ケーブル」配線ノ效果ニ甚大ナル關係ヲ有スルハ勿論其ノ所要數亦相當多量ナルヲ以テ之カ仕様ハ慎重ニ調査決定スルヲ要シ當省ニ於テ鋭意之カ研究調査中ノモノトス然ルニ民間業者ニ於テモ之カ考案製作スル者簇出シ其ノ構造比較の簡單ナルニ拘ラス之ニ關スル實用新案ノ登録ヲ爲スモノ實ニ百數十件ヲ算シ微細ナル點ニ至ル迄登録セラレ而モ何レモ一長一短アリ其ノ長所ヲ採リテ仕様書ヲ制定セムトセハ其ノ何レカニ抵觸シ又之ヲ回避シテハ優秀ナル端子函ノ考案容易ナラサルニヨリ已ムヲ得ス當時比較の優良ト認めラレタル信利式「岡崎式」順信式「野村式」等ノ實用新案品ヲ實地ニ使用シ其ノ優劣ヲ比較研究スル目的ヲ以テ各種ノ型式構造ノモノヲ指定シ購入シタルモノトス又逓信省ニ於テ實用新案登録ヲ得タル端子函ハ既ニ登録セラレタル多數ノ權利ニ抵觸スルコトヲ避ケ考案シタル構造ナルヲ以テ實用上考究ノ餘地尙存シタルモノ一應考案ノ結果ヲ登録シ置キタルモノニシテ昭和六年七月逓信公報ニ發表シタル本品ノ規格ヲ指定スルノ意ニアラスシテ單ニ斯クノ如キ型式構造ノモノノ登録ヲ得タル事實ヲ公示シタルモノニ外ナラス而シテ東京逓信局ニ於テハ上記考案ニ係ルモノノ實用價值ヲ調査スルノ目的ヲ以テ購入シタルモノニシテ其ノ價格カ他式ノモノニ比シ廉價ナリシハ主トシテ其ノ仕様ニ於テ他式ノモノニ比シ簡單ナルコト民間業者ノ權利ニ關係ナキ爲メ所謂獨占料ヲ要セザリシコト及自由競争ニ依リタルコト等ニ基クモノト認め從テ其ノ購入單價ノ低廉ナリシ故ノミヲ以テ直ニ本品ヲ他ノ各局ニ採用セザリシコトヲ難スルハ當ラス上述ノ如ク本型式ハ尙考慮ノ餘地アルヲ以テ他逓信局ハ在來ノ型式ニ依リ考究中ニ屬シタルモノトス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【兼決】 不當

【報告】

(二三) 仙臺逓信局ノ支出ニ係ル

一四、七五〇〇〇

ハ昭和七年三月増備用トシテ株式会社ドウドウエル商會ヨリ購入セル電信受信用「アンダーウッド」和文「タイプライター」五十臺ノ代金ナリ右ハ米國製品ナルモノ之ヲ同一用途ニ供セラルル國産品黒澤製「エル・シー・スミス」和文八號型「タイプライター」ニ比スルニ著シク高價ナルヲ以テ特ニ斯ル高價品ヲ購入スルノ要ナキモノト認め之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

當局設備當初ハ兩型アリシモ二年五月本省ノ方針ニ基キ當局トシテハ「アンダーウッド」型ニ統一セラレ引續キ本器ヲ使用シ來リタルモノナリ

ト謂フニ在リ然レトモ右兩者ハ孰ヲ使用スルモ事務上支障ナク現ニ東京、大阪、名古屋ノ各逓信局管内ニテハ「エル、シー、スミス」型ヲ専用シ廣島逓信局管内ハ兩型ヲ使用セルノ狀況ニシテ其ノ價格ハ七年三月本省ニ於テ購入ノ「エル、シー、スミス」和文八號型一臺貳百貳拾九圓餘ナルニ對シ本件「アンダーウッド」型ハ一臺貳百九拾五圓ニシテ著シク高價ニ當レリ隨テ此ノ種器械ヲ増備スルニ當リテハ低廉ナル國産品ヲ購入スルヲ妥當ト認めラルルニ却テ高價品ヲ購入増備スルカ如キハ失當ノ措置ト認めサルヲ得ス要スルニ本件ハ物品ノ増備ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス高價品ヲ購入シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件ニ對スル會計検査院批難ノ要旨ハ仙臺逓信局ニ於テ昭和七年三月電信受信用和文「タイプライター」増備ニ當リ低廉ナル國産品「エル・シー・スミス」型ヲ購入スルヲ妥當ト認めルニ却ツテ高價ナル米國製品「アンダーウッド」型ヲ購入増備シタルハ措置其ノ宜シキヲ得ス不當ナリト謂フニ在リ當省カ電信和文「タイプライター」ヲ設備シタル當初ニ在リテハ「アンダーウッド」及「エル・シー・スミス」ノ兩型アリ價格略同價ナリシヲ以テ其ノ優秀ナルモノヲ撰定セムトスル目的ニテ之ヲ混用試行シタルモノナルモ機能上兩者夫々特徴ヲ有シ其ノ優劣遠ニ判定シ難キ狀況ニ在リタルヲ以テ兩者ヲ併用スルコトニ依リ機器ノ改良ヲ促シ又價格ノ點ニ於テモ當業者ヲ牽制シ獨占ノ弊ヲ抑止スルヲ得策ナリト認めタル次第ナルカ同一逓信局管内ニ於テ兩者ヲ併用スルコトハ技術者ノ養成、機器ノ運用、保守等ニ付不利不便ノ點アルヲ以テ昭和二年度ニ於テ東京名古屋、大阪、廣島各逓信局管内各局ニハ「エル・シー・スミス」型ヲ熊本、仙臺、札幌各逓信局管内各局ニハ「アン

「ダーウツド」型ヲ使用セシムルコトトシ爾來遞信講習所ニ於ケル技術者ノ養成及機器増備ノ場合ニハ右ニ則ル措置ヲナシ他面既設機器ニ付テハ技術者ノ狀況等ヲ稽へ漸次右ニ合致スル様配置替ヲ爲セリ現在廣島遞信局管内等ニ於テ一部併用セルモノアルハ右ノ次第二因ルモノトス

本件仙臺遞信局ニ於テ購入シタル増備用ハ如上ノ事情ニ基クモノニシテ爲替相場ノ關係著シク面白カラサル場合ニ於テ外國製品ヲ購入スルノ不利甚シキハ言フ俟タサルトコロナルヲ以テ操業上支障著シキモノナキ限り常ニ國産品ノ使用ニ努メツツアルモノナルカ本件ノ場合ニ於テハ違ニ異式ノモノヲ併用スルハ通信能率上慎重ニ考究ヲ要スヘキモアルヲ以テ當時爲替相場ノ關係幾分不利ナリシモ此ノ點考慮ノ上購入シタルモノニシテ通信操業上已ムヲ得サリシ措置ナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

特別會計

内務省所管

健康保險

歳入

租税外歳入ノ徴收ニ關シ監督其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(二四)

歳出

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(二五)

歳入

第一款 健康保險收入 第一項 保險料收入

【報告】

(二四) 警視廳ノ收入ニ至ラサルモノ本項ニ於テ
第三項雜收入ニ於テ

一一、五八九、二二〇

一七、六八〇

計壹萬貳千六百六圓九拾錢アリ右ハ川上某カ健康保險者書記補トシテ東京健康保險者ニ於テ又同署事務カ警視廳ニ移管セ

ラルト共ニ同廳屬トシテ保安部健康保險課ニ勤務シ分任收入官吏トシテ歳入金收納事務ニ從事中昭和三年九月ヨリ七年六月ニ至ル間ニ於テ關係書類及帳簿ニ虛偽ノ記載ヲ爲シ横領シタル保險料等壹萬四千九拾五圓四拾參錢ノ内ニシテ千五百八拾八圓五拾參錢ハ七年度ニ屬スルモノナリ右ハ監督其ノ宜シキヲ得サリシニ因ルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

歳出

第一款 健康保險事業費 第四項 保健施設費

【報告】

(二五) 社會局及警視廳外二十六箇所ノ支出ニ係ル
ハ官吏ニ對シ慰勞金トシテ支給シタルモノナルモ本項豫算中ニハ慰勞金ノ積算ナキニ拘ラス之ヲ支出シタルモノニシテ豫

一三、九三八、〇〇〇

算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 本件ハ昭和六年度ニ於テ健康保險法ニ依ル保健施設ノ一トシテ實施セシ被保險者ノ寄生蟲豫防ニ關スル事務ニ關與シタル職員ニ支給シタルモノニシテ右職員ハ繁劇ナル常務ノ傍不潔ニシテ病毒傳染ノ虞アル被保險者ノ糞便ノ採取運搬及撲別等ニ從事シ其ノ勤勞尠ナカラサリシヲ以テ之ニ酬ユル爲本費ヨリ慰勞金ヲ支給シタルモノナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

大藏省所管

造幣局

歳出

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(二六)

第一款 造幣局作業費 第二項 事業費

【報告】

(二六) 造幣局ノ支出ニ係ル

一四一、三〇〇、三〇〇

昭和六年度 健康保險 (二五) 造幣局 (二六)

ハ官吏以下ニ對シ慰勞金トシテ支給セルモノナルモ本項豫算中慰勞金トシテ積算セルハ參萬千餘圓ナルニ對シ其ノ四倍ヲ超ユル慰勞金ノ支出ヲ爲シ就中石炭購買費ヨリ四萬餘圓ヲ流用セルカ如キハ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 作業廳ニ於テ其ノ從業員ニ對スル給與ノ如何ハ直ニ作業能率ニ影響ヲ及ホスコト甚大ナルモノアリ造幣局ノ如キ多數ノ職員職工ヲ擁スル作業廳ニアリテハ其ノ作業能率ノ増進上及工場經營上相當ノ給與ヲナスハ緊要已ムヲ得サルコトニ屬スルヲ以テ之カ支出ヲナシタルモノナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

印刷局

歳出

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(二七)

六三三、〇六四〇〇〇

第一款 印刷局作業費 第二項 事業費

【報告】 (二七) 内閣印刷局ノ支出ニ係ル

六三三、〇六四〇〇〇

ハ官吏以下ニ對シ慰勞金トシテ支給セルモノナルモ本項豫算中慰勞金トシテ積算セルハ貳拾參萬九千餘圓ナルニ對シ其ノ二倍半ヲ超ユル慰勞金ノ支出ヲ爲シ就中動力費及材料品費ヨリ流用セルモノ拾貳萬千餘圓ニ上レルカ如キハ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノト認メサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 本件給與ヲ受ケタル者ノ大部分ハ工場ニ勤務スル者ニシテ是等ハ普通官廳ニ比シ服務時間遙ニ多ク作業ニ依リテハ其ノ性質上晝夜連續勤務ヲ要スル場合尠カラズ殊ニ緊急ノ製品並議會議關係ノ諸印刷物ニ付テハ不眠不休之ニ當ルノ場合モ稀ナラサルヲ以テ是等多大ノ勤務ニ對シ相當ノ慰勞金ヲ支給スルハ當然ノ措置ナリト認メ之カ支出ヲナシタルモノナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

專賣局

歳出

煙草元賣捌人制度廢止ニ伴フ給與金ノ交付其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(二八)

二二〇、九七三〇〇〇

鹽包裝請負單價ノ決定其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(二九)

二〇六、二六〇〇三〇

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(三〇)

一九、一九五〇〇〇

其ノ他不當ナルモノ一件(三一)

五、五六三五六〇

合計四件

四四一、九九一五九〇

第一款 專賣局作業費 第二項 事業費

【報告】 (二八) 東京地方專賣局ノ支出ニ係ル

二二〇、九七三〇〇〇

ハ東京地方專賣局管内元煙草元賣捌人大山某外九名ニ交付セル給與金ナルモ此等元賣捌人ハ孰モ昭和六年六月元賣捌制度廢止ニ先チ同年二月任意廢業セル者ナルヲ以テ之ニ對シ本件給與金ヲ支給シタルハ妥當ナラスト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

五年六月政府カ煙草元賣捌人制度ヲ廢止シ政府直營ニ改メ一年後ニ之ヲ實施スルコトニ決定シ之ニ依リ失業スヘキ元賣捌人ニ對シテハ其ノ轉業ヲ考慮シ相當ノ給與金ヲ交付スルコトヲ聲明セリ而シテ六年一月煙草元賣捌人ノ延納擔保トシテ提供セル公債ノ處理方針ヲ發表スルヤ全國元賣捌人ハ反對運動ヲ起シ廢業届ヲ提出スルノ事態ヲ惹起セシモ其ノ大部分ハ當局ノ勸說ニ應シ廢業届ヲ撤回スルニ至レリ然ルニ本件元賣捌人ハ遂ニ之ヲ撤回セス其ノ儘廢業ヲ爲シタルモノナルモ此等元賣捌人ノ多クハ製造專賣創始以來營業ニ從事シ多年專賣事業ニ貢獻シ殊ニ大山某總澤某ノ如キハ全國元賣捌人協會正副會長トシテ元賣捌人ヲ誘掖指導シ政府ノ意思ヲ體シ營業ノ改善、販賣ノ増進ニ努メ全國ニ於テ優秀ナル元賣捌人ナリシヲ以テ一般元賣捌人ニ準シ給與金ヲ交付スルヲ適當ト認メタリ

昭和六年度 專賣局 (二八)

ト謂フニ在リ然レトモ煙草元賣捌人ニ對スル給與金ハ政府ニ於テ煙草元賣捌ノ直營實施ニ因リ營業繼續不能ト爲ルヘキ元賣捌人ニ對シ轉業等ノ必要ヲ考慮シ其ノ損失補償ヲ爲スノ趣旨ニ基キ支給スルモノナルコトハ本件給與金ノ性質上當然ノ事理ニ屬ス然ルニ本件元賣捌人ハ政府ノ營業指定期間タル六年六月迄其ノ營業ヲ繼續セズ廢業ノ届出ヲ爲シ爾後政府ノ勸說アリシニ拘ラス同年二月強ヒテ任意ニ廢業スルニ至レルモノナルヲ以テ本件給與金ヲ交付スルハ其ノ事由ナキモノト認メサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 本件給與金ハ煙草元賣捌直營實施ニ伴ヒ多年政府ノ販賣補助機關トシテ其ノ業務ヲ忠實ニ遂行シ製品配給ノ使命ヲ果シ來リタル煙草元賣捌人カ殆ト世襲ニ繼續シ來レル之等ノ職業ヲ喪失シ轉業ニ容易ナラサル苦痛ヲ感スルハ勿論投下資本ニ依ル損失亦鮮少ナラサルモノアリ又元賣捌人ノ使用セル従業員ニアリテモ克ク其ノ職務ニ精勵シ製品配給ノ圓滿ニ盡セシ功績多大ナルモノアルヲ以テ之等ニ對シ相當給與金ヲ交付スル趣旨ニ出テタルモノニシテ調査上ノ便宜ニヨリ先ツ一般元賣捌人及其ノ従業員ニ對シ給與ヲ了シ次テ廢業元賣捌人及其ノ従業員ニ及ヒタルモノナリ而シテ右廢業者ニ對シ給與金ヲ交付シタルハ之等元賣捌人ノ多クハ製造專賣創始以來營業ニ從事シ多年專賣事業ニ貢獻カラス且一面全國元賣捌人協會役員等ノ任ヲ帶ヒ克ク一般元賣捌人ヲ指導誘掖シ政府ノ意思ヲ體シ營業ノ改善及販賣業績ノ發揚ニ努力シ來レル最モ優秀ナル元賣捌人ニシテ當然有終ノ美ヲ濟スヘカリシ者ナルニ偶々昭和六年二月煙草買受代金納期短縮問題ニ付キ一般元賣捌人ヨリ代表者ニ推サレ數次政府ニ陳情ヲ重ネタル末遂ニ責任上同業者ノ犠牲トナリテ廢業スルニ至リタルモノニシテ廢業ハ素ヨリ其ノ本意ニ非ラサルハ明カナリ故ニ一般元賣捌人トハ只業務廢止ノ時期ヲ異ニスルノミニシテ其他ニ何等差別アルコトナク之ニ對シ一般元賣捌人ニ準シ給與シタルハ妥當ヲ缺クモノニ非スト信ス但シ右ハ期限前ニ自廢シタルモノナルノ故ヲ以テ給與額ハ一般元賣捌人ニ對スル分ヨリモ低クシ權衡ヲ保持シタル儀ニシテ決シテ給與金ノ本旨ヲ誤リタルモノニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 警告

【報告】

(二九) 東京地方專賣局ノ支出ニ係ル

ハ同局及横濱出張所ニ於テ昭和六年四月隨意契約ヲ以テ大日本鹽業株式會社ノ請負ニ付シタル移輸入鹽六十疋入込包裝出來高七十一萬八千七百六十八包ニ對スル料金ナリ右契約單價八十包當横掛繩二箇所分參圓五錢同一箇所分貳圓八拾五錢ニシテ其ノ内容ヲ觀ルニ

二〇六、二六〇、〇三〇

種 別	横 掛 繩 二 箇 所 分	同 一 箇 所 分
吹 代	一七〇〇	一七〇〇
繩 代	五〇〇	三八六
人 夫	五二〇	四五七
手 數	三三六	三〇五
計 定 單 價	三、〇四六	二、八四八
	三、〇五〇	二、八五〇

ニシテ右ノ内吹ノ價格ハ之カ產地タル香川縣坂出町海岸渡相場ハ前年度ヨリ引續キ低落シ本件單價決定當時タル六年二月ハ六拾六錢四月ハ七拾四錢ニシテ運賃諸掛ヲ加算スルモ右査定ハ高價ニ失スルノミナラス他地方專賣局ノ請負單價ニ比スルモ著シク高價ニ當ルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

從來吹ノ價格ハ坂出地方專賣局ノ調査ニ係ル取引値段及東京横濱市内ニ於ケル當業者ノ見積價格ヲ勘案シ決定シタルモノナルモ二、三年前ノ實績ニ觀ルニ當業者ノ見積額ハ當局調査ノ價格ト大差ナカリシヲ以テ六年度ニ於テハ當業者中資産信用等確實ト認メラレタルモノニ對シ向フ一箇年間納付スルモノトシ見積書ヲ提出セシメタルニ六十疋入込ハ壹圓七拾參錢乃至壹圓八拾七錢ナルヲ以テ之ニ財界ノ動搖ヲ考察シ適當ナル査定ヲ加ヘ壹圓七拾錢ニ決定シタル次第ナリト謂フニ在リ然レトモ坂出町海岸渡ノ吹相場ハ前年度契約當時ニ於テ八十包當壹圓拾七錢ナリシモノ爾後漸落シ六年二月、三月六拾六錢四月七拾四錢ト爲リ之ニ坂出町海岸ヨリ芝浦迄ノ運賃(梱包賃、解賃、積込賃共)拾四錢餘及當局ニ於テ適當ト認メタル荷揚倉入費六錢餘倉出費貳錢餘計貳拾四錢餘ヲ加算スルモ九拾八錢餘ニ過キササルニ單ニ當業者ノ見積價格ニ依リ之ヲ壹圓七拾錢ト決定シタルハ失當ノ措置ニシテ高崎地方專賣局新潟出張所外四移輸入鹽取扱官署ニ於テ購入セル坂

出地方生産ノ平均價格六拾七錢乃至九拾錢ナルニ徴スルモ著シク高價ニ失スルモノト認メサルヲ得ス今本件請負單價橫掛二箇所分參圓五錢ヲ他ノ局所ニ於ケル同年度ノ請負單價

- 名古屋地方專賣局 壹圓四拾九錢
- 福岡地方專賣局門司出張所 壹圓五拾錢
- 大阪地方專賣局 壹圓六拾壹錢
- 同局神戸出張所 壹圓五拾參錢
- 仙臺地方專賣局鹽釜出張所 貳圓拾九錢

ニ比較スルニ著シキ差異アルノ狀況ナリ要スルニ本件ハ鹽包裝請負單價ノ決定其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件ハ價格決定ニ關シテハ會計検査院検査報告ニ掲ケアル當該官吏答辯ノ如ク東京及横濱ニ於ケル當業者ヨリ向フ一箇年間納付スルモノトシテ見積書ヲ提出セシメタルニ最低壹圓七拾參錢(十枚當價格以下同シ)最高壹圓八拾七錢ナリシモ財界ノ動搖ヲ考察シ之ニ査定ヲ加ヘ壹圓七拾錢ト決定シタルモノニシテ右價格ヲ五年度決定價格壹圓九拾錢(五年度基準價格壹圓貳拾五錢ニ同年度ニ於ケル運賃諸掛見込額六拾五錢ヲ加ヘタルモノナリ)ニ比スレハ一割ノ低落ニ當レリ而シテ前記見積書ヲ徵スルニ際シテハ價格ノ適正ヲ期スル爲可及的廣範圍ニ涉リ當業者ヲ物色シ其中ヨリ資産信用等確實ナリト認メタル者五名ヲ選定シタルモノニシテ多數ノ契約例ニ於テ右ノ如キ取扱振ヲ以テ其ノ目的ニ付通常満足ナル結果ヲ見ツツアルノミナラス五年度當初ニ於ケル當業者ノ見積額カ當局調査ノ價格ト大差ナカリシ實況ニ鑑ミ見積價格ハ適當ノモノト認ムル外ナカリシモノナルモ實蹟ニ於テ相當ノ隔差ヲ示シタルハ遺憾ナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】 (三〇) 專賣局ノ支出ニ係ル

一九、一九五〇〇〇

ハ大藏本省所屬官吏ニ對シ支給セル慰勞金ナリ右ハ專賣事務ニ關與シ又ハ煙草販賣制度改正、製鹽地整理等ノ事務ニ關シ勤勞鈔カラストシ支給セルモノナルモ此等官吏カ職務上專賣局事務ニ關與スルノ故ヲ以テ特ニ本費ヨリ慰勞金ヲ支出ス

ルカ如キハ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 大藏本省所屬官吏ニ對シ慰勞金ヲ支給シタルハ專賣事業ノ計畫實行等ニ關シ特ニ其ノ盡力ニ依テタル場合尠ラサリシヲ以テ是等ノ勤勞ニ對シ相當ノ勤勞ヲ爲スヲ當然ノ措置ナリト認メタルニ依ルモノニシテ之ヲ以テ不當ナリト爲スヲ得ス

【貴決】 措置適當ヲ認メ

【衆決】 不當

【報告】 (三一) 東京地方專賣局ノ支出ニ係ル

五、五六三、五六〇

ハ昭和六年四月隨意契約ニ依リ國際通運株式會社ニ請負ハシメ同局淺草工場ヨリ北千住分工場ニ運搬シタル壓搾斷濟煙草十四萬四千五百八貫五百匁(五萬四千六百匁)ノ運賃ナリ右契約單價ハ荷馬車運搬ニ依ル計算ニ依リ荷馬車一日賃金六圓トシ之カ一回行程ヲ一日ノ七分、積載量ヲ百三十貫ト見込ミ荷馬車賃四圓貳拾錢積卸賃貳拾七錢手數料五拾參錢六厘計五圓六厘十貫當參拾八錢五厘ト決定シタルモノナルモ市中ニ於ケル貨物自動車賃金ハ數年來漸落シ之ニ依ルヲ有利トスルノミナラス事實上自動車ニ依リ運搬シ居ルモノナルヲ以テ本件請負單價ノ決定妥當ナラスト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

壓搾斷濟煙草ノ運搬ハ現品ノ容量、荷造構成上荷馬車ナルト自動車ナルトニ拘ラス品質ヲ損傷スルノ虞アルヲ以テ荷繩掛ヲ絕對ニ禁止セルニ依リ一回ノ引渡數ヲ五十草程度トシ一臺ノ積載量基準ヲ百三十貫トシタルモノナリ當時運送界ニ於ケル一噸積自動車ノ相場ハ人夫付拾四圓ニシテ手數料一割二分ヲ加算シ一臺一回ノ賃率ヲ算出セハ五圓貳拾貳錢餘ト爲リ積載量百三十貫ニ割當ツルトキハ十貫當四拾錢餘ト爲ルヲ以テ賃率低キ荷馬車賃參拾八錢餘ニ依リ契約ヲ締結シタル次第ナリ

ト謂フニ在リ然レトモ七年二月會計實地検査ノ際之カ運搬ノ狀況ヲ觀ルニ一草當量目平均約二貫七百匁其ノ體積三立方尺内外ニシテ包裝ノ上結束帶ヲ施シ一臺當平均約六十草ヲ積載シ全部自動車運搬ニ依レルモノニシテ本件運搬距離約二里ノ間ヲ自動車ヲ使用スルトセハ其ノ一日行程ハ往復四、五回以上ニ及フコト容易ナリト認メラルルヲ以テ今假ニ之ヲ四往復

ト看做シ同局ニ於テ製造煙草配給用トシテ備上ニ係ル一噸積自動車人夫付拾貳圓七拾錢ニ一割ノ手数料ヲ見込ミ一日使用料拾參圓九拾七錢ヲ基準トスルトキハ一往復參圓四拾九錢ト爲リ一回平均運搬量六十草約百六十貫ヲ以テ其ノ賃金ヲ算出スレハ十貫當貳拾壹錢餘ト爲リ本件請負單價ハ高價ニ失シタルモノト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ物件ノ運送契約ニ當リ運賃ノ算定其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件批難ニ付テハ會計検査院検査報告ニ掲ケアル當該官吏答辯ノ通ニシテ失當ノ取扱ト思考セス會計検査院ハ東京地方專賣局淺草工場ト同局北千住分工場間ヲ自動車運搬ニ依ルトキハ一日四往復ヲ爲シ得ヘシト謂フモ元來壓搾斷濟煙草ハ製造煙草半製品ナルヲ以テ慎重ニ取扱フニアラサレハ品質ヲ損傷シ又ハ缺減量目ヲ増加セシムル處アルニ付一般粗貨物ノ如ク積込取卸等ニ際シ投荷ヲ爲シ得サルモノニシテ又積載車上ニ於ケル荷繩掛ノ如キモ絕對ニ禁止セル所ナルニ依リ自然荷扱ニ長時間ヲ要スルヲ免レサルノ外兩工場間ニハ列車ノ往復頻繁ナル鐵道踏切二箇所アリ車馬ノ運行ヲ阻止セラレル場合尠ラス斯ル事情アルヲ以テ一日往復回数ハ三回トスルヲ至當ト認メラレ又實際上ニ於テモ生産關係上運搬回数ハ一日三回以内ニ限ラレル實狀ニアリ次ニ一回ノ引渡數量ハ煙草製造作業ノ連絡又ハ進捗ノ都合ニ依リ相當高低アルモ昭和六年度ニ於テ二噸積自動車ニ積載シタル場合ノ一回當平均實積ハ約五拾六草百五拾貫ナルヲ以テ右積載車ニ依ル場合ハ會計検査院ノ謂フカ如ク六拾草約百六拾貫ハ積載シ得ルコトハ認ムルモ自動車ノ使用料ハ當然二噸車ノ料金ヲ以テ計算セサルヘカラス而シテ本件契約當時ニ於ケル一噸積自動車ノ一日當人夫付備上料ハ通例拾四圓ヲ相場ト認メタルモ一步退キ會計検査院ノ擧クル拾貳圓七拾錢ノ例ニ依リ勘案スルトキハ二噸積自動車ノ一日當人夫付備上料ハ拾六圓七拾錢ヲ相當トスヘク之ニ東京地方專賣局カ契約上通常見込ミ居レル一割二分ノ手数料ヲ加算シタル拾八圓七拾錢ヲ以テ一日當使用基準料金トシテ計算セハ一回ノ往復賃金ハ六圓貳拾參錢餘トナリ前記一臺當平均實積五十六草約百五十貫ノ場合ハ十貫當四拾壹錢五厘餘六十草約百六十貫ノ場合ニアリテモ十貫當三拾八錢九厘餘トナルヲ以テ契約料金ハ適當ナリト信ス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

大藏省預金部

歳出

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(三三二) 一、二、三、五、九、〇、〇、〇

第一款 大藏省預金部支出 第一項 事務費

【報告】 (三三二) 大藏省ノ支出ニ係ル

一、二、三、五、九、〇、〇、〇

ハ官吏以下ニ對シ慰勞金トシテ支給セルモノナルモ本項豫算中慰勞金トシテ積算セルハ僅ニ貳千餘圓ニ過キサルニ前掲ノ如ク約六倍ニ達スル支出ヲ爲セルハ妥當ナラサルノミナラス右ノ内官吏ニ對スル慰勞金八千四百餘圓ノ大部分ハ大藏本省内他部局官吏ニ對シ支給セルモノニシテ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

大藏省預金部所屬官吏ニシテ預金部資金運用委員會事務ニ關シ盡力シタル者及同所屬雇傭人ニ對シ其ノ勤勞ニ應ジ相當ノ慰勞金ヲ支給スルハ止ムヲ得サルモノト認メタルト大藏本省内他部局官吏ニシテ預金部資金運用上必要ナル諸般ノ調査及本特別會計ノ經理等ノ事務ニ關シ勤勞多大ナリシ者ニ對シ相當ノ慰勞金ヲ支給スルハ當然ノ措置ナリト認メタルトニ依リ之カ支出ヲナシタルモノナリ

【貴決】 措置穩當ヲ認ク

【衆決】 不當

國有財産整理資金

歳入

國有財産ノ管理處分其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(三三三)

一、六、一、七、五、一、一、五、〇

第一款 國有財産整理資金收入 第一項 國有財産賣拂代

【報告】

(三三三) 東京稅務監督局ノ徵收ニ係ル

一、六、一、七、五、一、一、五、〇

ハ東京市深川區冬木町所在土地三千五百九十四坪餘ヲ昭和六年六月會計規則第一百四條第一項第二十一號ニ依リ平均坪當四拾五圓ヲ以テ株式會社東京林産商會ニ賣拂ヒタル代價ナリ

抑本地ハ大正十二年勅令第四百六號及大藏省令第二十四號ニ依リ十二年十月震災直後帝都復興事業ニ資スルノ趣旨ヲ以テ復興材料置場又ハ製材工場敷地トシテ五千九百餘坪ヲ三井物産株式會社ニ四千二百餘坪ヲ秋田林産株式會社ニ對シ期間ヲ

昭和六年度 大藏省預金部 (三三二) 國有財産整理資金 (三三三)

二箇年卜定メ貸付シタル土地ノ一部ニシテ兩會社ニ對スル貸付ハ爾後期間滿了ト共ニ繼續貸付ヲ爲シ昭和二年八月三井物産株式會社ハ返地セルモ秋田林産株式會社ニ於テハ三年二月工場焼失セル爲隣地三井物産株式會社ノ返地セル土地ノ上ニ存在セル工場ヲ買入レ製材業ヲ繼續スル爲其ノ敷地千三百餘坪ト借受地ノ内千三百餘坪トヲ振替ヘ區域變更方出願セルニ對シ同年四月之ヲ許可シ十一月ニ至リ秋田林産株式會社ノ解散後東京林産商會ニ對シ名義變更ヲ承認シ引續キ貸付シ來レルモノナリ然ルニ六年六月及七年七月之カ實地ヲ検査スルニ貸付地内ノ工場ハ他ニ轉貸シ又ハ貸家ヲ建設セルモノアル等貸付契約ニ定ムル條件ニ違背セルノミナラス當初勅令ノ定ムル所ニ依リ臨時特定ノ用途ニ供スルノ目的ハ既ニ消滅シタルニ拘ラス數次延長ヲ爲シ當初ノ借受人ニ非サルモノニ對シ特別ノ緣故アルモノトシ隨意契約ニ依リ賣却シタルモノナルノミナラス賣拂價格低廉ニ失スルモノト認メラル之ニ對シ當局者ノ事由トスル所ハ

貸付後借受人ハ數次ニ互リ政府ノ許可ヲ受ケ埋立地形變更並立工作物ノ設置ヲ爲シ製材場ノ建設ニ必要ナル諸般ノ設備ヲ遂ケ其ノ間本地ニ對シ多額ノ有益費ヲ投シ貸付當初ノ水陸區分陸地三割水面七割ナリシモノ現在ニ於テハ陸地七割餘水面二割餘ト爲リタル等ノ事實ヲ綜合シ之ニ特別ノ緣故ヲ認メタリ而シテ賣拂價格ノ決定ニ付テハ總面積ヲ貸付當時ノ狀況ニ依リ陸地千八十四坪水面二千五百九坪ト看做シ賣實例地同區鶴步町宅地五十坪餘坪當七拾圓及同區西永町雜種地千四百餘坪(内水面千二百餘坪)借地權付坪當參拾圓此ノ更地推定價格四拾貳圓餘ヲ基準トシ算定シタルモノニシテ前者ニ依レハ地積大ナルノ故ヲ以テ一割五分ヲ減シ陸地坪當五拾九圓餘水面ハ其ノ六割參拾五圓餘ト爲リ又後者ニ依レハ陸地六拾四圓餘水面參拾八圓餘ト爲リ賣渡地ノ水陸各面積ニ乘シ平均シタル坪當四拾五圓ヲ適當ト認ム

ト謂フニ在リ然レトモ本件土地ハ震災ニ基ク特別事情ニ依リ臨時特定ノ目的ヲ以テ貸付セルモノナルニ三年二月秋田林産株式會社ハ工場焼失後神奈川縣鶴見町ニ製材工場ヲ借入レ本件土地ハ貸付ノ目的ニ使用スルコトナク專ラ轉貸シ又ハ貸家敷地ニ利用シ居ルノ狀況ナルニ拘ラス同年九月期間滿了ニ至ルモ返地セシムル所ナク會社ノ解散後ハ更ニ新設ニ係ル株式會社東京林産商會ニ對シ借受人ノ名義變更ヲ名トシテ貸付ヲ許可シ延イテ之ヲ緣故特賣スルニ至リタルハ其ノ措置妥當ナ

ラサルノミナラス之カ價格ノ決定ニ當リ比準地ト爲シタル賣實例地ハ本地ヨリ相當ノ距離ニ在リ概ネ裏地ニシテ幹線道路ニ沿ハサルニ本件賣拂地ハ區劃整理ニ依リ幹支線道路貫通シ交通至便ノ地位ニ在リテ之ヲ同等位ナリトシ比準スルカ如キハ當ヲ得タルモノト認ムルヲ得ス加之本件土地ニ關シ五年一月東京稅務監督局長ノ評價セル所ニ依レハ相續稅標準率賣實例及貸實例ニ基キ陸地坪當平均百五拾參圓餘トシ貸付當時ノ狀況ニ依ル水面部分ヲ接續宅地ト同一程度ニ埋立ツルニ要スル經費、潰地、未熟減價等ヲ控除シ總平均坪當九拾八圓ト爲シタルモノニシテ爾後一般地價ノ低落セルモノアリトスルモ本件賣拂價格算定上坪當陸地五拾八圓乃至六拾四圓水面參拾五圓乃至參拾八圓總平均四拾五圓ト爲シタルハ其シク低廉ニ失スルモノト認ムヘク現ニ會社ニ於テ本件買受直後坪當表地百貳拾圓裏地八拾圓ニテ賣却セル事實アルヲ以テ地積ノ大ナルヲ斟酌シ假ニ平均陸地九拾圓水面五拾四圓ト看做シ當初ノ水陸面積ニ乘シ算出スルトキハ平均約六拾五圓總額貳拾參萬參千餘圓ト爲ルノ狀況ナリ尙拂受會社ニ對スル三年十月以降賣拂當時迄ノ土地貸付料參萬五千餘圓ハ納入未済ナルニ拘ラス單ニ賣拂代金ノミヲ徵收シ土地ヲ引渡シタル爲七年十一月ニ至ルモ未タ之カ納入ニ至ラサル状態ニシテ徵收上ノ措置亦著シク緩慢ニ失スルモノト認ム要スルニ本件ハ國有財産ノ管理處分其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ボシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件繼續貸付ヲ爲シタル理由ハ 抑々本地ハ大正十二年九月勅令第四百六號及大藏省令第二十四號第一條第五號ニ依リ震災地ニ於ケル建築用材供給ノ圓滑ヲ計ル目的ヲ以テ製材又ハ材料ノ貯藏ヲ爲スニ必要ナルモノト認メ秋田林産株式會社ニ對シ二年ヲ限り貸付シタルモノナリシヲ以テ貸付期間ノ滿了ヲ機トシ之カ善後處理ニ付種々考究シタルニ契約ヲ解除シテ返地セシムルコトモ一方方法ナリトハ思料セラレタルモ當時帝都復興事業ハ未タ其ノ途上ニアリ又借受會社ハ本地ニ對シ多大ノ投資ヲ爲シタリシ等ノ點ニ鑑ミ貸付期間滿了ト共ニ直チニ契約ヲ解除シテ返地セシムルヨリモ寧ろ借受會社ニ對シ賣拂ヲ適當ト認メ又借受會社ニ於テモ買受ヲ希望シ居リタル關係モアリ交渉中時日遷延シ其ノ後貸付期限ヲ數回ニ互リ延長スルノ已ムヲ得サリシモノナリ

賣拂ニ關シ當初ノ借受會社ニアラサル者ニ對シ特別ノ緣故ヲ認メタル理由ハ震災直後官民協力シテ復興事業ヲ促進セムトシ政府ニ於テモ特別ノ規定ヲ設ケテ右目的達成ノ爲メニハ隨意契約ニ依リ國有地ヲ貸付スルコトヲ得ルノ途ヲ開キタル次第ニシテ本地借受會社ニ於テモ

右ノ目的ニ供用スヘク本地ニ多額ノ資本ヲ投シテ製材業ニ必要ナル諸般ノ設備ヲナシ著々目的ニ向テ努力中不幸ニシテ昭和三年三月工場燒失ノ災厄ニ遇ヒタリシカハ同二年八月返地シタル隣接地ノ元三井物産株式會社ノ借受地上ニ存在シタリシ工場ヲ買入レ營業ヲ繼續スルト同時ニ其ノ敷地各々千三百坪ノ區域變更方出願ヲ爲シタルモノナリ依テ政府ハ事業遂行上已ムヲ得サルモノトシテ之ヲ許可シ營業繼續中經濟上其ノ他各種事情ノ變化ニヨリテ會社ハ破産ノ状態ニ陥リ當初ノ目的通り本地ヲ使用スルコト能ハサル事情ニ立至リ會社ハ昭和三年六月二十一日解散シ同日株式會社東京林産商會カ設立セラレ右新設會社ニ名義變更方出願アリシヲ以テ調査ノ結果右會社ハ前會社ヨリ借地權ノ讓渡ヲ受ケ營業其ノ他一切ヲ現狀ノ儘承繼シ實質上秋田林産株式會社ノ延長ト認メラレタルヲ以テ之ヲ承認シ拂下當時ニ至レルモノナリ其ノ間右兩會社ハ政府ノ許可ヲ受ケ一部埋立ヲ爲シ或ハ地形ノ變更或ハ工作物ノ設置等諸般ノ施設ト多額ノ資本及有益費ヲ投シ貸付當初ニアリテハ陸地三割水面七割ナリシモノヲ現在ニ於テハ逆ニ陸地七割餘水面二割餘ト爲スニ至レリ而シテ一面政府ハ將來本地ヲ國有トシテ存置スルノ必要ナキモノナルヲ以テ可成速ニ民間ヘ拂下ヲ要スル土地ナリシト借受會社ニ於テモ拂下ヲ希望シ居リタル事情モアリ本件ノ如キハ借受會社ヨリ一旦返地セシメ之ニ對シ有益費ノ償還ヲ爲シタル上公賣等ノ方法ニ依リ賣拂フヨリモ寧ロ借地人ニ從來ノ緣故ヲ認メ賣拂フヲ妥當ト認メ當初ヨリノ借地人ニアラサルモ實質的ニ當初ノ借受會社ト何等異ナルコトナキ株式會社東京林産商會ニ對シ特別ノ緣故ヲ有スルモノト認メ賣拂フ爲シタルモノナリ

價格評定及比準地選定ニ當リ本地ト程遠カラヌ同區西永町十一番地外四筆ノ一團地面積千四百餘坪(内水面千二百餘坪)及同區鶴歩町宅地五十坪餘ヲ採リタル理由ハ 本地附近ニ適切ナル賣買實例ナカリシト前記土地ノ内西永町ノ土地ハ幹線道路ニ沿ハサルモ相當廣キ道路ニ面シ水利ノ便及土地ノ品格利用價值等賣拂地ト大體差異ナキモノト認メ又鶴歩町ノ宅地ハ裏地ナレトモ利用上多少ノ特色ナキニアラス面積狹少ナルヲ以テ此ノ點ニ付一割五分程度ノ減差ヲ附スルニ於テハ實例トシテ適切ナリト認メタルニ因ルモノトス而シテ前者ノ賣買價格ハ借地權付平均坪當參拾圓ナリシヲ以テ右借地權ノ價格ヲ所有權價格ノ三割ト推定シテ(復興局ノ借地權ニ對スル補償カ本地附近ニアリテハ所有權價格ノ三割ナリシヲ以テ之ニ準ス)更地ノ價格ヲ求メタルニ四拾貳圓八拾五錢ヲ得タリ而シテ水面ノ價格ハ陸地價格ノ六割ト評定シタル前例モアリテ六割ト見做シ水陸坪當ノ價格ヲ求メタルニ陸地坪當六拾四圓八拾參錢六厘水面三拾八圓九十錢貳厘平均四拾貳圓八拾五錢ヲ得タリ次ニ後者ノ賣買價格坪當七拾圓ノ實例地ニ付價格ヲ求メタルニ前述ノ如ク本地ハ面積狹少ナルノ故ヲ以テ一割五分ノ減差ヲ附シ五十九圓五拾錢トシ水面價格ハ前記同様ノ割合ニヨリ三拾五圓七拾錢ト計算シ右兩地ノ水陸平均坪當價格ヲ求メタルニ四拾四圓八拾錢五厘ヲ得タリ依テ端數ヲ切上ケ賣拂地ノ見積價格ヲ水陸平均坪當四拾五圓ト評定シタルモノトス

會計検査院ハ「本件土地ニ關シ五年一月東京稅務監督局長ノ評價セル所ニ依レハ相續稅標準率賣買實例及貸買實例ニ基キ陸地坪當平均百

五拾參圓餘トシ貸付當時ノ狀況ニ依ル水面部分ヲ接續宅地ト同一程度ニ埋立ツルニ要スル經費、潰地、未熟減價等ヲ控除シ總平均坪當九拾八圓ト爲シタルモノニシテ爾後一般地價ノ低落セルモノアリトスルモ本件賣拂價格算定上坪當陸地五拾八圓乃至六拾四圓水面參拾五圓乃至參拾八圓總平均四拾五圓ト爲シタルハ甚ダシク低廉ニ失スルモノト認ムヘク現ニ會社ニ於テ本件買受直後坪當表地百貳拾圓裏地八拾圓ニテ賣却セル事實アルヲ以テ云々ト批難シアルモ本地附近ハ所謂深川木場ト稱スル材木商櫛比シ居ル集團地ニシテ好況時代ニアリテハ土地價格モ著シク昂騰シタリシモ經濟界ノ不況ト共ニ此ノ地木材商ノ受ケタル打擊ハ他ノ營業ニ比シ其ノ程度甚ダシク倒産者續出スルノ有様ニシテ此等木材商ニ依リテ維持セラレ居タル此ノ地一帯ノ土地價格ハ其ノ後急轉直下低落シ相續稅標準及土地貸賃價格ヨリ還元シタル價格又ハ古キ賣買實例等ヨリ推算シタル價格ヲ以テ律スルハ拂下當時ニ於ケル本地一帯ノ價格トシテハ到底實情ニ副ハサルモノアリ又會社カ本地買受直後轉賣シタル價格ニ付案スルニ之等買受人ハ何レモ永ク本地ヲ生活ノ本據トシ或ハ營業ヲナシ本地ニ對スル愛著ノ念已ミ難ク本地トハ離ルヘカラサル關係ニアリテ買取ラレタルモノニシテ面積又何レモ狭少且前記賣買セラレタル土地ハ本地中ニアリテ最モ地盤堅ク地味成熟シタル良好ノ土地ナル等特殊ノ賣買ニシテ斯カル特殊ノ賣買價格ヲ以テ本地全體ヲ律スルハ妥當ニアラスト認メラル尙賣拂地ニ對スル賣拂前ノ貸賃料三萬五千餘圓カ今尙未收入トナリ居レルハ當時買受會社カ拂下代金ト共ニ納付スル意思ナリシ處資金ノ調達ニ踴躍ヲ來シ納付ニ至ラサリシモノニシテ已ムヲ得サル事情ニ基クモノニシテ之カ徵收方ニ付テハ目下極力督促中ナリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 警告

(參照) ○會計規則(大正十一年一月九日) 勅令第一號

第百十四條第一項 會計法第三十一條第二項ノ規定ニ依ルノ外左ニ掲クル場合ニ於テハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

二十一 土地、建物、林野又ハ其ノ產物ヲ之ニ特別ノ緣故アル者ニ賣拂又ハ貸付ヲ爲ストキ

○會計規則其ノ他ノ收入支出ニ關スル命令ノ規定ニ對シ特別ヲ設クル件(勅令第四百六號) 大正十二年九月七日

震災ニ基ク特別ノ事情ニ因リ必要アル場合ニ於テハ大藏大臣ハ會計規則其ノ他ノ收入支出ニ關スル命令ノ規定ニ對シ特別ヲ設クルコトヲ得

○大正十二年勅令第四百六號ニ依ル會計規則ニ對スル特例(大正十二年十月二十日) 大藏省令第二十四號

第一條 左ノ場合ニ於テハ當分ノ内指名競争ニ付シ又ハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

五 震災地ニ於ケル供給ノ圓滑ヲ計ル目的ヲ以テ土木又ハ建築ノ用ニ供スル材料ノ加工又ハ貯藏ヲ爲ス者ニ對シ震災地ニ於テ三年内ノ期間ヲ以テ國有地ノ貸付ヲ爲ストキ

海軍省所管

海軍工廠資金

歳出

物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(三四)

二〇七、三二八^四六五〇

第一款 材料物品費 第一項 材料物品費

【報告】 (三四) 佐世保海軍工廠ノ支出ニ係ル

二〇七、三二八^四六五〇

ハ昭和六年七月及九月住友伸銅鋼管株式會社ヨリ納入シタル罐用鋼製目無管三萬千三百二十二本ノ代價ナリ右ハ六年三月二十六日購入契約ヲ締結シ單價ハ五年度協定價格ニ依リ貯當外徑一吋二分ノモノ壹圓貳拾壹錢同吋八分ノモノ壹圓貳拾五錢ト爲セルモ六年度協定價格前者壹圓九錢後者壹圓拾參錢ニ比シ一割餘高價ナルヲ以テ之ヲ六年四月一日以降ノ契約トスレハ壹萬九千餘圓廉價ト爲リシモノナルニ急遽年度末ニ於テ契約ヲ要セシ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

本罐用鋼製目無管ハ軍艦名取特定修理材料トシテ使用ノ爲購買準備シタルモノナルカ同艦ノ特定修理ハ相當大規模ノ工事ニシテ且之カ完成ハ帝國國防上一日ヲ緩ウスル能ハサル狀況ニ在リ而シテ工事上出來得ル限り材料準備ヲ確實ナラシムル必要アリタリ加之本鋼管ハ本邦ニ於テ住友伸銅鋼管株式會社ノ外生産者ナク之カ製作ハ從來契約締結後三箇月乃至六箇月ヲ要スル實狀ニシテ名取特定修理ハ六年度早施行セラルルノ内報ニ接シタルヲ以テ必要上上記期日ニ於テ契約セルモノナリ尙年度協定價格ハ例年五月頃發布セラルルヲ例トスルヲ以テ之ヲ竣チ契約スルコト當時ノ實狀之ヲ許ササルモノアリタリ

ト謂フニ在リ然レトモ本件購入品ハ六年七月及九月會社ヨリ納入シ九月及十月之カ檢收ヲ了セルモノニシテ其ノ拂出ハ六年十一月二十餘本十二月一萬九千餘本七年一月五千七百餘本三月四十餘本五月六千四百餘本ナルノ狀況ニ徴シ強ヒテ前年

度末ニ於テ契約スルノ必要アリシモノト認メ難シ又毎年度ノ價格ハ年度初頭本省ニ於テ(一)前年二月ヨリ當年一月迄ノ地金ノ平均價格ノ指數(二)前前年十月ヨリ前年九月迄ノ賃銀指數(三)前年三、四月七、八月十一、十二月ノ六箇月ノ物價指數(四)註文豫定數量ニ依リ會社ト協定スルモノニシテ本件契約當時ニ於テ六年度價格ノ五年度分ニ比シ低價ト爲ルヘキハ豫測スルニ難カラサル所ナルノミナラス六年度分價格ハ六年四月一日附ニテ之ヲ協定シ同月十六日發表シタルノ狀況ナルヲ以テ五年度註文豫定數量ニ屬セサル本品ヲ高價ナル協定價格ニ依リ五年度末ニ於テ契約スルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス要スルニ本件ハ物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス高價ノ購入ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

本件ハ修理計劃確定後出來得ル限り速ニ材料ヲ準備スルノ必要ニ出テタルモノニシテ會々次年度ニ於テ本品價格低落ノ事實アリシモ至急準備ノ必要ト之カ豫見ニ困難ナル事情ニ基因スルモノニシテ已ムヲ得サル所ナリ

【衆決】 不當

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

文部省所管

學校及圖書館

歳出

工事ノ請負及物品ノ購入ニ關シ不當ナルモノ一件(三五)

八、四八五^四七六〇

其ノ他不當ナルモノ二件(三六)(三七)

八、一六二^四七二〇

合計三件

一六、六四八^四四八〇

歳出經常部

第一款 學校及圖書館 第二項 校館費

八、三二九^四七六〇

【報告】

(三五) 本項ニ於テ東京聾啞學校ノ支出ニ係ル

一五六〇〇〇

臨時部第一款設備費第一項設備費ニ於テ同校ノ支出ニ係ル

計八千四百八拾五圓七拾六錢ハ工事費又ハ物品代等トシテ支拂ヒタル貳萬參千五百八拾六圓拾貳錢ノ内ニシテ九千貳百拾

昭和六年度 學校及圖書館 (三五)

九圓四拾錢ハ昭和五年度ニ貳千五拾五圓九拾六錢ハ七年度ニ參千八百貳拾五圓ハ本年度一般會計文部省所管歲出臨時部第一款營繕費の三項新營費ニ屬シ本年度一般會計文部省所管ノ部ニ掲載セシ如ク同校書記中村某カ會計事務擔任中事實ニ副ハサル證明ヲ爲シ總額四千參百餘圓ヲ恣ニ費消シタルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス (三五頁(一七)參見)

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ費消金額ノ辨償ニ關シテハ一般會計(一)辨明但書ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】

(三六) 東京雙嘔學校ノ支出ニ係ル

五、〇九三、〇〇〇

ハ東京市本郷區福島某外二名ニ支拂ヒタル電氣鋸修理外百六十餘廉ノ代金六千六拾壹圓貳拾六錢ノ内ニシテ九百六拾八圓貳拾六錢ハ前項ニ掲載セル校館費支出金額中ニ包含セリ昭和七年七月之カ實地ヲ検査スルニ右ハ孰モ年度内竣功又ハ完納シタルモノノ如ク裝ヒ其ノ代金ヲ本年度ノ所屬ト爲シ支拂ヒタルモノナルモ其ノ實前年度中竣功又ハ完納シタルモノナルノミナラス大正十五年年度以降同様ノ取扱ニ依リ毎年度所屬經費ノ不足ヲ遞次翌年度經費ノ定額ヲ以テ支辨シ來リシ事實アルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

大正十三年五月本校規程改正ニ依リ大正十五年年度ニハ學年進行中ノモノアリタルニ拘ラス之ニ要スル費用ヲ悉ク削除セラレタル爲已ムナク翌年度ニ於テ其ノ一部ヲ支拂ヒタリ昭和二年度以降年配布豫算額増加セシモ其ノ豫算ハ普通ノ幼稚園及中等學校ヲ標準トシテ積算セルモノニシテ本校ノ如キ特殊學校ニ於テハ特殊ノ備品ヲ必要トシ而モ一般ノ需要少キ關係上價格低廉ナラス加フルニ普通學校ニ比シ生徒少キニ備品ハ却テ多數ヲ要スル爲配布豫算額ヲ以テ所要ノ施設ヲ爲スハ甚シキ難事ニ屬セリ加之増築校舍及寄宿舎ノ整備ニ伴ヒ明治二十三年ノ建築ニ係ル舊寄宿舎同二十四年ノ建築ニ係ル舊校舍ノ不備ハ著シク顯著ト爲リ美醜ノ感覺特ニ鋭キ雙嘔者ニ採リ忍フヘカラサルニ至レルヲ以テ經常費ヲ差繰リ舊建物ノ一部ツツノ改良ヲ行フノ餘儀ナキニ至リタルノミナラス大正十四年度ニ於テ教授法ヲ改メ在來ノ手話法ヲ廢シ

テ口話法ヲ採用セシニ同法ハ特別ノ教授用具ヲ要シタル爲此ノ方面ニモ多大ノ出費ヲ要スルニ至リ本件變態經理ヲ爲スノ已ムヲ得サルニ至レリ

ト謂フニ在リ然レトモ同校ニ於テハ物件ノ購入、工事ノ施行等其ノ殆ト全部ヲ前記福島某外一名ニ供給又ハ請負ハシメ年度末支拂豫算ノ不足ニ對シテハ後年度ニ繰下ケ支拂ヲ爲スノ見込ヲ以テ之カ註文ヲ爲シ其ノ竣功又ハ檢收年月日ハ事實ニ副ハサル證明ニ依リ大正十五年年度以降當該年度ノ不足額ヲ遞次翌年度ニ繰越シ支出シ來リタルモノ

經費所屬年度	決算年度	金額
大正十五年 度	二 年 度	八二〇圓
昭和元 年 度	三 年 度	九九九圓
二 年 度	四 年 度	二、四七九圓
三 年 度	五 年 度	四、一三二圓
四 年 度	六 年 度	六、〇六一圓
五 年 度	七 年 度	四、八八四圓
六 年 度		(外ニ會計實地検査當時六年度所屬經費ニシテ未拂ニ屬セシモノ一、三二二圓アリ)

アルノ狀況ニシテ縱ヒ答辯ニ謂フカ如キ事情アリトスルモ支拂豫算ニ超過スル註文ヲ爲シ且事實ニ副ハサル證明ニ依リ數年ニ互リ會計法規ヲ無視セル取扱ヲ續行シ來リタルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】

(三七) 高岡高等商業學校ノ支出ニ係ル

三、〇六九、七二〇

ハ同校職員ノ出張旅費及運動場一部地均工事費トシテ證明シタルモノナリ昭和七年五月之カ實地ヲ検査スルニ右ノ内四百六拾九圓七拾貳錢ハ出張ノ事實ナキニ拘ラス關係書類ヲ作爲シ五年度以降旅費トシテ支出シ學友會負債償却資金等ニ充當

シタル總額九百八拾圓八錢ノ内ニ屬シ又貳千六百圓ハ吉田某ニ請負ハシメタル前記工事費トシテ證明シタルモノナルモ實際請負代金ハ千八百圓ニシテ差額八百圓ヲ以テ二年及四年中施行シタル運動場盛土其ノ他工事費未拂代金四百貳拾八圓五拾七錢並實地検査當時學友會ニ於テ施工中ノ「プール」築造資金ノ一部參百七拾壹圓四拾參錢ニ充當シタルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【報告】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 措置適當ヲ闕ク

【衆決】 不當

商工省所管

製鐵所

歳入

物件ノ賣拂ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(三三九)

歳出

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(三三八)

資本勘定

歳出

第一款 製鐵所改良及補充費 第一項 第一期改良費

【報告】 (三三八) 本項ニ於テ製鐵所ノ支出ニ係ル

第二項工場其他設備費ニ於テ同所ノ支出ニ係ル

用品勘定歳出第一款製鐵所用品及工作費第二項用品及工作費ニ於テ同所及二瀬出張所ノ支出ニ係ル一〇四、九八六〇〇〇
作業勘定歳出第一款製鐵所作業費第二項事業費ニ於テ製鐵所ノ支出ニ係ル 三一六、二四九〇〇〇

七、一五七〇〇〇

三、六〇五〇〇〇

一〇四、九八六〇〇〇

三一六、二四九〇〇〇

計四拾參萬九千九百九拾七圓ハ官吏ニ對シ年末等ノ慰勞手当トシテ支給シタルモノナルモ官吏ニ對スル慰勞手当ノ豫算額ハ拾四萬八千餘圓ナルニ之ニ對シ前掲ノ如ク其ノ約三倍ニ達スル多額ノ支出ヲ爲スハ妥當ナラサルノミナラス右ノ内貳萬餘圓ハ製鐵所ノ事務ニ盡力シタリトノ事由ニ依リ商工次官以下二十一名ノ本省官吏ニ支給セルモノナルモ商工本省勤務ノ官吏ハ其ノ所管ニ屬スル當然ノ事務トシテ關與シタルニ過キサルニ之ニ對シ特別會計ヨリ慰勞手当ヲ支給スルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ヌ要スルニ本件ハ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【精明】 右各項ニ於テ官吏ニ對シ年末等ノ慰勞手当トシテ支給シタルモノノ内製鐵所官吏ニ對スル分ハ其ノ執務時間ノ永キト業務ノ繁劇ナル等トヲ考量シタルノ結果ニ依ルモノニシテ又商工本省ノ官吏ニ對スル分ハ製鐵所ニ關スル事務ニ付特ニ勤勞アリタルカ爲ナルヲ以テ本件ハ孰レモ失當ノ措置ニアラスト認ム

【貴決】 措置適當ヲ闕ク

【衆決】 不當

作業勘定

歳入

第一款 製鐵所作業收入 第一項 作業收入

【報告】 (三三九) 製鐵所東京出張所ノ徴収ニ係ル

ハ昭和四、五兩年度中東京及大阪所在民間倉庫ニ留置キタル耳附鋼板三萬六千二百二聽餘ノ内六年二月三菱商事、三井物産外五株式会社ニ對シ適當參拾七圓ヲ以テ賣拂契約ヲ爲シタル一萬七千五百七十一聽餘ノ代價六拾五萬參百貳拾七圓九拾五錢ノ内ニシテ參萬五千五百九拾參圓六錢ハ五年度ニ屬シ五萬千七百四拾壹圓四拾七錢ハ收入未済ニ屬スルモノナリ
抑本所生産ノ耳附鋼板ハ從來主トシテ前記七會社ニ對シ毎月一定數量ヲ先物契約ニ依リ賣却シ來レルモノナルモ五年一月金輸出解禁ノ結果市況漸次悪化シ需要減退ト共ニ價格著シク下落セル爲買受人ノ引取未済品多量ニ上リ前掲三萬六千餘圓ハ四年十一月ヨリ五年五月ニ至ル間ニ於テ五年二月乃至八月渡トシテ適當七拾四圓餘乃至八拾五圓餘ヲ以テ賣渡契約ヲ締

五六六、九九三三三二〇

結引渡地タル東京及大阪ニ輸送シタルニ拘ラス買受人ノ情願ヲ容レ之カ引渡ヲ見合セ内當初ノ契約單價ニ依リ引渡ヲ了シタルハ三千餘噸ニ止リ二萬九千餘噸ハ五年九月以降前記會社ニ對シ新規契約ヲ以テ低價ニ賣却シ就中一萬七千餘噸ハ六年二月ニ於テ二、三月積トシテ應當參拾七圓ノ低價ヲ以テ賣拂契約セルモノニシテ其ノ措置妥當ナラスト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

當時本所對指定商間ノ各種鋼材契約中耳附鋼板ニ關スル契約ハ指定商側ニ於テ其ノ損失最大ナリシモノニシテ本契約ノ履行ヲ強制シタルムカ厚板類ノ販賣上現在及將來ニ憂慮スヘキ事態ヲ發生セシムヘク而モ當時直ニ解約ノ要求ヲ容レタルムカ他ノ鋼材契約ニモ波及シ金解禁ニ因ル各種鋼材ノ大暴落ニ基因スル甚大ナル損害ヲ獨リ本所ノミ負擔スル結果ト爲リ到底事業ヲ繼續スルヲ得サルニ至ルヘシ且契約當事者中六社ハ僅少ナル手數料ヲ以テ他ニ轉賣スル所謂「コムミツシヨ」ン、マーチヤント」ニシテ契約上ノ危險負擔ハ飽迄存在スト雖非常時ニ於ケル損失ヲ一切無制限ニ負擔セシムムト欲スレハ所謂保險料ノ性質ヲ有スル多額ノ特別手數料ヲ平常ヨリ要求スヘキヲ以テ此等ノ點ヲ考慮スルトキハ本契約上ノ損失ノ負擔ヲ事實上獨リ指定商タル契約當事者ニ歸セシムルノ處置ヲ採リ兼ネタルヲ以テ斯ル事情ヲ綜合シテ本契約ノ引取ヲ一時猶豫セルモノナリ而シテ東京及大阪ニ輸送シ保管セルハ民間製造業者ニ對抗スル販賣上ノ必要ニ基キ「シヤ」リリング」業者ノ要望ヲ容レ需要地ニ近ク假置場ヲ求メタルト本所ノ製品置場狹隘ヲ告クルニ至レル等本所ノ特殊事由ニ出テタルモノニシテ其ノ保存ノ長期ニ互ル場合發錆ノ危險其ノ他ヲ考慮シ九月以降新規契約締結ノ際ハ努メテ本品ヲ優先的ニ充當シ其ノ消化ヲ圖リタル次第ナリ而シテ價格決定ニ關シテハ當時厚板界ノ混亂ニ應シ民間製造業者ノ安値ニ對抗スルカ爲安値販賣ヲ餘儀ナクセラレタルモノニシテ當時民間製造業者ノ切板値段ハ實ニ四拾貳圓ノ驚異的値段ヲ出現シ之ヨリ逆算スレハ耳附參拾七圓ハ尙高キニ過クルモノト謂ハサルヘカラス而シテ六年二、三月積ノモノハ契約書ノ作成遅延セルモ實際賣却セルハ二月初旬ニシテ十二月積ト同シク其ノ單價ヲ參拾七圓ト決定セルモノナリト謂フニ在リ然レトモ先物契約ニ依ル耳附鋼板ノ引渡ニ際シ其ノ價格低落セルノ故ヲ以テ長期ニ互リ製品ノ引取ヲ猶豫シ

爾後價格ノ低落甚シキニ及ヒ其ノ大部分ヲ低價ナル新契約ノ引渡ニ充當セルハ縱ヒ辯明ニ謂フカ如ク異常ナル市價下落ノ爲契約履行ノ強制困難ノ事情アリタリトスルモ之カ損失ヲ擧ケテ國庫ニ歸セシメタルハ妥當ノ措置ト認メ難キノミナラス之ヲ新契約ニ充當スルニ當リ當局者ハ市況不安以來從來ノ三箇月先物契約ヲ廢シ五年九月乃至十一月ノ間ニ於テハ毎月二回賣渡價格ヲ定メ半箇月分ツツ賣却シ十二月及一月ニ於テハ現物引渡後價格決定ノ方法ヲ採リ來レルモノナルニ六年二月十八日日本厚板共販組合設立ノ假調印ヲ了シ次テ二十七日組合相場ヲ應當五拾五圓ト發表シ之ヲ十八日ニ遡リ適用スルトト爲セルニ際シ十八日及二十六日應當參拾七圓ノ低價ヲ以テ二、三月積トシ從來ノ賣却數量ニ比スレハ數箇月分ニ當レル一萬七千餘噸ノ多量ヲ一括賣拂契約セルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス要スルニ本件ハ製品ノ賣却ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本所生産ノ耳附鋼板ハ從來三菱商事株式會社、三井物産株式會社、株式會社岩井商店、株式會社安宅商會、株式會社岸本商店、大阪シヤリリング株式會社及大倉商事株式會社ノ六社ニ對シ毎月一定數量ノ定期契約ニ依リ販賣シ來レルモノナルカ昭和五年一月金輸出解禁ノ結果鐵鋼市況ハ漸次悪化シ需要減退ト共ニ市價暴落シタル爲當時ノ未引取品ノ引取ヲ一時猶豫シ將來適當ノ時期ニ至リ之カ解決策ヲ講スルコトトナシタリ蓋シ若シ此ノ際強テ之カ引取ヲ強要セハ契約ノ相手方ハ其ノ實際上ノ買受人タル「シヤリリング」業者ニ對シ直ニ其ノ引取ヲ強要スヘキヲ以テ其ノ結果薄資ナル「シヤリリング」業者ハ倒産ノ外ナキニ至ルヘク斯クテハ本所耳附鋼板ノ販賣上憂慮スヘキ事態ヲ發生シ又金輸出解禁ノ如キ著シキ經濟上ノ變動ニ際シテハ當時ニ於ケル賣買條件ヲ強要スルハ妥當ニアラスト認メ其ノ引取ヲ一時猶豫シタル次第ナリ之ニ對シ會計検査院検査報告ニ於テハ之カ爲損失ヲ國庫ニ歸セシメタルハ妥當ノ措置ト認メ難シト謂フモ右引取猶豫ヲ爲セシモノハ三箇月後ニ引渡スヘキモノナルヲ以テ當時ニ在リテハ本所ハ未タ現品ノ製作等契約履行ノ一部タモ著手シタルモノニ在ラス且該高値ノ契約ハ今日尙存在シ既ニ之カ解決方法ヲモ協定ヲ遂ケテ昨昭和七年六月ヨリ毎月所定ノ數量ヲ市價ノ如何ニ拘ラス契約價格ヲ以テ之カ引取ヲ實行セシメ來リタル所ナルヲ以テ履行ノ遅延ハアリト雖國庫ニ對シテ敢テ損失ヲ及ホシタルモノニハ非サルナリ而シテ最近鋼材價格昂騰ノ爲本所ノ販賣値段カ舊契約値段ヲ上廻リツツアリテ右契約値段ヲ以テ舊契約品ヲ引渡スコトハ反テ本所ノ不利益トナルモノアルヲ以テ其ノ部分ニ付テハ該契約ヲ解除スルコトト爲セリ

次ニ検査報告ニ於テハ之ヲ新契約ニ充當スルニ當リテ採リタル措置ヲ失當ナリト謂フモ當時厚板ノ市況ハ惡化ノ一路ヲ辿リ競争激甚ヲ極

メ注文ハ潤渴シ此ノ上ハ如何ニシテ工場ノ運轉ヲ繼續スヘキカニ關心セルノ際ナルヲ以テ已ムヲ得ス非常時對策トシテ通常ノ販賣方法ヲ捨テ昭和五年十二月ニ至リテ遂ニ成行販賣ノ方法ニ依リ指定商ヲシテ極力注文ノ獲得ニ努力セシムルコトトシ昭和六年一月十七日右ニ依リテ指定商カ蒐集シ得タル注文ヲ取纏メタルニ二萬六千餘圓ニ達シタルヲ以テ之ヲ十二月積六千九百六十三圓一月積千七百三十七圓二月積一萬七千三百十五圓ニ分割シテ引受ヲ爲シ同時ニ之カ價值決定ノ協議ニ入りタレトモ指定商ノ希望セル價值ハ非常ニ安値ノモノ多クシテ協議容易ニ調ハス致同之ヲ重ネタル末同年一月二十八日ニ至リ漸ク個別的價值決定ニ依ラスシテ一律ニ適當參拾七圓ト決定スルニ至リタルモノナリ而シテ其ノ契約書ノ日附ハ二月十八日及二十六日ナルモ右契約ノ事實上成立セルハ一月二十八日ニシテ(事實上ノ契約成立後之ニ對テ契約書ヲ作成スルノ順序トナルヲ以テ此等ノ爲契約)當時ハ未ダ厚板共販組合ノ成立ヲ確信シ得ス民間製鋼業者側ニ在リテハ強硬ナル意見ヲ持シテ書ノ作成カ一二週間後トナルハ手續上ノ常態ナリ)當時ハ未ダ厚板共販組合ノ成立ヲ確信シ得ス民間製鋼業者側ニ在リテハ強硬ナル意見ヲ持シテ本所ノ總テノ提案ニ反對シ來リ其ノ間調停者出テテ兩者ノ間ニ斡旋スル所アリタルモ未ダ其ノ成否ヲ確斷シ能ハサリシ所ニシテ寧ろ參拾七圓ニ迄賣應シタル本所ノ態度カ右共販組合成立ノ一大誘因トナリタルモノナリ而シテ當時ノ市場ノ狀況ヨリ觀テ耳附鋼板適當參拾七圓ハ決シテ低廉ナル價值ニアラスシテ當時民間製鋼業者モ其ノ製品ノ販賣ニ焦慮シ相競テ安値ヲ出シ現ニ切板適當四拾圓見當(耳附ニ換算スレバ)ノ安値ニテ應需シ居レル狀態ナルヲ以テ斯ル場合ニ於テ本所ノミカ高値ヲ唱ヘ拱手傍觀ノ態度ヲ持セムカ結局總テノ注文ハ民間製鋼業者ニ吸收セララルルニ至ルハ明白ナルノミナラス當時ハ猶共販組合ノ成否逆賭シ難クシテ市場ハ先行キ全ク不安ナルノ狀態ナリシヲ以テ當事者トシテハ右ノ如ク處置スルヨリ外ニ其ノ途アラサリシナリ尙共販組合成立ト同時ニ耳附鋼板ノ相場ヲ適當五拾五圓ト發表シタルハ是レ該組合結束ノ鞏固ト強氣ナル態度ヲ示シテ市場ヲ誘導セムトスルノ商策ニ外ナラスシテ當時ノ市況カ右ノ價值ナリト謂フニアラス又右ノ價值ニテ販賣スヘキ所謂賣出價值ニモアラス既ニ本所及民間製鋼業者ヨリ多量ニ市場ニ供給シタル後ナルヲ以テ右ノ價值ニテ販賣シ得ルモノトハ當初ヨリ期待シ得サリシ所ナリ

要スルニ本件ハ本所製品販賣上ノ不況時對策トシテ已ムヲ得サルノ結果ニ出テタル措置ニ屬シ且國庫ニ現實ノ損失ヲ及ホシタルモノニアラサルヲ以テ敢テ不當ト謂フヲ得サルモノト認ム

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

鐵道省所管

帝國鐵道

歳入

運賃ノ徵收ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(四三) 七〇、五八八〇八〇

歳出

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(四〇) 三四、九五〇、六二四〇五七〇

工事ノ施行ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(四二) 五〇、一一五三三一五

枕木ノ購入及防蝕作業請負料金、高價ニ失スルモノ一件(四二) 四一一、〇五四七五〇

合計三件 三五、四一一、七九四六三五

資本勘定

歳出

第一款 鐵道建設及改良費 第一項 建設費

【報告】 (四〇) 本項ニ於テ鐵道省ノ支出ニ係ル 七四一、二六九〇八〇

第二項改良費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 一、二七一、〇九八三九〇

用品勘定歳出第一款鐵道用品及工作費第一項用品及工作費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 三、一九〇、四八八〇三〇

收益勘定歳出第一款鐵道作業費第一項事業費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 二一九、七四七、七六九〇七〇

計參千四百九拾五萬六千貳拾四圓五拾七錢ハ官吏以下一般従業員ニ對シ支給シタル定期賞與並退職特別賜金及同手當等ナリ右ハ鐵道作業費ニ在リテハ豫算額千九百六拾六萬餘圓ニ對シ前掲貳千九百七拾四萬餘圓鐵道用品及工作費ニ在リテハ豫算額百七拾九萬餘圓ニ對シ參百拾九萬餘圓(鐵道建設及改良費ニ在リテハ豫算上雜事手當ノ積算明記ナシ)ヲ支出シタルモノニシテ著シク豫算額ヲ超過シ内鐵道作業費八百五拾六萬餘圓鐵道用品及工作費百貳拾九萬餘圓鐵道建設及改良費七拾萬餘圓計千五拾六萬餘圓ハ官吏以下退官退職又ハ死亡ノ際特別賜金及同手當トシテ支給シタルモノニ係リ之カ支給額ハ從前ノ内規ニ依リ退官退職又ハ死亡當時ノ俸給又ハ給料ニ對シ勤績年數ニ應シ一定率ヲ乘スルモノニシテ在職十五年ノモノハ二十六箇月分三十年ノモノハ三十四箇月分ト爲リ縱ヒ從業員優遇ノ趣旨ニ出テタルモノナリトスルモ各省一般官吏ニ比シ

著シク權衡ヲ失シ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 本件雜事手當ノ決算額ハ其ノ豫算額ニ比シ多少超過シタルモ元來本科目ハ細節ナルヲ以テ之カ不足額ヲ他ノ費途ヨリ流用スルハ必スシモ不當ニ非スト認メ之ヲ支出シタルモノナリ而シテ退職特別賜金及同手當ノ支給制度ハ既ニ鐵道作業局時代ヨリ引續キ實施シ居ル所ニシテ右ハ事業ノ性質上適切ナル措置ト認メラルヲ以テ何等過當ノ支出ニ非ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】

(四一) 本項ニ於テ鐵道省ノ支出ニ係ル

四三、五二五、三一五

收益勘定歳出第一款鐵道作業費第一項事業費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

六、五九〇、〇〇〇

計五萬百拾五圓參拾壹錢五厘ハ上越線越後湯澤土合間通信線架設工事費及之カ雪害ニ對スル應急工事費合計六萬八千六百四拾六圓七拾參錢ノ内ニシテ壹萬八千五百參拾壹圓四拾壹錢五厘ハ昭和五年度ニ屬シ外ニ材料價格貳百六拾四圓五拾九錢ヲ使用セリ右通信線互長十一杆餘(土合清水隧道北口間ヲ除ク)ハ建設費六萬貳千餘圓ヲ支出シ架空裸線ヲ以テ六年八月之カ架設ヲ了シタル所開業後降雪期ニ入ルヤ雪害ヲ被ルコト甚シカリシ爲鐵道作業費六千五百餘圓ヲ支出シ同年十二月及七年一月中應急施設トシテ一ニ耗二子撚絕緣線ヲ添架シ主要回線(裸線)ノ切換ヲ爲シタルモノナルモ早晚之ヲ「ケーブル」線ニ變更スルノ已ムナキモノナルヲ以テ當初ヨリ之ヲ「ケーブル」線ト爲ササリシ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

降雪地方ニ於ケル通信設備ハ其ノ被害ノ程度地形風速等ノ實情ヲ調査シ之ニ適應スル線條ノ種類並柱間距離ノ短縮等ヲ考慮シ在來ヨリ之カ施設ハ原則トシテ裸線ヲ架設セリ殊ニ本區間カ上越線中降雪量多キニ拘ラス冬期低温ニシテ氣温ノ激變少キ爲氷雪ノ電線ニ附著スルコト少ク隨テ其ノ被害ノ程度モ尠カリシ實績ニ徴シ裸線架設ヲ適當ト認メタルモノナリ然ルニ開業直後偶昨年未ノ雪害ニ遭遇シ通信上甚シキ障礙ヲ被リタルノミナラス本線區間カ通信交通上極メテ重要ナル地位ナルト長尺隧道ノ介在電化區間等特殊ノ事情ニ鑑ミ早晚「ケーブル」線ヲ架設スヘキ必要ヲ認メタルモ豫算ノ都合

上特ニ應急用トシテ絕緣線ヲ假設セシ次第ニ付將來適當ノ時期ニ之ヲ「ケーブル」線ニ變更スル見込(所要概算額參萬千圓)ナリ

ト謂フニ在リ然レトモ本區間ハ本邦屈指ノ積雪地タル上越線中殊ニ降雪多キ地域ニ屬スルノミナラス同線全通後ハ通信交通上極メテ重要ナル地位ヲ占ムルト長尺隧道ノ介在電化區間等ノ特種事情ヲ考慮スルトキハ「ケーブル」線ヲ使用スルヲ適當ト認メラルルニ右裸線架設ノ結果開業後降雪期ニ入ルヤ直ニ雪害ノ爲列車ノ運轉上支障ヲ生シ六千餘圓ヲ以テ絕緣線ニ依リ應急施設ヲ爲シタルノミナラス之ヲ「ケーブル」線ニ變更セムカ爲ニハ更ニ約參萬圓ヲ要スルノ狀況ニシテ其ノ措置安當ヲ缺クモノト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ工事ノ施行ニ當リ注意ノ周到ヲ缺キ國庫ニ不利ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件通信線架設區間ニ對シテハ從來ノ實績ニ徴シ降雪量多キ地方ナルニ拘ラス冬期比較的低温ニシテ其ノ變化急激ナラサル爲氷雪ノ電線ニ附著スルコト少ナカリシモ雪害區間ニ於ケル所定ノ基準ニ依リ柱間距離ノ短縮線條ノ太サ等ヲ考慮シ裸線架設シタルモノナリ然ルニ開業後偶雪害ニ因リ殆ト全回線不通トナリ長キハ一晝夜ニ互リ之カ爲運轉上ニ障礙ヲ被リタルコトアリシヲ以テ差當リ絕緣線ヲ添架シタルモノニ係リ右ハ當初ノ工事施行後ニ於テ經驗シタル被害ノ實況ニ鑑ミ之ニ適應スヘク機宜ノ措置ヲ爲シタルモノニシテ事情已ムヲ得サルモノト然レトモ元來裸線ハ通話上損失少ク有利ノ點アルヲ以テ今後ノ實況ニ依リ假令「ケーブル」線ヲ架設スルコトアリトスルモ大體當初ノ施設ヲ存置スルモノナルニ依リ之カ爲特ニ國庫ニ不利ヲ及ホシタルモノト認メ難シ依テ本件ハ不當ニ非ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

用品勘定

歳出

第一款 鐵道用品及工作費 第一項 用品及工作費

【報告】

(四二) 鐵道省ノ支出ニ係ル

四一、一〇五四、七五〇

ハ門司鐵道局廣島倉庫ノ檢收ニ係ル昭和六年度用「クレオソート」油注入並枕木二十四萬九千六百七挺ニ對スル素材及「ク

昭和六年度 帝國鐵道 (四二)

レオソート」油ノ代價並注入作業請負料金合計四拾參萬七百六拾八圓拾四錢ノ内ニシテ壹萬九千七百拾參圓參拾九錢ハ前年度ニ屬スルモノナリ右ハ六年一月山陽木材防腐株式會社及東亞木材防腐株式會社外四十餘名ヨリ兩會社工場納トシテ購入契約ヲ爲シタル二十一萬餘挺並沿線納品等三萬九千餘挺ノ素材及兩會社ヨリ購入シタル「クレオソート」油ヲ交付スルコトトシ同年三月隨意契約ヲ以テ右兩會社ニ對シ「クレオソート」油注入作業ヲ請負ハシメタルモノニシテ其ノ一挺當平均落成代價ハ壹圓七拾錢内外ト爲ルノ計算ナルモ之ヲ臺灣總督府ニ於テ六年一月及六月指名競争ニ依リ右兩會社ト購入契約ヲ爲セル「クレオソート」油注入並枕木十一萬餘挺ノ單價壹圓拾貳錢及壹圓拾四錢五厘ナルニ比スレハ其ノ素材及「クレオソート」油ノ規格並注入作業ノ仕様殆ト同一ニシテ之ヲ製作監督及檢收ハ廣島倉庫ニ於テ委託ヲ受ケ之ヲ施行セルモノナルニ拘ラス其ノ間格段ノ差異アルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

本件ニ關シテハ特ニ兩者間ノ比較研究ヲ爲セルモノナシト雖鐵道省購入ニ係ル素材ハ松材一挺取ノモノハ木口ニ於テ心材三寸以上タルヲ要スレトモ臺灣總督府購入ニ係ル素材ハ心材部分直徑三寸未滿ノモノト雖一等品仕様ニ合格セルモノハ之ヲ採用セルヲ以テ幾分品質優良ナルノミナラス「クレオソート」油注入量モ一挺當最少限度七冠又ハ七冠六ノ仕様ナルニ事實ハ八冠餘乃至十一冠餘ニ及ヒタルモノアルカ爲相當高價ト爲ルハ免レサル所ニシテ殊ニ當省ノ枕木需要ハ頗ル多數ニ上リ隨テ各賣込人ハ之ヲ唯一ノ目的トシテ供給スルヲ以テ其ノ過剩品及當省ノ仕様ニ適合セサルモノハ結局他ニ處分スルカ又ハ翌年度迄之ヲ持越ササルヘカラス然ルニ臺灣總督府ノ分ハ殆ト年度中間ノ契約ニ係リ以上ノ如キ持越品ヲ利用シ得ル關係上資金ノ固定品質ノ低下ヲ顧慮シ投資的低價ニ處分スルコトアル等諸種ノ事情ニ因リ兩者間ノ單價ニ若干ノ差異ヲ生スルモノト思料ス

ト謂フニ在リ然レトモ臺灣總督府ノ購入ニ係ル素材ノ規格ハ鐵道省ニ於ケルト同一ニシテ松材心材三寸未滿ノモノノ内品質優良ナルモノニ限り契約單價ノ貳拾錢引ニテ採用スルノ差アルニ過キサルヲ以テ兩者間品質ニ優劣アルモノト認メ難ク又之カ購入時期ハ兩者間大體ニ於テ前後ナク且其ノ數量ハ鐵道省ノ分松材外十餘種ニ互リ二十三萬餘挺ナルニ對シ臺灣總督府ノ分ハ松、檜ノ二材種ヲ限リ十一萬餘挺ニ達セルヲ以テ當局者ノ謂フカ如ク投資的低價處分ナリト認ムルヲ得ス殊ニ臺灣總督府ニ於ケル入札狀況ヲ觀ルニ豫定單價壹圓貳拾錢ニ對シ入札者七名中四名迄豫定價格内ノ入札ヲ爲シ最高入札者ト雖壹圓參拾餘錢ニ過キサルニ徴シ鐵道省用枕木ノ落成代價壹圓七拾錢内外ハ著シク高價ナルノミナラス之ヲ既往ノ實績ニ觀ルモ二年度頃ハ兩者ノ間殆ト其ノ差異ナカリシニ四年度以降漸次其ノ値開ヲ増大スルニ至レルモノニシテ畢竟鐵道省用枕木ノ落成代價カ物價ノ低落ニ伴ハサルニ基因スルモノト認メサルヲ得ス尙當局者ハ「クレオソート」油注入量ニ於テ差異アリト辯明スルモ鐵道省ノ分ハ各會社工場渡ナルニ對シ總督府ノ分ハ基隆納ナル以テ其ノ運賃ヲ參酌スルニ於テハ本件ノ如ク單價ニ著シキ相違ヲ生スルモノト認ムルヲ得ス要スルニ本件ハ物品ノ購入及請負作業ヲ爲サシムルニ當リ單價ノ決定其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

當省購入ニ係ル枕木素材ハ其ノ耐久力ヲ考慮シ松材ハ一丁取リニシテ木口ノ心直徑三寸以上ヲ要ストソ仕様ナルヲ以テ年輪多キカ爲其ノ賣込人カ原木ヲ求ムルニ當リテハ老稚混合林ヲ避ケ樹幹ノ長大ナルモノヲ選定スルニ依リ相當高價ナルノミナラス之カ製材ニ際シテモ其ノ尖端ニ於テ心ノ直徑三寸未滿ノ餘材ヲ生スルハ必然ナルニ之ヲ利用スルコト困難ナル爲勢ヒ其ノ枕木價格ヲシテ低價ナラシムルヲ得サルハ實ニ免レサル所ナリ之ニ反シテ臺灣總督府所要ノ素材ハ心ノ直徑三寸未滿ノモノト雖或ル指定條件ニ適合スルモノハ之ヲ採用スルノ仕様ナルヲ以テ原木ハ安價ニ求ルコト容易ナルコト且其ノ原木ノ尖端ヲモ利用スルコトヲ得加テ防腐劑注入ニ當リテモ當省ノ如ク樹種多カラズ僅ニ二種類ニ過キサルヲ以テ作業方法ニ區別少ク極メテ簡易ニシテ其ノ注入量モ亦少シ從テ之等ノ事由ヲ綜合スレハ相當低價ナルコト當然ナリ尙會計檢査院ハ既往二年度頃ノ價格ハ兩者間殆ト差異ナカリシニ四年度以降漸次其ノ値開ヲ増大セリト謂フモ二年度ハ素材ノ仕様兩者トモ全ク同一ナリシニ其ノ後四年度ニ至リ當省ハ素材ノ仕様ヲ變更シ次テ五年度ヨリ現行ノ如ク心ノ直徑三寸未滿ノモノハ採用セサルコトニ改メタルニ拘ラス臺灣ニ於テハ五年度ヨリ前記ノ如ク條件付ニテ三寸未滿ノモノニテモ採用スルコトトシ殊ニ最近海運賃モ著シク低廉ナルニ至リタル結果四年度以降ニ相當ノ値開ヲ生シタルハ是又當然ナリトス又廣島市場ニ於ケル松挽角材ノ相場ヲ觀ルニ二年二月ト六年一月トヲ比較セハ二割七分ノ値下リナルモ當省購入ノ枕木素材ハ其ノ間仕様ノ變更ヲ爲シタルニ拘ラス二年度ト六年度トヲ對比スレハ三割三分ノ値下リナルヲ以テ右ハ過當ノ價格ト認ムルヲ得ス依テ本件落成單價ハ不當ニ非ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 警告

收益勘定

歳入

第一款 鐵道作業收入 第一項 運輸收入

(四三) 本項決算額ノ外鐵道省ニ於テ徵收ニ至ラサルモノ

七〇、五八八〇八〇

アリ右ハ豫納扱ヲ爲セル多摩川砂利木材鐵道株式會社ノ昭和六年七月ヨリ七年三月ニ至ル砂利運賃精算額ノ内未納ニ屬スルモノナリ

抑本件ハ中央線立川驛所在同會社専用線(多摩川原)ヨリ發送ニ係ル砂利運賃ニ對シ六年四月ヨリ七年三月ニ至ル間豫納取扱ヲ爲スコトトシ毎月壹萬圓ヲ豫納セシメ來リタルニ會社ハ六年七月分以降毎月之カ納入ヲ怠リタル爲七年三月運賃壹萬貳千餘圓ヲ納入セルモ精算ノ結果尙前掲七萬五百餘圓ノ收入未済ヲ生スルニ至リシノミナラス別途會社ヨリ購入ニ係ル砂利代金ハ右運賃ニ充當スルコトナク全額支拂ヲ了セルヲ以テ妥當ノ措置ニ非スト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

本件未納運賃ニ關シテハ當初會社ヨリ財界不況ノ爲砂利賣却代金ノ回收困難ナル趣ヲ以テ一時之カ納入猶豫方願出アリシニ依リ實情調査ノ上已ムヲ得サルモノト認メタルカ爾後數箇月ヲ經過セルモ尙納入セザリシ爲嚴重督促ヲ爲シ且直ニ之カ豫納扱ヲ停止セムトシタル所會社ハ近ク未納額ヲ納入スヘキヲ以テ其ノ取扱繼續方ヲ懇願セル爲暫時之ヲ許容スルコトトシ更ニ運賃ノ納入ヲ極力慫慂シタル結果七年三月壹萬貳千餘圓ヲ納入シ其ノ殘額ニ對シテハ當時分納方ノ願出アリタルニモ拘ラス其ノ後之ヲ納入セサルヲ以テ遂ニ強制履行ヲ爲サシムルコトトシ目下訴訟繫屬中ナリ又六年度中ニ於ケル砂利購入代金ヲ未納運賃ニ充當セザリシハ運賃ノ納入ニ關シ前記ノ通會社ヨリ屢猶豫方懇願アリシ爲強ヒテ之ヲ充當スルハ却テ得策ナラサル様思料セラレタルヲ以テ之ヲ支拂ヒタルモノナルカ其ノ後ノ支拂代金ニ對シテハ全部之ヲ保留シ居レリ

ト謂フニ在リ然レトモ本件會社ハ豫納金滯納ノ結果六年六月末ニ於テ其ノ豫納額皆無ト爲リ本取扱ヲ其ノ儘繼續スルトキハ運賃ノ徵收上困難ヲ來スノ虞アルヲ以テ一應會社ノ豫納扱ヲ停止シ適當ノ措置ヲ講スヘキモノナルニ拘ラス其ノ請願ヲ容レ數箇月ニ互リ之カ納入ヲ猶豫シ依然豫納扱ヲ繼續シ遂ニ多額ノ運賃ヲ徵收困難ニ陥ラシメタルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス又會社ニ支拂フヘキ砂利代金ニ對シ爾後ニ於テ之カ支拂ヲ保留シタリト辯明スト雖其ノ額僅ニ七百餘圓ニ過キサルノ狀況ナリ要スルニ本件ハ荷物運賃豫納ノ取扱ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得ス多額ノ運賃ヲ徵收困難ニ陥ラシメタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件ハ豫納金滯納ノ際直ニ其ノ取扱ヲ停止スルニ於テハ會社ノ營業上ニ及ホス影響渺カラサルニ依リ運賃納入上却テ不得策ト認メ引續キ之ヲ繼續セシメツツ極力其ノ徵收ニ努メタルモ遂ニ斯ル未納ヲ生シタルハ甚ダ遺憾トス

追テ七年四月ヨリ豫納扱ヲ爲サス且未納額ニ付テハ訴訟ヲ提起シタルニ同年十一月貳萬圓ヲ納入シ其ノ殘額ニ對シテハ同年十二月中ニ五千圓ヲ納入セシメ尙其ノ餘ハ八年一月以降毎月貳千八百圓宛納入セシムルコトニ裁判上ノ和解ヲ遂ケ之カ履行中ニ在リ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

拓務省所管

朝鮮總督府

歳入

租税ノ賦課徵收ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(四四)

立木ノ賣拂價格低廉ニ失スルモノ一件(四五)

合計二件

歳出

虛構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノ一件(四六)

土地買收ニ當リ價格ノ評定其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(四八)

其ノ他不當ナルモノ一件(四七)

合計三件

昭和六年度 帝國鐵道 (四三)

三、九六三、五六〇
一一、四二〇、七六〇
一五、三八四、三三〇
一、八三二、六八〇
四九、〇五四、五〇〇
二〇、九四四、三〇〇
七一、八三一、四八〇

歳入經常部

第一款 租 税 第三項 營業稅

【報告】 (四四) 本項決算額ノ外京城府ニ於テ徵收ニ至ラサルモノ

アリ右ハ株式會社朝鮮貯蓄銀行ノ課稅標準資本金百貳拾七萬四千貳百六拾壹圓預金貳千參百四拾五萬四百八拾壹圓ニ對スル稅額ニシテ昭和五年度檢査報告ニ掲載セシ如ク四年七月貯蓄銀行令ノ施行ニ依リ株式會社朝鮮貯蓄銀行ハ從來經營セル貯蓄銀行業務ヲ繼續スル能ハサルニ至リタルヲ以テ當會社ヲ設立シ其ノ貯蓄銀行業務ヲ總括的ニ承繼シタルモノナルニ之ヲ新規開業ト認メ本年分營業稅ヲ免除セルハ朝鮮營業稅令第十三條ノ適用ヲ誤リタルモノニシテ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

三、九六三、五六〇

【辯明】

本件會計檢査院批難ノ要點ハ株式會社朝鮮貯蓄銀行カ株式會社朝鮮殖産銀行ヨリ其ノ經營セル銀行業務ノ一部タル貯蓄預金債務及之ニ相當スル貸付債權ヲ讓受ケ開業シタル事實ヲ朝鮮營業稅令第十三條第一項ニ謂フ營業ノ承繼ニ非スシテ新規開業ト認定シ本年分營業稅ヲ免除シタルハ不當ナリト云フニアリ然レトモ營業稅令第十三條第一項ニ規定スル營業ノ承繼ヲ以テ營業ノ全部讓渡ノ場合ノミナラス本件ノ如キ營業ノ一部讓渡ノ場合ニモ適用アルモノト解スル時ハ第一、課稅技術ノ點ヨリ見テ徵稅上之カ實行困難ナル場合アリ即チ銀行業務ノ一部讓渡アリタル場合課稅標準ノ一タル預金ノ分別ハ容易ニ行ハルルモ他ノ課稅標準タル資本金ノ分別ハ著シク困難ナルノミナラス本件ノ場合ニ於テハ資本ハ讓渡セサルヲ以テ強テ之ヲ分別スルモ假令ノ數字ニ止マリ殖産銀行ノ從來ノ資本ハ其ノ全額ヲ引續キ同行ニ於テ運用シ居ルニ不拘其ノ一部分ヲ實際運用シ居ラサル貯蓄銀行ノ資本トシテ課稅スルカ如キ不合理ヲ惹起スルニ至ルヘク第二、稅令中ニ營業ノ一部讓渡ノ場合ノ徵稅規定ヲ明定セサル法意ニ鑑ミルトキハ本件ノ如キ一部ノ營業讓渡ニ付テハ稅令上所謂營業ノ承繼ヲ以テ律スヘカラサル趣旨ト認メラル即チ營業稅令第十三條第一項ノ營業ノ承繼トハ納稅義務ノ單位ヲ爲ス營業全部ノ移轉アリタル場合ニノミ適用スヘキモノト解スヘク本件事例ノ如キハ讓渡者タル殖産銀行ニ付テ之ヲ見レハ銀行業務ノ縮少ニ過キスシテ課稅ノ單位ヲ成ス銀行業ハ依然存續シ居ルノミナラス新設貯蓄銀行ハ貯蓄銀行令ニ依リ法定ノ要件ヲ具備シテ其ノ設立ヲ認許セラレ開業ト同時ニ稅令上ノ納稅義務ノ單位ヲ爲スモノニシテ殖産銀行ヨリ營業ノ一部讓渡アリタルカ爲ニ納稅ノ單位トナリタルモノニ非サル事實ニ鑑ミ本件ハ稅令上所謂營業ノ承繼ニ該當セスト認メラルモノナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

(參照) ○貯蓄銀行令(昭和三年十二月二十四日)

第七條

第一條 左ニ掲グル業務ヲ營ム者ハ之ヲ貯蓄銀行トス

- 一 複利ノ方法ニ依リ預金ヲ受入ルルコト
- 二 一回五圓未満ノ金額ヲ預金トシテ受入ルルコト
- 三 豫メ拂戻ノ期限ヲ定メ定期ニ又ハ一定ノ期間内ニ於テ數回ニ預金ヲ受入ルルコト
- 四 期限ヲ定メテ一定金額ノ給付ヲ爲スコトヲ約シ定期ニ又ハ一定ノ期間内ニ於テ數回ニ金錢ヲ受入ルルコト

附則

貯蓄銀行ニ非ザル銀行カ本令施行前ニ爲シタル契約ニシテ第一條第一項ノ業務ニ屬スルモノニ付テハ其ノ契約ノ完了スル迄仍ホ其ノ契約ニ關スル業務ニ限り之ヲ繼續スルコトヲ得

○朝鮮營業稅令(昭和二年三月三十一日)

第六條

第十一條 新ニ開始シタル營業ニ付テハ開業ノ翌年ヨリ營業稅ヲ課ス

左ニ掲グル營業ニ付テハ開業ノ翌年ヨリ三年間營業稅ヲ免除ス

銀行業(下略)

第十三條 營業ノ承繼アリタルトキ又ハ營業ノ承繼ト認ムベキ事實アリタルトキハ納期ニ於テ現ニ營業ヲ爲ス者ヨリ營業稅ヲ徵收ス前項ノ場合ニ於テ前營業ニ付第十一條ノ規定ニ依リ營業稅ヲ課セズ又ハ之ヲ免除スル期間殘存スルトキハ現營業者ハ其ノ殘存期間ヲ承繼ス

第三款 官業及官有財産收入 第三項 森林收入

【報告】 (四五) 咸鏡北道明川郡ノ徵收ニ係ル

一一、四二〇、七六〇

ハ昭和六年五月宮城殖林株式會社ニ賣却シタル咸鏡北道明川郡所在國有林甘吐峰及氣雲峰地上立木「カラマツ」二十七萬九千九百二十三尺締ノ代價ナリ右立木單價ハ百尺締四圓貳拾錢ニシテ低廉ニ失スルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシ

昭和六年度 朝鮮總督府 (四五)

ニ其ノ答辯ノ要旨ハ

本年度中甘吐峰内ニ於テ地元民ニ對シ賣却セル「カラマツ」單價參拾八圓四拾錢ニ比スレハ本件ハ低廉ナルカ如キモ地元民自家用ノ場合ハ企業利益ヲ見込マサルヲ以テ若同一ノ方法ニ依リ之ヲ見込マサルモノトセハ本件「カラマツ」ハ參拾壹圓八拾錢ト爲ルノ計算ナルノミナラス地元民自家用ノ場合ハ山麓等ノ運搬便利ナル箇所ニ選定シ優良材ヲ拂下ケ且運搬費ヲ多ク要セサル地元及附近ニテ消費セラルルモノナルニ反シ本件ノ如ク地元梨坪洞ヨリ約三里ノ山奥ヨリモ伐採シ峰筋附近ニ散在セル不良木ヲモ一括處分シ之ヲ遠隔地ニ運搬シテ賣捌クモノトハ單價ニ相違アルハ當然ナリ又本件立木單價ノ算定ハ伐木地ヨリ梨坪洞迄約三里ハ牛糞ニ依リ梨坪洞ヨリ龍洞驛迄六里ハ牛車ニ依リ龍洞驛ヨリ市場城津迄八十二軒ハ鐵道ニ依リ運搬スルモノトシテ算出セリ而シテ梨坪洞龍洞驛間ハ明澗川ノ水運ニ依ルカ軌道運材ニ依ルカ又ハ牛車運搬ニ依ルヲ有利トスルカヲ調査セシニ明澗川ハ水量少ク河身不良ニシテ流材ノ見込ナク軌道ヲ敷設スルモノトセハ溪間ノ屈曲多キ急勾配地ナルヲ以テ特別設備費ヲ要シ事業費ハ百尺締參百八拾圓餘ナルニ對シ牛車運搬ニ依ル場合ハ參百七拾六圓餘ト爲リ結局山元百尺締當單價ハ軌道運材ニ依レハ貳圓拾錢牛車運搬ニ依レハ四圓貳拾錢ト爲ルヲ以テ本件處分カ牛車運搬ニ依リシハ最有利ニ單價ヲ算定セルモノト認ム

ト謂フニ在リ然レトモ本件拂下ニ關スル代價査定ノ内容ヲ觀ルニ伐木造材ニ要スル人夫賃一日九拾八錢運搬ニ要スル牛車一日貳圓五拾錢ハ該地方賃銀ニ鑑ミ高キニ失スルモノト認メラルルノミナラス本件拂受立木ノ轉賣ヲ受ケタル東洋殖産株式會社會計實地検査ノ際調査シタル所ニ依レハ伐木造材ノ人夫賃一日八拾錢運搬用牛車同貳圓トセルニ徵スルモ人夫賃及牛車費ニ於テ二割内外高價ニ見積レルモノト認メラレ假ニ人夫賃八拾錢(工程六尺締六)牛車貳圓(同一尺締七五)トシテ算出スルトキハ百尺締當伐木造材費ニ於テ壹圓餘運搬費ニ於テ貳拾八圓餘合計參拾圓餘ヲ減少シ隨テ立木百尺締當價格ニ於テ拾五圓餘總價格ニ於テ四萬餘圓ヲ増額スヘキ計算ト爲リ本件賣拂代價ハ著シク低廉ニ失スルモノト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ立木ノ賣拂價格低廉ニ失シ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件検査報告批難ノ要旨ハ拂下ニ關スル代價査定ノ内容タル伐木造材人夫賃及牛車運賃ノ見積高價ニ失シ從ツテ拂下單價低廉トナリ國庫ニ損失ヲ及ホシタルト謂フニ在ルモ本件處分單價算定ニ使用セル伐木造材人夫賃一人一日九拾八錢功程七尺締牛車運賃一日貳圓五拾錢功程一尺締七五ナルニ本件立木ノ轉賣許可ヲ受ケタル東洋殖産株式會社ニ於テ伐木造材人夫賃一人一日八拾錢功程六尺締六牛車運賃一日貳圓功程一尺締七五トセル趣ナルモ同社ハ未タ何等事業ニ著手セズ該計畫ニ依リ事業ヲ實行シ得ルヤ不明ナルノミナラス斯ル架空ノ計畫ニ依ル伐木造材人夫賃及牛車賃ヲ基礎トシテ拂下立木ノ單價ヲ算定スルヲ得サルハ勿論伐木造材人夫賃及牛車運賃ハ拂下地方ニ於ケル當該年度ノ賃金ト功程トヲ比較考究シテ正當ナル額ヲ定ムヘキモノニシテ本件ハ左掲ノ通從來ノ處分實例ヲ參酌シ慎重調査考究ノ上決定セルモノナリ

林産物處分單價査定賃金功程表

番號	國有林	許可年月日	樹種	數量	伐木造材一人一日		牛車一臺一日		摘 要
					賃 金	功 程	賃 金	功 程	
一	甘吐峰	昭和二年四月八日	カラマツ	四 ^尺	一〇〇〇	六 ^尺	二五三〇	一、五	
二	同	三年十月二十二日	〃	一四	一〇〇〇	六	二五三〇	一、五	
三	氣雲峰	四年一月十八日	〃	六	一〇〇〇	五	三〇〇〇	二、〇	
四	甘吐峰	四年三月四日	〃	七五	一〇〇〇	五	(三〇〇〇、七五)	(一、五)	○内ハ牛車ノ代リニ牛糞ヲ使用セルモノナリ
五	同	六年二月四日	〃	九	九〇〇	六	(二五〇〇)	(一、五)	

從來此ノ拂下地ニ於ケル實例ハ伐木造材人夫賃九拾錢乃至壹圓功程五尺締乃至六尺締牛車賃貳圓五拾錢乃至參圓功程一尺締五乃至二尺締ナリ又各營林署官行事業ニ於ケル平均伐木造材費ハ尺締當リ拾參錢九厘山地運材七拾參錢貳厘本件處分ハ伐木造材尺締當リ拾四錢山地運材六拾七錢五厘左掲ノ通ニシテ本件人夫賃及牛車賃ハ高價ニアラサルコト明ラカナリ

官行事業伐木運材賃金ト本件處分同上賃金トノ比較

種別	單位		
伐木造材費	尺	〇・一三九	〇・一四〇
山地運材	ト	〇・七三三	〇・六七五

備考

營林署ハ山地運材後ハ軌道又ハ水運ニ依リ市場ニ搬出シ牛車ヲ使用セス本件ハ軌道又ハ水運ニ依リ難キヲ以テ牛車ニ依リ搬出スルコトトシ牛車賃ハ本地方ノ賃金功程及從來ノ立木處分實例ヲ考査シテ相當額ヲ決定セルモノナリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 警告

歳出經常部

第十款 税關 第二項 事務費

【報告】 (四六) 新義州税關ノ支出ニ係ル

一、八三二、六八〇

ハ雇員給料等トシテ證明シタルモノナルモ其ノ實朝鮮總督府税關監吏安永某カ同税關勤務中昭和六年二月ヨリ同年四月ニ至ル間ニ於テ關係書類ニ虚偽ノ記載ヲ爲シ騙取シタル總額貳千六百九拾參圓六拾八錢ノ内ニシテ八百六拾壹圓ハ五年度ニ屬スルモノナリ右ハ虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ犯人安永太吉ニ對シテハ昭和七年八月十六日附休職ヲ命シ事件ハ目下公判ニ繫屬中ニシテ同年八月二十五日附公訴ニ附帶シ私訴ヲ提起セリ責任官吏ニ對スル懲戒處分目下手續中ニ屬ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第十六款 專賣局 第二項 事業費

【報告】 (四七) 朝鮮總督府專賣局ノ支出ニ係ル

二〇、九四四、三〇〇

ハ同局廣梁灣出張所資金前渡官吏朝鮮總督府專賣局屬下村某ニ對シ交付セル前渡資金ノ内返納ニ至ラサルモノナリ右ハ前記下村某カ同出張所勤務中大正十三年十二月ヨリ昭和七年一月ニ至ル間ニ於テ關係書類ニ虚偽ノ記載ヲ爲シ前渡資金ヲ横領費消シ支拂資金ニ窮スルニ至レハ資金殘額僅少ナルカ如キ前渡資金請求計算書ヲ作成シ支出官ヨリ資金ノ交付ヲ受ケ還次差繰補填シ遂ニ本年度ニ至リ前揭貳萬九百餘圓ノ缺損ヲ生セシメ返納ニ至ラス實際支拂ナキニ拘ラス本費ニ決算セラルルニ至リシモノナリ右ノ外昭和五年度中同出張所鹽出納係雇溝口某及同事務補助事業手高橋某カ鹽仲買商李某ト共謀ノ上五年五月ヨリ同年八月ニ至ル間ニ於テ前記下村某カ物品會計官吏トシテ保管中ニ係ル在庫鹽八十七萬七千七百斤代價五千四百餘圓ヲ横領シタルモノアリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ保管金被害ニ對スル責任者下村時俊ハ昭和七年一月十二日自殺シ法定遺產相續人ハ相續權ノ拋棄ヲ爲シタル處同年三月十一日同人ノ生前同棲者山岡エウヨリ壹千五百圓ヲ任意辨納セリ尙官鹽被害ニ對シテハ加害者ニ對シ辨償方ニ關シテ夫々相當處置濟

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

歳出臨時部

第五款 營繕費 第九項 新營及設備費

【報告】 (四八) 新義州營林署ノ支出ニ係ル

四九、〇五四、五〇〇

ハ同署貯木場用地トシテ新義州府敏浦洞ニ於テ昭和六年七月新義州木材株式會社ヨリ畝二千七百四十七坪及雜種地千八百坪並同年十一月平壤府智某ヨリ畝千九百四十一坪及田千七百二十四坪ヲ買收シタル代價ナリ右ノ内會社ヨリ買收ニ係ルモノハ坪當七圓トシ智某ヨリ買收ニ係ルモノハ坪當價格七圓總額貳萬五千六百餘圓ヨリ溜池四百坪土取跡地千五百餘坪ノ

昭和六年度 朝鮮總督府 (四七)(四八)

埋立費八千參百餘圓ヲ控除シ坪當四圓七拾錢ト爲シタルモノナルモ新義州府ニ於テ六年八月ヨリ十二月ニ至ル間幹線道路用地トシテ本件土地ニ近接シ買收セル二千六百餘坪ノ單價ハ貳圓貳拾五錢乃至貳圓八拾錢ナルノミナラス當局者カ附近地賣買實例トシテ引用セル五年七月新義州木材株式會社ノ買收地畝六千七十餘坪ノ單價六圓ハ新義州府ノ調査ニ依レハ貳圓八拾錢ナルヲ以テ本件買收價格ハ高價ニ失スルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

公共ノ利便ヲ目的トスル道路用地ト木材事業經營上必要ナル事業用地トハ自ラ其ノ性質ヲ異ニシ賣價ニ關スル一般地主ノ通念ハ前者ニ在リテハ損害補償ノ程度ヲ最大ノ標準トスルニ反シ後者ハ採算上ノ利益ヲ目的トスルコト常態ナルヲ以テ實際ノ賣買價格ハ兩者ノ間ニ懸隔アルコト當然ナリ又登記並取得申告ノ價格ハ課稅標準ノ基礎額ト爲ルヘキモノニ付實際ノ賣買價格ヨリモ低廉ナル價格ニ依リテ申告スルコト一般ノ事例ナリ隨テ右申告價格ヲ以テ直ニ買收價格ナリトノ即斷ハ實際ニ合致セサルヲ常トス而シテ本件土地價格評定ノ當時ハ既ニ昭和製鋼所ノ新義州設置確實ヲ傳ヘラレ地價一般ニ騰貴シ道廳職員間ニ於テハ六年三月以降右製鋼所實現ノ準備對策トシテ夙ニ住宅組合ノ組織計畫ヲ進メ敏浦洞所在ノ土地ヲ單價七圓參拾錢ヲ以テ住宅用地ニ買收スヘク地主トノ間ニ豫メ内協議ヲ了シタル状態ナリシノミナラス本府ノ要求ニ依リ當初ニ於テ地元金融業者(殖産銀行金融組合)ヨリ徵シタル評定價格坪當七圓等ニ徵スルモ當署評定價格坪當七圓ハ高價ニ失スルモノニ非ス

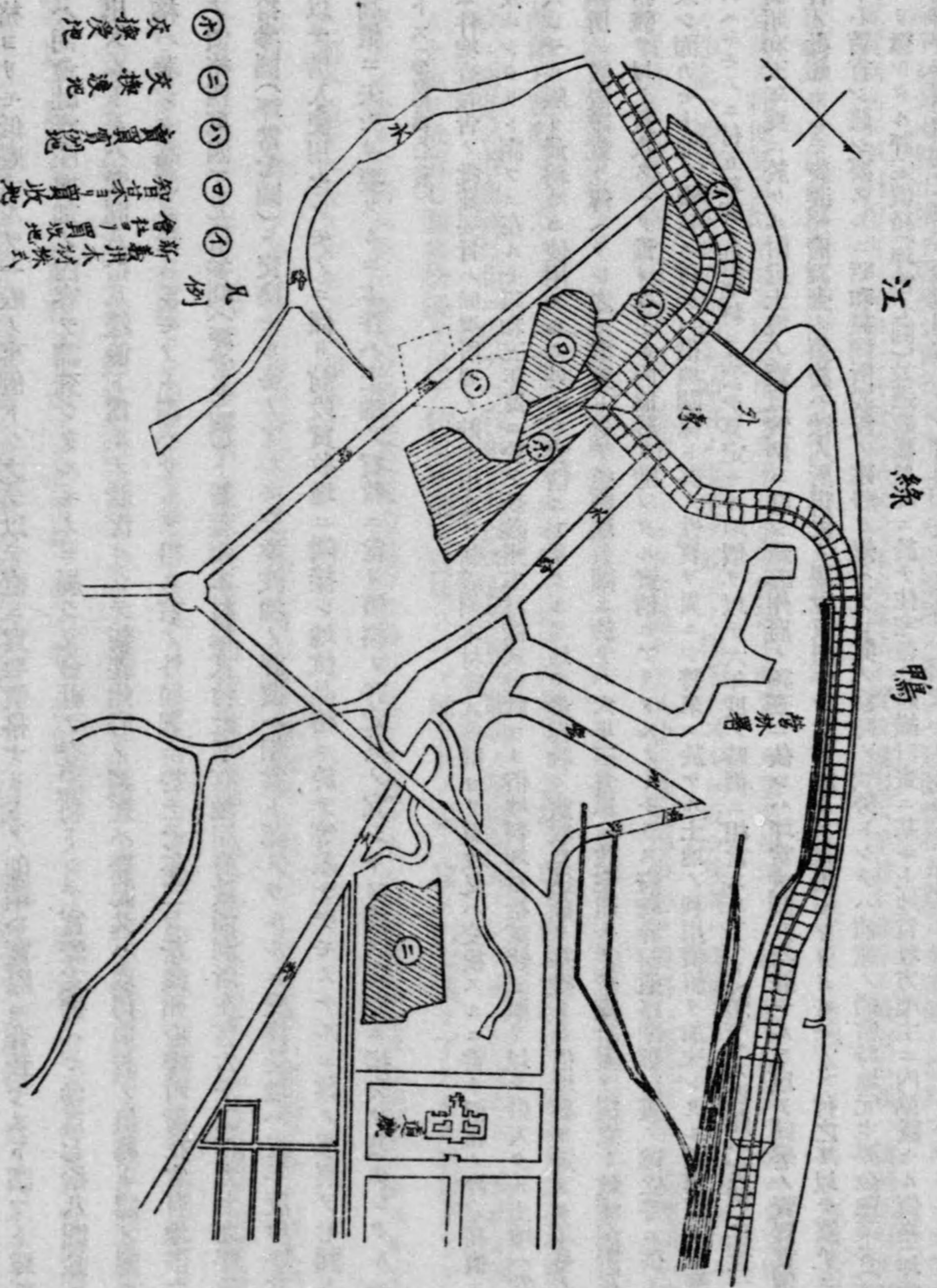
ト謂フニ在リ然レトモ本件土地中新義州木材株式會社ヨリ買收セル畝二千七百餘坪ハ別途交換ニ因リ同會社ヨリ受ケタル畝六千二百餘坪ト共ニ五年度中營林署ニ於テ坪當年額拾貳錢五厘ヲ以テ借入使用セシモノニ係リ該借料ハ借入土地及其ノ附近ニ於ケル實收額ヲ基礎トシ妥當ナル算定ト認メラルルヲ以テ之ヲ假ニ年五分ノ利廻ニ依リ還元スルトキハ坪當貳圓五拾錢ト爲リ又新義州府ニ於テ幹線道路用地トシテ本件土地ニ近接シ本件買收ト略同時期ニ坪當貳圓貳拾五錢乃至貳圓八拾錢ヲ以テ買收セルハ右借料ヨリ還元セル價格ニ鑑ミ特ニ低價ナルモノトハ認メ難ク更ニ本件買收實例地ニ付新義州府ニ於テ調査シタル單價貳圓八拾錢ニ關シ當局者ハ登記並取得申告ノ價格ハ課稅標準ノ基礎額ト爲スヘキモノニ付實際ノ賣買價格ヨリモ低廉ナルヲ一般ノ事例トシ之ヲ以テ直ニ買收價格ナリトノ即斷ハ實際ニ合致セスト謂フト雖新義州府調査ノ價格ハ同會社資産増加ノ内容ヲ調査シタルモノニ屬シ又會社ノ登記料トシテ實際支拂ヘル參百七拾八圓餘ニ基キ坪當價格ヲ算出スルトキハ壹圓八拾八錢餘ト爲ルノ狀況ニシテ新義州府ノ調査ハ登記又ハ取得申告ノ價格ト認メ難キヲ以テ本件買收價格ハ著シク高價ニ失スルモノト謂ハサルヲ得ス右ノ外同署ニ於テ七年三月新義州府櫻町所在官有地畝六千二百九十九坪此ノ價格四萬四千九拾參圓(坪當七圓)ト新義州木材株式會社所有地同府敏浦洞所在畝六千二百九十九坪此ノ價格四萬四千九拾參圓(坪當七圓)ト交換セルモノアルモ交換渡地ノ評價ハ相當ト認メラルルニ交換受地ハ五年度中坪當年額拾貳錢五厘ヲ以テ借入使用セシモノニ係リ前段買收地ニ隣接シ地位品格ニ於テ等差ナキモノナルニ其ノ單價ヲ七圓ト評定セルハ著シク高價ニ失セリ要スルニ本件ハ土地ノ買收ニ當リ價格ノ評定其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス(參照附圖八二頁)

格ヨリモ低廉ナルヲ一般ノ事例トシ之ヲ以テ直ニ買收價格ナリトノ即斷ハ實際ニ合致セスト謂フト雖新義州府調査ノ價格ハ同會社資産増加ノ内容ヲ調査シタルモノニ屬シ又會社ノ登記料トシテ實際支拂ヘル參百七拾八圓餘ニ基キ坪當價格ヲ算出スルトキハ壹圓八拾八錢餘ト爲ルノ狀況ニシテ新義州府ノ調査ハ登記又ハ取得申告ノ價格ト認メ難キヲ以テ本件買收價格ハ著シク高價ニ失スルモノト謂ハサルヲ得ス右ノ外同署ニ於テ七年三月新義州府櫻町所在官有地畝六千二百九十九坪此ノ價格四萬四千九拾參圓(坪當七圓)ト新義州木材株式會社所有地同府敏浦洞所在畝六千二百九十九坪此ノ價格四萬四千九拾參圓(坪當七圓)ト交換セルモノアルモ交換渡地ノ評價ハ相當ト認メラルルニ交換受地ハ五年度中坪當年額拾貳錢五厘ヲ以テ借入使用セシモノニ係リ前段買收地ニ隣接シ地位品格ニ於テ等差ナキモノナルニ其ノ單價ヲ七圓ト評定セルハ著シク高價ニ失セリ要スルニ本件ハ土地ノ買收ニ當リ價格ノ評定其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス(參照附圖八二頁)

【辨明】 本件検査報告ノ批難要旨ハ同署所要ノ貯木用地ヲ新義州木材株式會社ヨリ買收又ハ交換スルニ當リ價格ノ評定高價ニ失シテ國庫ニ損失ヲ及ホシタルト謂フニ在ルモ昭和五年度ニ於テ新義州木材株式會社ヨリ借地料坪當拾貳錢五厘ヲ以テ借入タル土地ハ當時同署貯木用地ニ借入レサル限り農耕地ニ使用スルノ外ナキ實情ニアリタルヲ以テ農作物ノ實收見込額ヲ基礎トシ借地料ヲ定メタルモノナルモ其ノ後昭和製鋼所ノ設置確實ヲ傳ヘラレ之カ對策トシテ道廳職員間ニ於テハ六年三月夙ニ住宅組合ノ組織計畫ヲ樹立シ敏浦洞所在ノ土地ヲ坪當七圓參拾錢ヲ以テ買收スヘク豫メ地主ニ内協議ヲ進メタル實情ニアリタルノミナラス府營幹線道路開鑿計畫ノ確立等ニ依リ著シク地價ノ昂騰ヲ來シ而カモ土地ノ賣買ニ付テハ借地關係ト其ノ性質ヲ異ニシ將來ニ於ケル土地ノ利用價值ヲ加味シタル希望值ヲ參酌シテ賣價ノ決定ヲ爲スヘキモノニ付五年度ノ借地料ニ基キ算定セル地價ヲ以テ六年度ノ時價ニ相當スルモノト斷定セル批難ハ實情ニ適合セザルモノト思料ス尙昭和五年度ニ於ケル附近土地ノ賣買實例ニ關シ新義州府ノ調査ニ依レハ坪當貳圓八拾錢ナルヲ以テ同署ノ賣買實例調書ハ高價ニ失スル旨ノ批難ナルモ新義州府調査ノ價格ハ法人所得稅ノ課稅資料トシテ會社ヨリ提出セシメタルモノニ付之ヲ以テ直チニ實際ノ賣買價格ナリトハ首肯シ難シ要スルニ昭和製鋼所設置ノ確報ヲ傳ヘラレ其ノ當時ノ狀勢トシテハ前述ノ通當時地元主要金融業者(殖産銀行及金融組合)ヨリ徵シタル評定價格(坪當七圓)並道廳職員間ニ於テ住宅組合組織計畫ニ基キ土地買收方地主ニ内協議セル價格(坪當七圓參拾錢)ニ徵シ同署評定價格坪當七圓ハ時價相當ニシテ高價ニ失スルモノニアラスト認ム

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意



八二 參照
買收地及交換地附近略圖

臺灣總督府

歳入

物件ノ賣拂ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(四九)

歳出

虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノ二件(五一)(五三)

補助金ノ支給其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(五二)

其ノ他不當ナルモノ一件(五〇)

合計四件

五八六、六七三、一七〇

三、三三〇、一五〇

一六八、八〇一、一七〇

三三、九三七、〇六〇

二〇四、〇五八、三八〇

歳入經常部

第二款 官業及官有財産收入 第四項 森林收入

五八六、六七三、一七〇

【報告】

(四九) 臺灣總督府營林所ノ徵收ニ係ル

ハ昭和七年三月臺灣材友會(同會ニ於テ實質上代行スルコトト爲セル合資會社臺灣丸太共同購買所及合資會社臺灣木材共同販賣所名義ノ分ヲ含ム)ニ對シ拂下ケタル扁柏、紅檜等丸太二萬九千二百九十七立米餘同製品五千七百三十八立米餘ニ對スル代金八拾八萬六千六百拾六圓七拾參錢ノ内ニシテ貳拾九萬九千九百四拾參圓五拾六錢ハ七年度ニ屬スルモノナリ右ハ同營林所ニ於テ六年七月合資會社臺灣丸太共同購買所ニ對シ丸太三萬八千九百餘立米合資會社臺灣木材共同販賣所ニ對シ製品一萬六百立米ノ拂下契約ヲ爲シ之カ引渡數量ハ前者一萬千八百立米餘後者三千七百五十五立米餘ニ過キサルニ兩會社ノ情願ヲ容レ之ヲ打切リ七年三月更ニ右兩會社及三井物産株式會社ノ組織シタル臺灣材友會ニ對シ特ニ割引率ヲ増加シ本件拂下ヲ爲シタルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

指定商ニ對スル割引率ハ從來取引條件販路等ニ依リ一定セス五分乃至三割一分ニ及ヒタルモ三年末材界好況ノ際當所材

昭和六年度 臺灣總督府 (四九)

ノ賣行極メテ良好ナリシヲ以テ臺灣材ノ眞價漸ク認メラレ市況安定セリトノ見解ノ下ニ從來ノ割引率ヲ改正シ丸太ヲ一
 律ニ二割引製品ヲ一割六分引ト爲シタルモ四年度後半ヨリ市況不活潑ト爲リ五年度ニ入りテ益凋落シ前途悲觀セラ
 ルモノアリ從來ノ割引率ニテハ少量契約者ハ營業ノ打撃少キモ大量契約者ハ營業ノ規模大ナルニ從ヒ打撃亦大ナルモノ
 ルヲ以テ同一割引率不可トシテ少量契約者ノ割引率四分ヲ減少シタリ然ルニ木材界ハ一般財界ニ先行シテ不況ノ度ヲ増
 シ年度末ニ近ツクモ拂下ノ履行ハ特殊ノモノヲ除キ全量ノ二割ニモ達セス果シテ完全ニ收入ヲ擧ケ得ルヤ頗ル疑問ト爲
 レリ殊ニ大量契約者ハ多量ノ手持品ヲ有シ多額ノ金利ヲ支拂ヒ更ニ販路ノ維持宣傳ニ費ス經費等モ多キノミナラス年度
 末決済資金ヲ得ル爲採算ヲ度外シタル處分ヲ爲ササルヘカラス割一割引ハ大口契約者ヲ極度ニ壓迫スルヲ以テ取引數量
 ニ依リ割引率ヲ異ニスル方針ヲ新ニ確立シ七年一月割引内規ヲ改メタルヲ以テ材友會ニ對スル割引率ハ丸太二割五分製
 品二割一分ト爲リタルモノナリ然ルニ六年度契約材ノ引取ハ二月中旬ノ調査ニ依レハ丸太共同購買所ノ分契約總高ノ約
 二割五分木材共同販賣所ノ分ハ約三割一分ノ實行ニ過キスシテ年度内ノ處分可能數量ヲ最大限度ニ見込ムモ尙丸太一萬
 九千餘立米製品五千餘立米ハ翌年度ニ持越サルヘク七年度材ノ處分ニ支障ヲ來スヘキヲ以テ相當ノ犠牲ヲ拂フハ已ムヲ
 得サルモノト認メ一般市況ト直接關係ナキ特殊處分ヲ爲スコトトシ丸太ハ主トシテ枕木ニ製材シ副製品ノ一部及嘉義工
 場供給製材品ノ内優良ナルモノヲ極力島外ニ移出スル販賣策ノ下ニ丸太製品共更ニ三分ノ割引ヲ爲シタルヲ以テ六年度
 未處分品ニ對シテハ割引率合計丸太二割八分製品二割四分(臺中、羅東製材一割一分)ト爲レリ
 ト謂フニ在リ然レトモ割引率増加ニ關スル決議書類ニ徵スルニ本件ハ合資會社臺灣丸太共同購買所及同臺灣木材共同販賣
 所ノ政府ニ對スル賣拂代延納金ノ整理困難ナルモノアリトシ三井物産株式會社ノ加入ヲ得組織シタル臺灣材友會ニ對シ
 從來木材、丸太兩會社ニ契約シタル數量ト島内他商人ニ契約シタル數量トノ割合ヲ以テ七年度以降十箇年間同會ニ拂下ク
 ルコトトシ其ノ割引率ハ兩會社ノ債務整理ヲ終ル迄一般割引率(丸太一割六分製品一割二分)ニ加フルニ更ニ九分ノ増加割
 引ヲ爲ス材友會ヨリ其ノ販賣店ニ對スル賣拂ハ一般割引率ニ依ラシムルコトト爲シタルモノニシテ畢竟割引率ノ増加ニ

依リ延納金ノ整理ヲ企圖シタルモノニ屬シ此ノ如キ目的ヲ以テ割引率ノ決定ヲ爲スカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス
 又本件拂下材ノ内嘉義及羅東兩出張所引渡ニ係ルモノニシテ契約書ニ何等規定ナキニ拘ラス島外移出ノ事由ヲ以テ更ニ割
 引率一割ヲ増加シ合計三割一分乃至三割八分ノ割引ヲ爲シタルモノアリ要スルニ本件ハ木材ノ賣拂ニ當リ措置其ノ宜シキ
 ヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

從來指定商ニ對スル木材賣渡價格ノ割引歩合ハ昭和三年度ニ於テ一律ト爲シタル迄ハ其ノ率區々ニシテ五分乃至三割一分ノ差アリタリ
 昭和三年末ニ於テ一旦之ヲ一律ニ統一シタルカ最近木材界ノ不況ハ殊ニ大量取引契約者ニ其ノ影響スル所甚ク手持品増加ノ爲品質ノ低
 下及腐朽減損ヲ來スアリ或ハ競争激甚ノ爲販路ノ維持開拓ニ多額ノ經費ヲ要スルアリ又資金固定ノ爲金利ノ嵩ムアリ更ニ代金回收難ニ陷
 ルモノアル等取引量大ナルニ從ヒテ營業上ノ困難ト不利ヲ増大スルニ到レリ
 殊ニ本府營林所材ノ拂下ニアリテハ森林事業ノ性質ニ基キ斫伐及造林ノ施業上毎年大體一定量ノ處分ヲ爲スノ必要アルト森林收入確保ノ
 要アル等トニ依リ手持品ノ多寡ニ不拘所定ノ契約量ヲ年度内ニ引取ラシムル關係上大量取引契約者ノ困難ト不利ハ更ニ増大セサルヲ得ス
 依テ昭和五年度以來割一割引ヲ止メテ差等ヲ設ケ更ニ昭和六年度ニ至リ取引數量ノ多少ニ應ジ數階段ノ割引率ヲ用ユルコトトシタルモノ
 ナリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 警告

歳出經常部

第三款 地方廳 第二項 事務費

【報告】

(五〇) 本項ニ於テ花蓮港廳ノ支出ニ係ル

第三項保安費ニ於テ同廳ノ支出ニ係ル

昭和六年度 臺灣總督府 (五〇)

九、八三三、四一〇

三、六三三、五六〇

臨時部第一款事業費第十二項吉野圳改修費ニ於テ同廳ノ支出ニ係ル

一四、七二三^四五九〇

第二款營業費第六項警察官吏官舎其他新營費ニ於テ同廳ノ支出ニ係ル

五、二八七五〇〇

第十款災害費第五項道路河川其他風水害應急及復舊費ニ於テ同廳ノ支出ニ係ル

一、七三九〇〇〇

計參萬千九百參拾七圓六錢ハ貓公警察官吏派出所新築其ノ他十數廉ノ工事請負代金及工用材料事務用用紙類購入代又ハ運搬費等トシテ支拂ヒタル金額ナリ昭和七年五月之カ實地ヲ検査スルニ右ハ孰モ年度内工事ノ竣功、物品ノ納入又ハ運搬ヲ完了シタルモノノ如ク裝ヒ之カ代金ノ支出ヲ爲セルモ其ノ實現金ハ同廳職員隅田某名義ニテ株式會社臺灣商工銀行花蓮港支店ニ預入シ置キ契約履行完了ヲ俟チ實際ノ支拂ヲ爲スコトトシ検査當時預金殘高壹萬九千七百餘圓ヲ存セルノ狀況ナリシヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

花蓮港ハ交通不便ノ土地柄ナルト所在地ハ物資乏シキ爲己ムヲ得ス海路西部地方ヨリ之カ供給ヲ受ケサルヘカラス然ルニ夏冬ノ候ニ於テハ風浪烈シク動モスレハ海陸ノ連絡絶ニルノ狀況ナルト又廳管内ニ點在スル工事現場ハ概ネ僻陬ノ土地ニ在リ工人ノ募集材料ノ運搬意ノ如クナラス隨テ敏速ニ施行シ難キ事情アリ而シテ本年度豫算ハ年度半ニ至ル迄節約額確定セサリシ爲工事ノ設計ニ著手スルコト能ハス又物件ノ購入モ前記同様ノ事由ニ依リ努メテ差控ヘタル等ノ爲年度末ニ至リ工事ノ請負及物件ノ購入著シク輻輳シ工人及物資ニ缺乏ヲ來シタルト且營繕土木係員ノ手不足等ニ依リ契約履行上其ノ期限ヲ失シタルモ時既ニ豫算繰越ノ時機ヲ經過シ如何トモ致シ方ナク七年度經費ヨリ支出スルコトモ經理上困難ナル事情アリ己ムヲ得ス違法ノ證明支出ヲ爲シ之ヲ會計係長隅田屬カ專斷自己名義ヲ以テ保管シ契約ノ履行ヲ竣テ代金支拂ノ方法ヲ執リタルモノニシテ甚タ遺憾トスル所ナリ

ト謂フニ在リ然レトモ同廳ニ於テハ此ノ種取扱ヲ爲シタルモノ五年度ニ於テ國費貳萬九千餘圓廳地方費壹萬千參百餘圓六年度ニ於テ本件ノ外廳地方費貳萬千九百餘圓ノ多キニ上レルノミナラス私金及組合ノ現金ト共ニ銀行預金ト爲シ右資金並利子中ヨリ擅ニ旅費其ノ他ニ立替ヘ又ハ他ノ費途ニ支出シタルモノアルノ狀況ニシテ縱ヒ答辯ニ謂フカ如キ事情アリトス

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通り
尙取扱責任者ニ對シテハ相當處分ヲ了セリ
ルモ事實ニ反スル竣功検査調査、檢收調査等ヲ作製シ契約履行前代金ノ支出ヲ爲シ職員ニ於テ濫ニ此等現金ヲ出納保管スルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第十五款 林務費 第二項 事業費

【報告】

(五一) 臺灣總督府營林所ノ支出ニ係ル

二、七〇六〇〇〇

ハ營林所羅東出張所大平山派出所ニ於ケル胴割賃金トシテ證明シタルモノナルモ其ノ實臺灣總督府營林所雇井戸某カ同派出所伐木係主任トシテ勤務中昭和四年二月頃ヨリ六年十二月頃ニ至ル間ニ於テ關係書類ニ虚偽ノ記載ヲ爲シ騙取シタル總額七千六圓ノ内ニシテ四千參百圓ハ五年度以前ニ屬スルモノナリ右ハ虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通り
但シ騙取金七千六圓及利子四百拾貳圓貳拾四錢計七千四百拾八圓貳拾四錢ハ昭和七年八月二十二日騙取者ヲシテ辨償セシメタリ尙騙取者ハ昭和七年五月三十日刑ノ言渡ヲ受ケ關係職員ニ對シテハ昭和八年一月十八日相當處分ヲ了セリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

歳出臨時部

第五款 補助費 第五項 傳染病豫防費補助

【報告】

(五二) 臺北州ノ支出ニ係ル

一六八、八〇二^四一七〇

ハ昭和五年度中傳染病豫防ノ爲州地方費ヨリ支出シタル決算額ニ對シ交付シタル補助金中經費ノ全額ヲ補助スルコトト爲シタル拾七萬參千八百九拾九圓九拾錢ノ内ニシテ五千九拾八圓七拾參錢ハ五年度ニ屬スルモノナリ右ハ法令ノ定ムル補助

昭和六年度 臺灣總督府 (五一)(五二)

率ヲ超過セルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ
 本件全額補助金ハ臺北及基隆兩市ニ於ケル「チフス」防護施設ニ對スル補助ナルカ二年以來臺北市ノ「チフス」ハ猖獗ヲ極
 メ益蔓延流行ノ狀況ニ在リテ從來ノ施設計畫ニテハ到底豫防達成ノ見込ナキヲ以テ特ニ防護機關ノ擴張充實ヲ圖リ檢病
 的ノ戸口實査、保菌調査、健康診斷等徹底的施設ヲ要シタルモ此ノ如キ事業ヲ州財政ニ委スルニ於テハ其ノ遂行ニ遺憾ナ
 キヲ保シ難キヲ以テ特ニ全額ヲ補助シ之カ絶滅ヲ期シタルモノナリ而シテ本件ハ行政諸法臺灣施行令及傳染病豫防法ニ
 依ルトキハ州又ハ廳地方費ノ支出ニ對シ國庫ハ其ノ三分ノ一乃至二分ノ一ヲ補助スルモノト爲ルモ同規定ハ補助額ヲ制
 限シタルモノナリヤ否ニ付些カ疑問アリ右ハ政究ノ結果傳染病豫防費ヲ地方公共團體ノ負擔トセル爲其ノ一部ヲ國庫ニ
 於テ補助スルノ義務アルコトヲ明示シタルモノニシテ嚴格ニ之ヲ制限シタルモノニ非ス且補助金ノ下付ニ付テハ原則ト
 シテ法令ノ根據ヲ必要トセサル點ニ鑑ミ必要ニ應シ右ノ範圍ニ依ルコトナク補助ヲ爲スモ支出上支障ナシトノ結論ヲ得
 タルモノナリ

ト謂フニ在リ然レトモ臺灣ニ於テハ行政諸法臺灣施行令ニ依リ傳染病豫防法第二十五條ノ補助率ヲ公共團體支出額ノ三分
 ノ一乃至二分ノ一トシ更ニ同法施行規則第五十一條ニ於テハ其ノ補助率ノ適用ニ關シ規定セルヲ以テ地方費支出額ノ二分
 ノ一ヲ超過シ補助ヲ爲スカ如キハ此等法令ノ規定ニ違背スルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 傳染病豫防費補助ニ關シテハ傳染病豫防法第二十五條行政諸法臺灣施行令第十四條及傳染病豫防法施行規則第五十一條ヲ以テ國庫ハ州又
 ハ廳地方費ノ傳染病豫防費支出精算額ニ對シ其ノ三分ノ一乃至二分ノ一ヲ補助スルコトニ規定セラレタリ從テ國庫ハ右規定ニ依リ補助セ
 サルヘカラサル法律上ノ義務ヲ負フヘキモノナルコト勿論ナルモ同規定ハ傳染病豫防費ニ對スル補助義務ノ限度ヲ定メタルモノニシテ之
 ヲ以テ直ニ其ノ義務ノ限度ヲ超ユル補助ヲ爲スコトヲ嚴格ニ制限シタルモノトハ認メ難シ即チ補助義務ノ限度ヲ超ユル補助ニ付テハ其ノ
 補助スルト否トハ任意ニシテ其ノ實情ト財政狀態等ニ鑑ミ必要ト認ムルトキハ國庫ハ之カ補助ヲ爲スモ敢テ差支ナキモノト解ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス
 【衆決】 不當
 (參照) ○行政諸法臺灣施行令(大正十一年十二月二十九日 勅令第五百二十一號)

第十四條 傳染病豫防法第二十五條中六分一乃至三分一トアルハ三分一乃至二分一トス

○傳染病豫防法(明治三十年四月一日 法律第三十六號)

第二十五條 國庫ハ勅令ノ規定ニ從ヒ第二十二條第二十四條ノ北海道地方費又ハ府縣ノ支出ニ對シ其ノ六分一乃至三分一ヲ補
 助スルモノトス

○傳染病豫防法施行規則(大正十一年九月三十日 內務省令第二十四號)

第五十一條 地方長官ハ左ノ各號ニ從ヒ傳染病豫防法第二十四條ニ依リ北海道地方費又ハ府縣ヨリ市町村ニ交付スヘキ補助ニ
 關スル規則ヲ定ムヘシ

- 一 傳染病豫防法第二十一條及第二十三條第二項ノ支出額ニ對シ北海道地方費又ハ府縣ヨリ市町村ニ補助スル步合ハ「コレ
 ラ」及「ベスト」ノ豫防ニ關シ特ニ要シタル費用ニ付テハ支出精算額ノ三分ノ一以上、其ノ他ノ諸費ニ付テハ支出精算
 額ノ六分ノ一以上トス但シ支出ニ伴フ收入及寄附金アルトキハ支出精算額ヨリ之ヲ控除シタル額ニ對シ其ノ步合ヲ定ム
- 二 傳染病豫防法第二十一條及第二十三條第二項ノ支出中特ニ費途ヲ指定シ別段ノ補助步合ヲ定メ、指定シタル費途ニ限リ
 補助ヲ爲シ又ハ市町村ノ負擔ニ應シ別段ノ補助步合ヲ定ムルコトヲ得但シ本號ニ依リ算出シタル補助ノ金額ヲシテ前號
 三分ノ一又ハ六分ノ一ヲ下ラシムルコトヲ得ス

第十款 災害費 第五項 道路河川其他風水害應急及復舊費

六一四^円一五〇

【報告】

(五三) 臺灣總督府交通局道路港灣課ノ支出ニ係ル

ハ蘇澳花蓮港道災害復舊工事ニ使役セル人夫賃トシテ證明シタルモノナルモ其ノ實雇本村某及工夫伊藤某カ蘇澳花蓮港道
 改修及災害復舊工事ニ從事中昭和五年九月ヨリ六年十一月ニ至ル間ニ於テ單獨又ハ共謀シ使役セサル人夫ヲ使役シタルモ
 ノノ如ク裝ヒ騙取シタル總額千四百四拾四圓拾五錢ノ内ニシテ五百參拾圓ハ五年度ニ屬スルモノナリ尙本件ノ外同工事關係
 職員カ二年十月ヨリ六年十一月ニ至ル間ニ於テ人夫賃トシテ證明シタル貳千貳百餘圓ヲ恣ニ他ノ費途ニ費消シ内、國費ヲ
 以テ支辨シ得ヘキモノ四百餘圓ヲ控除シ千八百餘圓ハ直接責任者タル工事主任ヲシテ辨償セシムルコトトシ七年一月ヨリ
 三月ニ至ル間ニ於テ使役セル人夫二千七百餘人分ノ賃金ニ充當支拂ヲ爲サシメタルモノアリ右ハ虛構ノ事實ニ對シ支拂ヲ

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

爲シタルモノニシテ不當ナリトス
但シ被害金額千四百拾四圓拾五錢ノ内八百拾四圓拾五錢ハ昭和七年二月十六日百八拾九圓八同二月十九日百拾壹圓八同二月二十五日騙取者ヨリ辨償濟尙前段騙取者ハ刑ノ言渡ヲ受ケ現場監督者ニ對シテハ懲戒處分ヲ行ヒタリ後段ノ現場監督者ニ對シテハ懲戒處分手續中ナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

樺 太 廳

歳入

誤伐木ノ代金徴收上措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(五四)
租税外歳入ノ徴收ニ關シ監督其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(五五)
合計二件

八七、三四二四二〇
一六、二一九九〇〇
一〇三、五六二三三〇

歳入經常部

第二款 官業及官有財産收入 第五項 森林收入

【報告】 (五四) 本項決算額ノ外樺太廳ニ於テ徴收ニ至ラサルモノ

八七、三四二四二〇

アリ右ハ大正十三年六月豊原町遠藤某ニ對シ名好郡名好村所在國有林檜、蝦夷松生立木百萬石ノ年期賣拂契約ヲ爲シタルモノノ内之カ引渡前昭和二年十一月頃ヨリ三年四月頃ニ至ル間ニ於テ伐採請負人北日本林業株式會社ノ社員タル金川某カ誤伐セル十萬三千三百六十三石餘ニ對スル代金ニシテ該代金ハ拂下名義人タル遠藤某ヨリ徴收スヘキモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

本件契約者ハ遠藤某ナルモ其ノ事業ノ内容ヲ觀ルニ伐採搬出ニ從事シタルハ金川某ニシテ遠藤某直接ノ事業ニ非サルヲ

以テ同人ハ責任ナキモノト認メタリ

ト謂フニ在リ然レトモ樺太國有森林原野產物賣拂規則第十九條ニ依ルモ伐採、搬出又ハ採取ニ從事スル者ノ爲シタル行爲ハ買受人ニ於テ之カ責ニ任セサルヘカラサルハ當然ニシテ元來本件ハ大正十五年八月拂下名義人タル遠藤某カ權利金貳拾萬圓ヲ取得シ將來何時ニテモ名義變更ヲ爲スヘキ條件ノ下ニ北越製紙株式會社ニ權利讓渡ヲ約シ同會社ハ其ノ伐採及造材事業ヲ北日本林業株式會社ニ請負ハシメタルモノナルモ遠藤某ハ該請負契約ニ參加シ且之カ履行ヲ保證セルヲ以テ畢竟同人ハ北日本林業株式會社カ自己名義ノ年期賣拂立木ノ伐採、搬出ニ從事スルコトヲ認容シタルモノト認ムヘク隨テ同會社社員金川某ノ誤伐ニ關シテハ當然名義人タル遠藤某ニ於テ賣拂規則ニ基ク義務ヲ負擔スヘキモノト謂ハサルヲ得ヌ加之遠藤某ハ北越製紙株式會社ニ權利讓渡ノ爲昭和六年樺太廳ニ提出シタル願書ニ於テ本件木代金納入ノ義務ヲ承認セルモノナルニ拘ラス當局者ハ遠藤某直接ノ事業ニ非スト爲シ徴收ノ見込ナキ金川某ニ對シ辨償命令ヲ發セルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ヌ要スルニ本件ハ誤伐木ノ代金徴收上措置其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件ハ遠藤某ノ林木年期賣拂契約區域中ノ昭和二年度調査ニ係ルモノヲ樺太廳ヨリ未タ買受人ニ對シ引渡ヲ爲ササル以前ニ於テ拂下林木ノ伐採及造材事業請負人北日本林業株式會社ノ社員タル金川某カ引渡完了セルモノト誤信シ買受人並會社ニ對シ無斷ニテ伐採ヲ爲シタルモノニシテ本人ヨリモ官ノ損害金ハ自己ニ於テ納付スヘキ旨請書ヲ提出シ全ク本人ノ單獨行爲ト認メタルヲ以テ之ニ辨償ヲ命シタルモノナルモ斯カル事態ヲ惹起シ會計検査院ノ批難ヲ受クルニ至リタルハ遺憾トスル處ニシテ之カ善後措置ニ關シ目下遠藤某ト接觸中ナリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

(參照) ○樺太國有森林原野產物賣拂規則(大正十四年十月二十一日樺太廳令第三十一號)

第十九條 伐採、搬出又ハ採取ニ從事スル者ノ行爲ニ付テハ買受人其ノ責ニ任スヘシ

第五款 雜收入 第二項 辨償及違約金

【報告】 (五五) 樺太廳惠須取林務署ニ於テ收入未済ニ屬スルモノ

一六、二一九九〇〇

アリ右ハ樺太廳屬川島某カ泊居支廳鶴城出張所ニ於テ現金收入官吏トシテ勤務中小倉某外二名ヨリ提供セル檜、蝦夷松生

【辨明】

立木一萬八千九百五十六本材積五萬五千七百二十二石餘ノ誤盜伐賠償金四萬六千參百五拾圓拾貳錢ノ内昭和四年一月ヨリ六年一月頃ニ至ル間ニ於テ數回ニ互リ横領シタルモノナリ右ハ監督其ノ宜シキヲ得サリシニ因ルモノニシテ不當ナリトス
會計事務ニ付テハ常時監査ヲ勵行シ正確ヲ期シツアリト雖本件ノ如キ事故ヲ惹起スルニ至リシハ遺憾トスル處ナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

官 有 物

官有地ノ貸付其ノ宜シキヲ得ス且貸付料金低廉ニ失スルモノ一件(五六)

國有林ノ豫約賣渡ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(五七)
合計二件

【報告】

(五六) 朝鮮總督府ニ於テ京城府西四軒町所在田八百六十六坪餘及林野二千四百六十四坪ノ官有地ヲ國技館建設ノ目的ヲ以テ前橋市鈴木某ニ對シ年額料金四百九拾九圓五拾七錢ヲ以テ貸付中ノモノアリ右ハ獎忠壇公園敷地ノ一部トシテ京城府ニ貸付中ノモノナリシモ之ヲ返還セシメタル上大正十四年十二月隨意契約ヲ以テ五箇年間貸付セルモノニ係リ其ノ貸付料低廉ト認メラルルノミナラス借受人ハ貸付期間中全然其ノ利用ニ著手セサルモノナルヲ以テ約款ニ依リ契約ヲ解除スヘキモノナルニ期間滿了後更ニ昭和六年十二月迄其ノ儘繼續貸付ヲ許容セルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

該地ノ貸付料ハ土地價格ヲ坪當六圓ト評定シ其ノ總額壹萬九千九百八拾參圓ニ對スル二分五厘トシ年額四百九拾九圓五拾七錢ト算定セルモノニシテ該地ハ京城府東南方ニ偏在シ附近一帶官舎又ハ一般住宅地ニシテ常時多數人出ヲ目當トスル商業經營等ニ適セサルノミナラス近時特殊思惑賣買ヲ除ク外一般的地價トシテハ漸次低落ノ傾向ヲ示セルノ實狀ニ在リ又期間滿了後繼續貸付ヲ爲シタルハ借受人ニ於テ當初ヨリ極力國技館建設ノ畫策中ナリシモ中途事業ノ中心人物タル東京市本所區小江某病歿シ意外ノ蹉跌ヲ來シタル關係モアリ爾來只管著手猶豫ヲ哀願シ貸付料ハ常ニ完納シ來リシヲ以

テ全ク實行ノ意思ナキモノト斷シ難ク隨テ契約ヲ解除スルハ苛酷ニ失スル嫌アリ依テ期間滿了後一箇年ニ限定シ依然使
用ニ著手セサルトキハ直ニ契約ヲ解除スヘキ諒解ノ下ニ之ヲ認容セルモノナリ尙貸付料ヲ從前ノ料率ト爲シタルハ貸付
料ノ基礎ト爲シタル價格ニ於テ當初貸付以來著シキ變動ナキモノト認メタルニ因ル

ト謂フニ在リ然レトモ該地ハ獎忠壇公園表入口ノ大道路ニ沿ヒ市内電車ノ終點ニ近キ三千三百餘坪ノ一團地ニシテ當初其
ノ貸付料ヲ年額四百九拾九圓五拾七錢ト爲シタルハ隨意契約ニ依ラムカ爲會計規則第一百四條第一項第六號ノ制限額五百
圓ヲ超過セシメサルコトヲ主眼トシタルモノト認メラレ之カ算出ノ基礎タル坪當六圓總額壹萬九千九百八拾參圓ハ現地ノ
狀況ニ鑑ミ又五年十二月ニ於ケル朝鮮銀行及朝鮮殖産銀行ノ評價參萬八千餘圓乃至四萬六千餘圓ナルニ徴シ低廉ニ失スル
ノミナラス總督府ニ於ケル土地ノ貸付料ハ概ネ土地價格ノ五分ト爲セルモノナルニ特ニ二分五厘ヲ以テ算定セルハ失當ノ
措置ト認メサルヲ得ス加之借受人ハ貸付期間中全然土地使用ニ著手セサルヲ以テ約款ニ依リ契約解除ヲ爲シ得ルモノナル
ニ拘ラス期間滿了後更ニ低廉ナル料金ヲ其ノ儘據置キ繼續貸付ヲ許可セルカ如キハ當ヲ得サルモノニシテ七年五月之カ實
地ヲ檢査スルニ六年十月鈴木某ハ國技館建設圖面並設計書ヲ提出スルト共ニ貸付地ノ一部ニ建物基礎掘ト覺シキ掘鑿ヲ
爲シタル儘放置セル狀況ニシテ林野二千四百六十四坪ハ總督府ニ於テモ國技館建設上必要ナキモノト認メ契約期間滿了後
返還スヘキコトヲ通知セシニ鈴木某ハ娛樂場、賣店等建設ノ爲契約全部ノ繼續ヲ願出テタルモ何等具體的ノ計畫アルニ非
ス六年十二月契約期間滿了セルニ拘ラス契約ノ繼續又ハ解除ノ處置ヲ講スルニ至ラサルノ狀況ナリ要スルニ本件ハ官有地
ノ貸付其ノ宜シキヲ得ス且貸付料金低廉ニ失スルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

前橋市鈴木留太郎ニ貸付シタル京城西四軒町所在田八百六十六坪五合及林野二、四六四坪ハ京城市外ニ於ケル唯一ノ公園地域獎忠壇敷地ノ一
部ナルカ國家トシテ單ニ收入ノ點ノミヲ主眼トセハ競爭入札ニ依リ之ヲ個人ニ拂下利用セシムル方有利ナラシムル其特殊地域ニ屬スル點ヨ
リ考察スレハ之ヲ個人ノ獨占ニ移サムヨリハ内鮮人等シク廣ク利用シ得ル公共的施設ヲ爲ス者ニ利用セシムル方公園設置ノ趣旨達成上ニ
モ有效ニシテ妥當ノ措置タルヘク而モ事業ノ性質ニ鑑ミ本件ハ會計法第三十一條第二項ニ該當スルモノト認メ隨意契約ニ依リ貸付シタル

モノナリ而シテ借受人カ未タ當初ノ計畫ニ順應シタル利用ヲ開始スルニ至ラサルハ中途ニ於テ事業ノ中心人物病歿シタルト財界ノ不況ニ災セラレ資金ノ調達ニ困難ヲ來シタルトニ基因スルモノナルカ借受人ハ此間何等收入ヲ擧ケ得サルニ拘ラス貸付料金ノ繼續納付ヲ爲セルハ勿論種々計畫ノ實現ニ腐心シ來レル事情ニ鑑ミ直ニ契約ノ解除ヲ行フハ酷ニ失スルモノト認メ具體的ノ實施計畫ヲ樹立セシメタル上契約期間經過後モ繼續貸付シ今日ニ推移セルモノナルカ其ノ後ノ實況ニ徴シ貸付地面積ノ縮少方ニ付借受人ト交渉中ナリ次ニ貸付料額算定ノ基礎價格ニ付テハ本件土地ハ市街ノ東南隅ニ偏在シ四圍ノ狀況其ノ他ニ照シ商業地ニ適セス利用價值自ラ局限セラレ且大部分ハ林野ナルヲ以テ相當整地費ヲ要スル等ノ事情ニ鑑ミ坪當六圓ト認定シタルモノニシテ其ノ利率ヲ二分五厘トセルハ一般民衆ノ利便ヲ目的トスル公共的意味ヲ有スル設備ヲ爲サントスルモノナルヲ以テ京城府内ニ於テ同種貸付地ニ一般ニ適用シ居レル右利率ヲ採用シタルモノニシテ本件ニ限り特段ノ取扱ヲ爲シタルモノニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 警告

(參照) ○會計規則(大正十一年一月九日)

第百十四條第一項 會計法第三十一條第二項ノ規定ニ依ルノ外左ニ掲グル場合ニ於テハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

六 豫定貸付料年額又ハ總額五百圓ヲ超エサル物件ノ貸付ヲ爲ストキ

○會計法(大正十年四月八日)

第三十一條第二項 國務大臣前項ノ方法ニ依リ契約ヲ爲スヲ不利ト認ムル場合ニ於テハ指名競争ニ付シ又ハ隨意契約ニ依ルコトヲ得但シ不動産賣拂ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

【報告】

(五七) 臺灣總督府ニ於テ昭和四年三月臺中州竹山郡竹山庄及鹿谷庄所在官有原野二千五百四十七甲餘ヲ臺灣官有森林原野及產物特別處分令ニ依リ竹林ト爲スヲ條件トシ成功期間ヲ二箇年成功後賣渡ヲ爲スコトヲ豫約シ所在兩庄ニ無償貸付セルモノアリ右豫約賣渡代金ハ鹿谷庄ノ分甲當成林價格八拾五圓七拾五錢ヨリ起業費七拾貳圓參拾四錢ヲ差引キタル拾參圓四拾壹錢ヲ又竹山庄ノ分ハ成林價格八拾六圓六拾六錢ヨリ起業費七拾貳圓九拾錢ヲ差引キタル拾參圓七拾六錢ヲ立竹價格ト豫定シ伐期年數三ニテ除シ之ヲ年利一割ニテ還元シタルモノノ五割ヲ以テ一般拂下地代金ト爲シ更ニ其ノ三割即チ鹿谷庄ノ分六圓八拾錢竹山庄ノ分六圓九拾錢ト爲セルモノナルモ該地ハ竹林トシテ從來地元民ニ對シ改良繁殖ヲ條件トシ一定

保管料ヲ納付セシメ使用ヲ許可シ來リタル成林地ナルヲ以テ之ヲ未成林地トシテ無償貸付シ且低廉ナル地代金ヲ以テ賣渡ヲ豫約スヘキモノニ非スト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

本地ハ元入會的關係ニ在リタルモノニシテ掠奪的ニ濫伐濫採セラレ保管許可後ト雖十分ナル改良行ハレス保管解除前數年ハ本地處分方針ニ付諸種ノ惡風説生シタル爲附近住民ハ事ノ真相ヲ察知シ得ス一層盛ニ濫伐シタル結果林相極度ニ荒廢シタルヲ以テ之カ改良繁殖ノ方法トシテ優良ナル母竹ヲ殘シ其ノ他ノ劣等無價值ノモノヲ除伐シ林相ノ改良ヲ圖リタルモノニシテ隨テ起業費ノ如キモ單ニ除伐手入費、事務費、旅費等ヲ見込ミ臺灣官有森林原野豫約賣渡規則ニ依リ賣渡ヲ豫約シタルモノナリ而シテ本島ニ於テハ曩ニ地方制度改正セラレ自治制度確立シタルヲ以テ當時市街庄ノ基本財産ハ本島自治團體發展上重要ナル關係ヲ有スルモノトシテ各市街庄ニ對シ努メテ基本財産ヲ造成セシムルコトトセリ然ルニ本保管竹林所在各庄財政ハ殊ニ貧弱ニシテ基本財産ノ造成ハ最緊要ナルニ拘ラス其ノ候補地トシテ他ニ適當ノ土地ナキヲ以テ從來地元民ニ於テ入會の特殊關係ヲ有セル本件竹林ハ其ノ整理上ヨリスルモ之ヲ地元庄ノ基本財産トスルハ機宜ニ適シタル措置ト認メ一般賣渡價格ノ三割ニテ賣渡ヲ許可シタルモノニシテ庄トシテハ右ノ趣旨ニ依リ基本財産ヲ造成シ地元小作人ニ對シ從來ノ緣故關係ヲ參酌シ適當ナル價格(甲當拾五圓拾五錢)ヲ以テ賣渡スコトト爲シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ本件ハ永年地元民ニ於テ改良繁殖ヲ條件トシテ保管シ來リタルモノニシテ庄ハ貸下ヲ受ケタル當初ヨリ甲當壹圓五拾錢ノ料金ヲ以テ小作ニ付セルノミナラス其ノ起業方法ニ依レハ本件竹林ハ大體林相ヲ成シ僅ニ二箇年ノ成功期間中單ニ優良母竹ヲ殘シ劣等竹及雜草木ヲ芟除シ新生筍ノ保護ヲ爲スモノニ係リ斯ル程度ノ林相ヲ具備セル本件竹林ヲ未成林地ト認メ豫約賣渡ノ方法ニ依リ無償貸付シ且著シク減額セル地代金ヲ以テ賣渡ヲ豫約シタルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス而シテ本件ハ竹山、鹿谷兩庄ノ基本財産造成ヲ目的トシテ賣渡シタルモノナルモ庄ハ直ニ之ヲ地元小作人ニ賃貸シ其ノ甲當小作料壹圓五拾錢ヲ積立テ買受後ハ實查面積(見込約四千甲)ニ依リ更ニ昭和九年迄賃貸シ右料金ヲ以テ官ノ賣渡代金ニ充當シタル後地元小作人ニ轉賣シ其ノ代金ノ全部ヲ基本財産ト爲スノ計畫ニシテ當初ヨリ竹林ノ轉賣

差益額ヲ以テ庄ノ財政ヲ裨補スルノ目的ニ出テタルモノト認メサルヲ得ス今假ニ地元小作人ニ對シ前掲甲當拾五圓餘ヲ以テ直接即賣スルモノトセハ地代金ノ差額鹿谷庄ノ分壹萬五千餘圓竹山庄ノ分五千餘圓ト爲ルノ計算ナリ要スルニ本件ハ名ヲ未成林地ノ造林ニ藉リ成林地ヲ無償貸付シ且低廉ナル地代金ヲ以テ賣渡ヲ豫約シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件竹林ハ海拔四百尺以上四千五百尺ノ急峻ナル山嶽地帯ニ在リ從テ住民ハ文化ノ風潮ニ遠カリ思想幼稚ニシテ營林ノ知識乏シク加フルニ放火放牧ヲ事トシ徒ラニ竹筍ヲ伐採スルノ慣習アリ曩年部分林トシテ改良増殖ヲ企リタルモ其ノ成績豫期ニ反シ却テ年次荒廢スルノ傾向ニアリタリ當時坪當十數本ノ立竹アリシト雖概ネ林相粗惡ニシテ品質劣等ナリシナリ依テ比較的優良ナル母竹三本ヲ殘シ他ヲ除伐シ毎年三本ノ新生筍ヲ増殖シ九本ノ優良竹ヲ得以テ根本的ニ竹林ヲ更新スルノ必要アリ

而シテ地元民ハ從來本地ニ對シ入會的ノ特殊緣故アリ林相ノ改良増殖ヲ圖ルニハ利害共通ノ庄ヲシテ之ニ當ラシムルヲ妥當且ツ有利ト認メ之カ實行ヲ條件トシテ關係庄ニ豫約賣渡シヲ爲シタルモノニシテ之ヲ成林地トシテ即賣ニ附センカ忽チ前載ヲ踏ミ益々林相ヲ惡化荒廢セシムルコト瞭カニシテ如斯ハ産業上將又國土保安上到底首肯シ能ハサル所ナリ又庄カ貸下ヲ受ケタル當初ヨリ甲當壹圓五拾錢ノ料金ヲ徵シテ小作ニ付セルハ造林施業ノ結果トシテ除伐竹材及筍ノ收穫ヲ得此ノ收穫ハ造林作業ノ勞費ヲ償フテ尙多少ノ餘裕アル見込ナリシヲ以テナリ

然ルニ會計検査院ハ貸下ケ當初ニ於ケル小作料ノ徵收母竹ノ殘存及成功期間ノ長短等ヲ以テ本地ヲ成林地ナリト推斷シ失當ノ措置ナリト批難スルト雖モ事實ハ前記ノ通りニシテ決シテ然ラス之ヲ未成林地トシテ處分シタルハ當然ニシテ毫モ失當ノ措置ナリト認ムヘキモノニアラスト信ス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 警告

(參照) ○臺灣官有森林原野及產物特別處分令(明治二十九年九月二十三日) 勅令第三百一十一號

第一條 臺灣總督ハ左ノ場合ニ限リ官有森林原野及其ノ產物ヲ競争ニ付セス隨意ノ契約ヲ以テ貸渡シ又ハ賣渡スコトヲ得

四 植樹ノ爲メ森林原野ヲ貸渡シ若クハ賣渡スコトキ

但森林原野ヲ賣渡スニハ其ノ買受豫約人ニ於テ豫定ノ事業ヲ成功シタル後ニ限ル

○臺灣官有森林原野豫約賣渡規則(明治四十四年九月六日) 臺灣總督府令第六十四號

第一條 臺灣官有森林原野及產物特別處分令第一條第二號及第四號ニ依リ開墾、牧畜又ハ植樹ノ爲メ森林原野ヲ賣渡スコトキハ總テ豫約賣渡ノ方法ニ依ル

豫算超過及豫算外支出

昭和六年度總決算歳出及各特別會計決算歳出中豫算超過及豫算外支出ニシテ未タ帝國議會ノ承諾ヲ受クルニ至ラサルモノ左ノ如シ

所管	第一豫備金		第二豫備金		豫備金外	
	金額	國庫剩餘金	金額	國庫剩餘金	臨時支出	臨時收入
外務省所管	五三九、三四七	一、二二九、六四二		三四八、〇七四	四、四四〇、二五六	
內務省所管	四一八、四三九	二五三、五三六		一、九五九、一五六		
大藏省所管	四八五、〇八五					四五、五〇九、一六八
陸軍省所管	二二一、〇二二	五、七〇二、六八七				一九、七六六、九三四
海軍省所管	一六七、六四六	八〇二、六四七				
司法省所管	三三三、四〇二			五六三、九〇九		
文部省所管	一一、二三二					
農林省所管	五九六、七一四					
工商省所管	六八、〇二九	一一、四八八				
逓信省所管	三、一三九、〇八四	八、〇〇〇、〇〇〇		三、一一〇、〇六一		
計	六、〇〇〇、〇〇〇			五、九九一、二〇〇		六九、七二六、三五八

特別會計	健康保險	大藏省所管	公債	海軍省所管	海軍火藥廠	文部省所管	帝國大學	官立大學	遞信省所管	簡易生命保險	郵便年金	拓務省所管	朝鮮總督府	朝鮮簡易生命保險	臺灣總督府	關東廳	樺太廳	南洋廳
	三五、〇〇〇									一、一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	五三六、二〇五	三、〇二五	一五五、九六〇	九九、六〇四	六〇、〇〇〇	二、九九二	
												三二二、四〇〇	一、〇一五、三四三	一五〇、〇〇〇	三五、〇〇〇	六、七六九		
														四四八、八八一				
										一三、八〇九、二五四	二六八、二二二							
		二四、〇六三、二一九			三三六、六四七		三三二、五八〇	五七、四二〇										

既
往
年
度

既往年度

目次

既往年度未確定金額ノ検査確定	九九四
豫算及法律勅令違背ノ事項	九九
昭和二年度	〇〇
一般會計	〇〇
歳入	〇〇
昭和四年度	〇〇
一般會計	〇〇
歳入	〇〇
昭和五年度	〇一
一般會計	〇二
歳入	〇二
特別會計	〇五
大藏省所管	〇五
專賣局	〇五
歳出	〇五
國有財産整理資金	〇九

歳入.....	一〇九
拓務省所管.....	一一三
臺灣總督府.....	一一三
歳入.....	一一三
樺太廳.....	一一五
歳入.....	一二五

既往年度未確定金額ノ検査確定

既往年度歳入歳出總決算及各特別會計歳入歳出決算額中検査未確定ニ屬セシモノノ内爾後検査確定ニ至リシモノ別表第三號表及第四號表ノ如シ

右ノ外國債ニ關ル計算中昭和四年法律第五十二號(製鹽地整理ニ關スル件)ニ依リ五年度中交付ノ爲發行セル五分利公債額面六拾貳萬貳千九百貳拾五圓ハ之ヲ検査確定セリ

豫算及法律勅令違背ノ事項

既往年度歳入ノ賦課徴收ニ於テ	五一、〇六〇〇三〇
租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ九件	六、八四五四〇〇
租税ノ賦課徴收ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件	二、五九七六四〇
租税ノ徴收過ニ屬スルモノ一件	一八六、〇〇五九二〇
土地ノ賣拂ニ關シ法令ニ違背シタルモノ一件	二八、〇〇〇〇〇〇
土地ノ賣拂ニ當リ價格ノ評定其ノ宜シキヲ得サルモノ一件	七、八八〇六六〇
土地ノ豫約賣渡其ノ宜シキヲ得サルモノ一件	二八二、三八九六五〇
合計十四件	一八〇、〇三七九七〇
同歳出ノ使用ニ於テ	四四、一六七三八二
鹽包裝ノ請負單價決定其ノ宜シキヲ得サルモノ一件	二二四、二〇五三五二
鹽ノ賣渡ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件	
合計二件	

ナリ

既往年度

既往昭和二年度 歳入 (五八)

昭和二年度

歳入

租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ一件(五八)

一般會計

歳入經常部

第一款 租税 第一項 所得税

【報告】 (五八) 永代橋稅務署ニ於テ徴收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ東京市日本橋區林某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ箱根土地株式會社ヨリ受ケタル貸金利子貳萬九千參百四拾壹圓ヲ脱漏シタルト 昭和元 大正十五年分所得額決定ニ當リ脱漏シタル同會社ヨリ受ケタル貸金利子六千六百五拾九圓ヲ所得稅法第二十六條第二項ニ依リ本年度ニ於テ追加決定スヘキモノナルニ之ヲ爲ササリシ等ニ因ルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ昭和三年度ニ於テ更正濟

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

(參照) ○所得稅法第二十六條第二項(二三頁參看)

昭和四年度

歳入

租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ二件(五九)

一般會計

歳入經常部

第一款 租税 第一項 所得税

【報告】 (五九) 彦根稅務署ニ於テ徴收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ滋賀縣高宮町北川某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ配當所得六萬千圓給料貳千五百參拾五圓賞與貳千六百四拾圓其ノ他八拾七圓合計六萬六千貳百六拾貳圓ハ之ヲ當署ニ於テ綜合決定スヘキモノナルニ誤テ西宮稅務署ニ於テ分離決定シタルニ因ルモノニシテ同署ノ決定稅額八千六百餘圓ヲ差引キ四千百餘圓ノ減差ヲ來セルモノナリ

上京稅務署ニ於テ徴收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ京都市中京區隅田某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ京都瓦斯株式會社ヨリ受ケタル賞與ノ性質ヲ有スル給與三年上期分七千九百五拾四圓及下期分八千四百圓ニ付下京稅務署ニ於テ通報ヲ誤リシ爲之ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ本人ニ於テ追加申告ヲ肯セサル爲稅金徴收ノ途ナキモノノ外昭和六年度ニ於テ更正濟

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

昭和五年度

歳入

租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ六件(六一)(六七)(六八)

租税ノ賦課徴收ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(六〇)

租税ノ徴收過ニ屬スルモノ一件(六一)

土地ノ賣拂ニ關シ法令ニ違背シタルモノ一件(六二)

土地ノ賣拂ニ當リ價格ノ評定其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(六五)

土地ノ豫約賣渡其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(六六)

合計十一件

既往昭和四年度 歳入 (五九)

七、四三六^円八六〇

七、四三六^円八二〇

一五、二二四^円九八〇

二二、七四八^円六〇〇

二、四七六^円三八〇

一八、三九八^円二三〇

六、八四五^円四〇〇

二、五九七^円六四〇

一八六、〇〇五^円九二〇

二八、〇〇〇^円〇〇〇

七、八八〇^円六六〇

二五九、七二七^円八五〇

既往昭和五年度 歳入 (六〇)

歳出

鹽包裝ノ請負單價決定其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(六三)

鹽ノ賣渡ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(六四)

合計二件

一般會計

歳入經常部

第一款 租 稅 第二項 所得稅

【報告】(六〇) 本項ニ於テ大田原稅務署ノ徵收ニ係ル

第三項營業收益稅ニ於テ同署ノ徵收ニ係ル

ハ那須溫泉土地株式會社 自昭和三年十二月 事業年度ニ對スル稅額ナリ右ハ會社ノ所得額及營業純益額ヲ決定スルニ當リ經營地全部ニ對シ施工セル工事費參萬貳千餘圓及經營地内廣場、道路、側溝等ノ用地四千四百餘坪ノ代價壹萬貳千餘圓ヲ當期ノ損金ト計算セルモノナルモ會社カ當期ニ於テ賣却セルハ經營地三萬三千餘坪中九千餘坪ニ過キサルヲ以テ此等經費ノ全額ヲ當期損金ト爲スヘキモノニ非スト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

本件ハ所有土地全部ニ對スル施工費ニシテ殘存土地ニ對スル資本的支出ナリト認メラルモノヲモ包含シ之ヲ賣却地ト殘存土地トニ按分スヘキカ如クナルモ當社所有ノ經營地ハ其ノ現狀山林原野等ニシテ溪流ニ沿ヒ低地ト高地トハ約二百尺ノ高低ヲ有シ北ヨリ南ニ傾斜セル地域ニシテ別莊地トシテ各區劃ニ良否ノ等差アリ一律ノ評價ヲ爲スノ困難ナル事情ニ在リ而シテ當期ニ於テ分讓シタル土地ハ讓受人ノ選擇ニ依リ優良地ト目セラルヘキ部分ヲ賣却シタルモノト謂ヒ得ヘク殘地ハ賣却地ニ比シ概ネ地位不良ナル山林原野等ニシテ特ニ本件施設ノ爲價値ノ増加シタルコトヲ認メラレヌ而モ將來賣却スルトスルモ之ニ要スル費用ハ既賣却地ニ比シ著シク増大スルコトヲ豫想セラルルノ事情ニ在ルヲ以テ會社ニ

1011

一八〇、〇三七九七〇

四四、一六七三八二

二二四、二〇五三五二

五、三八〇六四〇

一、四六四七六〇

【辯明】

於テハ前記施工費全額ヲ損金ニ計上シタルモノニシテ之ヲ所得計算上ヨリ觀ルモ弊害ナシト認メ是認シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ本件ハ會社經營地全部ノ利用ニ供セラルヘキ架橋、道路等ノ施工ニ要シタル支出及用地代等ナルヲ以テ其ノ經營地ニ對スル原價構成ノ要素タルハ論ヲ竣タサルモノナルニ之カ爲殘存土地ノ價値増加セスト爲シ經營地一部ノ分讓アリタルニ對シ本件支出及用地代ノ全額ヲ當期ノ損金トセル會社計算ヲ是認スルカ如キハ妥當ナル措置ト謂フヲ得ス又未處分土地ニ對スル將來ノ支出カ賣却土地ニ比シ著シク増大スルコトヲ豫想セラルルヲ以テ損金計算ヲ是認セリト謂フト雖當期ニ於ケル分讓地賣却代ハ坪當拾七圓餘ナルニ次期ニ於テ賣却セル四千七百餘坪ハ坪當拾四圓餘ニシテ幾分ノ低下ナキニ非サルモ分讓地專屬經費ハ當期分坪當四圓貳錢次期分四圓拾參錢ニシテ大差ナキ狀況ナリ假ニ本件共通施設ノ經費ヲ賣却地ト殘存地トニ配分(當期及次期賣却地ト殘存地トノ坪當經費負擔ヲ二一ノ割合トス)計算スルトキハ坪當壹圓參拾參錢ヲ期末殘存地記帳價格貳圓九拾錢ニ加フルコトト爲リ隨テ會社ノ損金ハ貳萬六千餘圓ヲ減少シ所得稅ニ於テ六千五百餘圓營業收益稅ニ於テ九百餘圓ノ差増ヲ來スノ計算ナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【報告】

本件ハ會社カ當期ノ損金ニ計上シタル工事費其ノ他ノ支出カ殘存土地(未賣却地)ノ原價ヲ構成シタリト認メラルルヤ否ノ事實問題ナリ會社計檢査院ハ之ヲ會社經營地ノ全部ニ對スル利用増進ノ爲ノ支出ナルカ故ニ殘存土地ニ付テモ原價構成ノ要素タルコト明瞭ナリト論スレトモ稅務官廳ニ於テ調査シタル所ニ依レハ殘存セル會社經營地ハ現狀山林、原野等ニシテ而モ急勾配ノ部分多ク之ヲ分讓地ト爲スニハ尙多額ノ經費ヲ必要トスルノ現況ニ在リテ該支出ニ因リ殘存土地ノ價格ヲ増加セシメタリトスルノ事實ナク從テ之ヲ原價構成ノ爲ノ支出ナリトハ認ムルヲ得サリシモノナリ然レハ該支出ヲ損金ニ計上セル會社計算ヲ是認シタル本件課稅決定ハ其ノ取扱ニ於テ何等不當ノ點ナシト認ム

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 警告

【報告】

(六一) 石卷稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ宮城縣桃生郡前谷地村齋藤某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ齋藤株式會社ヨリ受ケタル賞與ノ性質ヲ有スル給與壹萬參千五百四拾圓ヲ脱漏シタルト昭和四年分所得額決定ニ當リ脱漏シタル同給與八千八百圓ヲ所得稅法第二十六條第二項ニ
既往昭和五年度 歳入 (六一)

三、七六一九三〇

1013

依り本年度ニ於テ追加決定スヘキモノナルニ之ヲ爲ササリシトニ因ルモノナリ
茨木稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

三、四七五、一六〇

アリ右ハ大阪府池田町小林某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ第一生命保險相互會社外一會社ヨリ受ケタル報酬貳千圓賞與千七拾九圓ヲ脱漏シタルト昭和四年分所得額ヲ決定スルニ當リ脱漏シタル第一生命保險相互會社報酬千五百圓賞與壹萬貳千圓ヲ所得稅法第二十六條第二項ニ依り本年度ニ於テ追加決定スヘキモノナルニ之ヲ爲ササリシトニ因ルモノナリ
淀橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

三、二七九、三二〇

アリ右ハ東京府澁谷町徳川某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ使用人名義ト爲シタル株式ニ對シ調査不十分ナリシカ爲日本興業銀行外七會社ヨリ受ケタル配當所得等壹萬六百貳拾九圓ヲ脱漏シタルト昭和四年分所得額決定ニ當リ脱漏シタル日本興業銀行外五會社ヨリ受ケタル配當所得七千九拾四圓ヲ所得稅法第二十六條第二項ニ依り本年度ニ於テ追加決定スヘキモノナルニ之ヲ爲ササリシトニ因ルモノナリ

二、九八二、八〇〇

上京稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ京都市中京區隅田某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ京都瓦斯株式會社ヨリ受ケタル賞與ノ性質ヲ有スル給與四年上期分九千五百拾九圓及下期分九千五圓ニ付下京稅務署ニ於テ通報ヲ誤リシ爲之ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ

二、二六〇、二四〇

本項ニ於テ神戸稅務署ノ徵收過ニ屬スルモノ
第三項營業收益稅ニ於テ同署ノ徵收過ニ屬スルモノ

三、三二七、四〇〇

アリ右ハ神戸市竹田某ノ所得額及營業純益額ヲ決定スルニ當リ煙草元賣捌業ノ收入金及所得率ヲ誤り收入六百九拾八萬九千九百七拾五圓ヲ七百參拾萬圓ニ所得及純益各貳萬七千九百五拾九圓ヲ四萬圓ト爲シタルニ因ルモノナリ
右ハ孰モ取扱ノ過誤ニ因リ徵收上過不足ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ本人ニ於テ追加申告ヲ肯セサル爲税金徵收ノ途ナキモノノ外昭和六年度ニ於テ更正濟

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

(參照) ○所得稅法第二十六條第二項(二三頁參看)

第三款 官業及官有財産收入 第二項 森林收入

【報告】 (六一) 北海道廳石狩支廳外五箇所ノ徵收ニ係ル

一八六、〇〇五、九二〇

ハ北海道國有未開地處分法第二條後段ニ依リ賣拂ヒタル市街宅地雜用地等四十九町六段餘此ノ代金拾九萬八千五百拾六圓四拾錢ノ内ニシテ壹萬貳千五百拾圓四拾八錢ハ收入未濟ニ屬スルモノナリ右ハ本検査報告昭和六年度ノ部ニ詳悉セシ如ク事實上開懇セラレタル市街宅地等ニ對シ北海道國有未開地處分法ヲ適用シ之ヲ未開地トシテ處分シタルモノニシテ不當ナリトス(一五頁(六)參看)

【辨明】 處分土地ノ未開地ナリヤ否ノ認定ハ當局ニ於テハ現況ノ既墾地タルト否トニ依リテノミ定ムヘキモノニ非ス拓殖乃至土地整理ノ必要上ヨリ廣ク解スヘキモノトシ多年實行シ來リタルモノナレハ本件處分土地ノ場合ニ於テモ北海道國有未開地處分法ニ依ルヲ妥當ト認メ處分シタルモノナリ然レトモ北海道國有未開地處分法ト國有財産法トノ關係ニ付テハ相當考究ノ要アリト認メ尙調査中ナリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 注意

(參照) ○北海道國有未開地處分法第二條及第二十一條(一七頁參看)

特別會計

大藏省所管

專賣局

歳出

第一款 專賣局作業費 第二項 事業費

【報告】 (六三) 東京地方專賣局ノ支出ニ係ル

一八〇、〇三七、九七〇

既往昭和五年度 歳入 (六二) 專賣局 (六三)

昭和五年四月同局及横濱出張所ニ於テ隨意契約ニ依リ大日本鹽業株式會社ノ請負ニ付シタル移輸入鹽百斤入込包裝出來高五十六萬千七百二十五包ニ對スル料金ナリ右契約單價八十包當横掛繩二箇所分參圓拾九錢同一箇所分參圓拾八錢ニシテ著シク高價ナルノミナラス本契約單價八年度内包裝材料品ノ市價ニ著シキ變動ヲ生シタルトキハ請負單價ノ改定ヲ爲スヘキ約款アルモノニシテ契約締結後ハ價格ハ漸次低落シ同年九月以降著シキ下落ヲ示セルヲ以テ同年度下半年分ニ付テハ相當單價ノ引下ヲ爲スヲ妥當ト認メラルルニ何等改定ヲ爲サザリシ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

五年度契約當初ニ於ケル坂出海岸渡百斤入鹽込ノ相場ハ前年度ニ於ケル鹽ノ生産頗ル良好ナリシ影響ヲ受ケ幾分先高ノ氣構ヘアリテ十包當壹圓四拾錢内外ナリシモ坂出局回答ニ係ル向フ一箇年間ノ豫想タル壹圓參拾五錢乃至壹圓拾五錢ノ平均壹圓貳拾五錢ヲ適當ト認メ基準ト爲シタルモノナリ此ノ間ハ肥料ノ騰貴ニ遭ヒ多少ノ動搖ヲ來シタレトモ製鹽ノ不況ノ爲幾モナク舊態ニ復シ下半年ニ至リテ逐日下降ノ經路ヲ辿リタリト雖當局ノ基準價格ハ契約當時ノ相場ニ對シ一割二分ヲ低下セシメタルモノナルヲ以テ最高三割六分ノ下落アリタリトスルモノ二割四分迄ノ値下リハ差引シテ損失ナシト謂フヘク隨テ請負單價ノ引下ヲ爲サザリシ次第ナリ

ト謂フニ在リ然レトモハ同年度中ニ於ケル坂出町海岸渡相場ハ一般物價ノ下落ト製鹽不振ノ影響ニ依リ年度初頭ニ比シ漸次低落シ之ヲ本契約ノ基準價格壹圓貳拾五錢ニ對比スルニ五年十月以降各月ニ於テ二割五分乃至四割七分ノ下落ヲ示セルノミナラス現ニ同地方生産ニ係ル鹽込ノ高崎地方專賣局新潟出張所外四移輸入鹽取扱官署ニ於テ購入セル價格ハ年度初頭ノ分壹圓五拾錢内外ナリシニ十月以降ノ分平均九拾壹錢餘乃至壹圓貳拾錢餘ナルニ徴シ年度末迄當初ノ契約單價ヲ其ノ儘据置キタルハ妥當ノ措置ト認ムルヲ得ス當局者ハ五年度契約當初ニ於ケル坂出町海岸渡ノ相場ハ壹圓四拾錢内外ニシテ先高ノ氣構ヘアリ本件ノ基準價格ハ契約當時ノ相場ニ對シ一割二分ヲ低下セシメタルヲ以テ市價下落スルモ差引シテ損失ナク又四年度ニ於テ契約當時ニ比シ市價騰貴セシモ請負單價ノ引上ヲ爲サザリシモノナルニ依リ五年度ニ在リテモ市價下落ノ故ヲ以テ請負單價ノ引下ヲ爲スハ穩當ナラスト謂フト雖五年二月坂出地方專賣局ノ調査ニ依レハ目下ニ於テハ海岸渡壹

圓貳拾錢見當ニテ幾分弱氣ヲ含メル狀態ナリトアリ且三、四月ハ壹圓拾七錢ト爲レルモノナルヲ以テ基準價格ハ之ヨリ幾分低下セシムルヲ相當トスルニ却テ高價ニ決定セルモノニシテ四年度ニ於テモ當局決定價格ト坂出海岸渡相場トヲ全年度ヲ通シ比較スルトキハ一割二分餘高價ナルノ狀況ニシテ答辯ノ事由ハ之ヲ認ムルヲ得ス要スルニ本件ハ鹽包裝請負單價ノ決定其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

會計検査院ノ検査報告ハ鹽包裝材料ノ一部タル込ノ價格ニ付テ批難セルモノナルモ本件鹽包裝契約ハ込代ノ外其ノ運賃諸掛、包装人夫費其ノ他諸費ヲ一括十包當參圓拾九錢及參圓拾八錢ヲ以テ單價契約ヲ締結セルモノニシテ右契約單價ニ對スル込ノ値下リ參拾錢八厘(當局ノ基準トシタル込代壹圓貳拾五錢ト一ケ年度ヲ通シタル實際ノ市價平均九拾四錢貳厘トノ差)ハ僅カニ九分餘ノ減、其ノ最モ下落シタル場合ニ於テモ一割八分内外ノ減差ニ過キサルモノニシテ未タ此ノ程度ヲ以テ契約ニ所謂市價ニ著シキ下落ヲ生シタルモノトシテ單價ノ引下ケヲナサシムルコトヲ得サルモノト思考ス加之込ノ價格ハ專ラ天候關係ニ支配セラルル鹽生産高ノ豐凶其他ニヨリ騰落常ナラス且ツ込ノ主産地カ遠ク香川縣方面ナルノ關係モアリ之レカ市價ノ趨勢ヲ知悉スルハ極メテ困難ナル實情ニアリ殊ニ六年二、三月即チ契約満了期ニ迫リ最モ下落シタル關係(現品ハ契約ニ基キ請負人ニ於テ常時相當數量ノ準備貯藏ヲ要スルニ依リ直ニ低落品ノ使用不可能ナリ)ノ爲契約單價改定ヲ爲サザリシモノナルモ結果ヨリ觀テ多少遺憾ノ點ナシトセス將來一層ノ留意ヲ爲スヘシ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】

(六四) 大阪地方專賣局ノ支出ニ係ル

四四、一六七三、八二四

大阪市港區入江某ノ請負ニ付シ内地收納二等鹽ヲ更裝セシメタル出來高五十斤入込二十四萬八千七百十六包ニ對スル料金ナリ右ハ昭和三年度中回送受入ニ係ル三千八百六十萬斤ノ内貯藏ノ爲込ノ汚損甚シク販賣ニ適セストシ更裝シタルモノニシテ四年度ニ於テモ參萬四千餘圓ヲ以テ十六萬餘包ヲ更裝シタルモノアリ然ルニ四年度ニ於テハ同等鹽二千七百六萬餘斤ノ回送受入ヲ爲シタルモノアルヲ以テ四、五兩年度ノ該鹽拂出ニ當リ三年度受入鹽中更裝ヲ要スルモノハ其ノ儘貯藏シ四年度受入鹽ヲ拂出スニ於テハ此ノ如ク多量ノ更裝ヲ要セザリシモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

既往昭和五年度

專賣局 (六四)

舊賠償價格ニ依ル受入鹽ヨリ順次拂出ヲ爲シ其ノ拂切ト爲リタル後ニ於テ新賠償價格ニ依ル受入鹽ヲ拂出スヘキ專賣局ノ方針ニ基キ回送受入順ニ賣拂ヲ爲シタルモノニシテ五年度中更裝ヲ爲シタル二等鹽ハ孰モ回送受入ヲ爲シタル當時既ニ多少ハ苦汁滲出シ居リ殊ニ賣渡ノ當時ハハハ汚損甚シカリシト一面五年度賣渡ノ三等鹽ハ大部分新規收納鹽ニシテ外裝二等鹽ノ貯藏鹽ニ優ル状態ナルヲ以テ下級品タル三等賣渡鹽トノ權衡上更裝ヲ爲ササレハ到底販賣ニ供シ難ク已ムヲ得ス更裝ヲ爲シタルモノナリ

ト謂フニ在リ然レトモ二等鹽ハ二年度ヨリ持越シタルモノ四百五十五萬餘斤三年度四月ヨリ十月ニ至ル間ニ於テ回送受入レタルモノ三千八百六十萬斤ニシテ内千二百四十一萬餘斤ヲ賣渡シ差引三千四十四萬餘斤ヲ四年度ニ持越シタルモノニ係リ之ヲ賣渡高ニ對比スルトキハ二箇年分以上ニ當リ同年度ニ於テ更ニ二千七百六萬餘斤ヲ受入レタルニ販賣上強ヒテ受入ノ順序ニ隨ヒ拂出ヲ爲シタルカ爲四年度受入分ハ殆ト全部六年度以後ニ賣拂フノ外ナキニ至リタルモノニシテ三年度受入鹽ニ付四、五兩年度ヲ通シ更裝費七萬八千餘圓ヲ支出シ更ニ四年度受入鹽ニ對シ六年度以降ニ於テ更裝費六萬七千餘圓ヲ要セルカ如キハ失當ノ措置ト認メサルヲ得ス今四、五兩年度ニ於テ三年度受入鹽ノ内販賣ニ適スルモノ及四年度受入鹽ヲ拂出シ汚損甚シキ三年度受入鹽ハ其ノ儘貯藏シ六年度以降ノ拂出ニ充當スルモノトセハ結局四年度受入鹽ニ對スル更裝費六萬七千餘圓ノ大部分ハ之ヲ節約シ得ルノ計算ナリ要スルニ本件ハ鹽ノ賣渡ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ不利ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 近年賠償價格ハ毎年引下ヲ行ヒ來リシカ其ノ品質ニ至リテハ官民相互ノ努力ニ基ク製鹽方法ノ進歩改善ニ依リ新規收納ノモノ程水分ノ含有量少ナク從テ夫レ丈長期貯藏ニ堪ヘ貯藏中ニ於ケル自然減量、品質低下、包裝汚染ノ程度輕微ニ止マルヘキ見込ナルト又各年末ニ於ケル收納鹽現在高ハ約六億二千萬斤乃至七億千萬斤ニ上リ賠償價格引下ニ依ル差減額即値下リ額ハ相當巨額ニ達シ據置運轉資本經理上資本整理ニ屬スル物品ノ保有價格ハ可及的減少ニ努ムルヲ要スル情況ニアルニ鑑ミ舊賠償價格鹽ノ拂出ヲ先順位ト爲ス方針ヲ採リタル次第ニシテ事情已ムヲ得サリシモノナリ而シテ昭和三、四年度ニ於テ大阪地方專賣局ニ對シ多額ノ回送ヲ行ヒタルハ兩年度ノ生産殊ニ其ノ各製鹽最盛期ニ於ケル作柄著シク豐饒ヲ告ケ收納高特ニ多大ナルニ收納官署ハ固ヨリ東京、大阪以外ノ販賣官署ハ倉庫ニ收容餘力ナクサリト

テ産地ノ收納ヲ停止スルコトハ制度上不可能ナリシヲ以テ産地ニ近キ大消費地ナル大阪ニ回送シ收納ノ安全ヲ期シタルモノナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

國有財産整理資金

歳入

第一款 國有財産整理資金收入 第一項 國有財産賣拂代

【報告】

(六五) 札幌稅務監督局ノ徵收ニ係ル

一八、〇〇〇、〇〇〇

ハ昭和六年三月函館市沙見町及曙町所在元函館控訴院官舎敷地ノ一部千三百九十九坪餘(帳簿面積千四百五十八坪餘)ヲ社團法人日本放送協會ニ隨意契約ヲ以テ賣拂ヒタル代價ナリ右賣拂價格評定ノ基礎ハ土地面積大ナルヲ以テ之ヲ區劃シ甲地(南部坂通ニ面セル帳簿面積四百五十一坪餘)ハ同町三十二番ノ甲賃貸價格四十五級壹圓貳拾錢ヲ比準地トシ五分還元ニ依リ計算シタル時價貳拾四圓ニ對シ地位品價格稍優レタルヲ以テ二割五分ヲ昂上シタル參拾圓トシ乙地(二十間坂ニ面セル四百九十坪餘)ハ道路急坂ニシテ甲地ニ比シ利用價值著シク劣レルヲ以テ前記比準地ヨリ約一割ヲ低下シ貳拾貳圓丙地(乙地ノ上段ニ位スル百二十五坪餘)ハ元町七十二番ノ一賃貸價格三十九級六拾錢ヲ比準地トシ五分還元ニ依リ計算シタル拾貳圓ノ約二割高拾四圓餘ノ部分(石垣土留及之カ維持ニ必要ナル三百九十坪餘)ハ舟見町百四十八番ヲ比準地トシ彼此勘案ノ上四圓トシ結局平均實測坪當ハ拾九圓七拾六錢強ト爲ルヲ以テ申請人ノ申出價格坪當貳拾圓壹錢ヲ採用セルモノナルモ右比準地ハ廉價ナル遠隔ノ土地ニシテ適當ナル比準トスルニ足ラス寧ロ甲地ニ對シテハ道路ヲ隔テタル沙見町六番ノ甲(賃貸價格五十五級參圓參拾錢)乙地ニ對シテハ元町六十一番(賃貸價格五十四級參圓)丙地ニ對シテハ元町六十二番ノ甲(賃貸價格四十九級貳圓)ヲ標準地トシ評定スルヲ妥當ト認メ之ニ關シ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

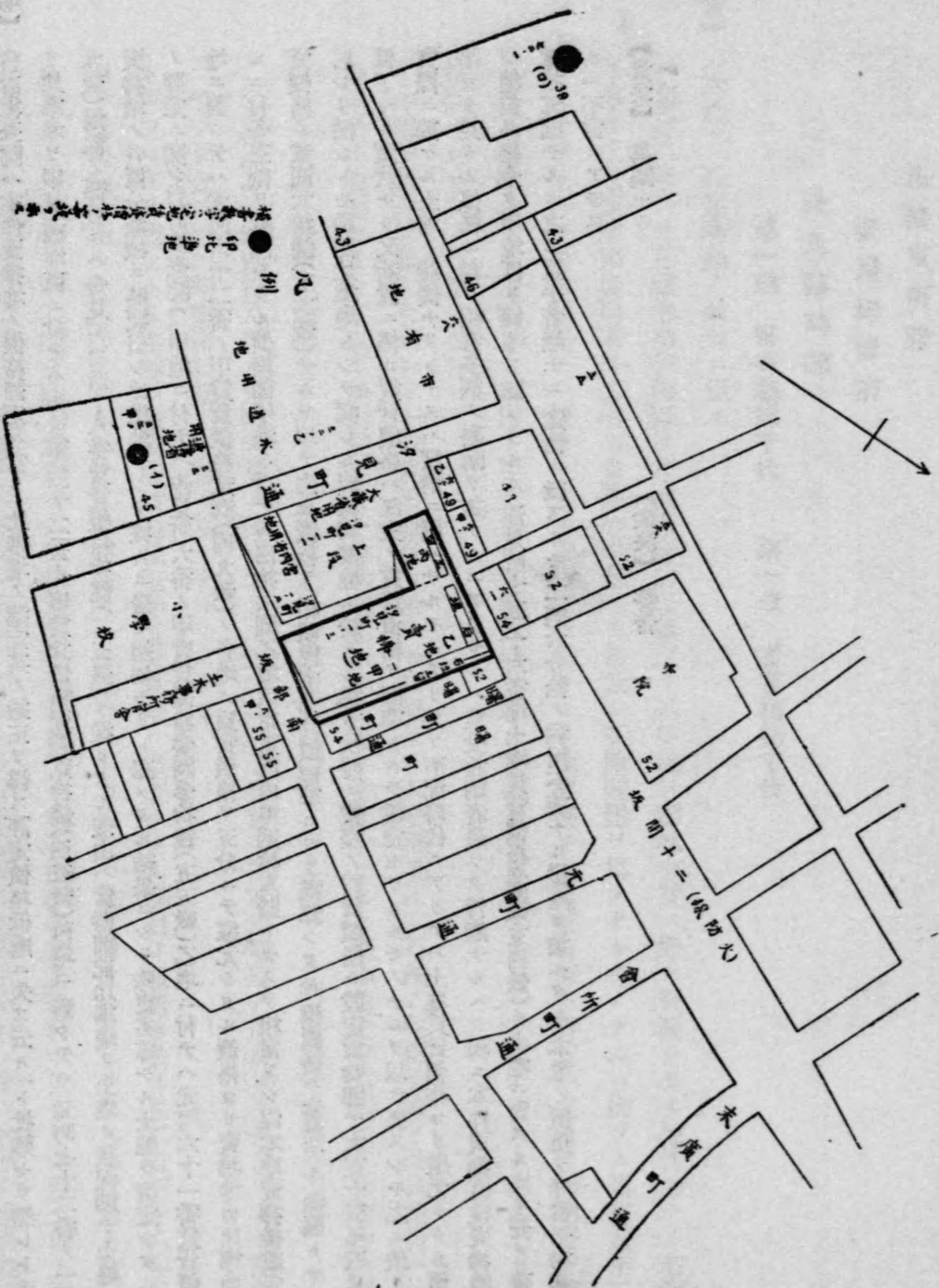
沙見町六番ノ甲ハ地盤低ク道路面ヨリノ高其ノ基礎石ヨリ十四尺石垣土羽留等堅固ニシテ利用上有利ナルニ反シ賣拂地甲地域ハ地盤高ク基礎石ヨリ二十五尺アリテ之カ土留石垣及土羽留等ニ相當法敷ヲ要シ隨テ實用ニ供シ難キ閑地多ク且

既往昭和五年度

國有財産整理資金 (六五)

石垣及土羽留ハ所破壊シ地位甚シキ懸隔アリ元町六十一番八角地ニシテ其ノ地盤道路面ヨリ約二尺高ク利用上便ナリ
同町六十二番ノ甲ハ奥行僅ニ五間ニシテ地盤道路面ヨリ五尺高ク利用上便利ナルニ反シ丙地域ハ其ノ地盤道路面ヨリ六
尺上段地ヨリ十八尺低ク穴狀ノ土地ニシテ其ノ地位品格ニ甚シキ懸隔アリ

ト謂フニ在リ然レトモ六年七月之カ實地ヲ検査スルニ其ノ現況ニ鑑ミ比準地トシテ隣接地ヲ排シ特ニ劣等ノ地位ニ在ル遠
隔ノ土地ヲ選定セルハ評價ノ適正ヲ得タルモノト謂フヲ得ス而シテ賣渡地中土留石垣及法敷竝之カ維持ニ必要ナル部分ヲ
總面積ノ二割強ト見込ミ之ヲ除外評價スルニ於テハ爾餘ノ甲乙丙ノ三地域ハ其ノ地位品格ニ於テ夫夫隣接地タル沙見町六
番ノ甲及元町六十一番同六十二番ノ甲ニ比シ著シキ懸隔アルモノト認メ難シ假ニ面積ノ廣大ナル點ヲ併セ若干ノ斟酌ヲ加
フルノ要アリトスルモ右隣接地ニ比シ三割程度ノ低減ニテ足ルモノト認メラルルニ依リ此等隣接地ノ賃貸價格ヲ五分ヲ以
テ還元シ其ノ七割ヲ以テ時價ヲ推定スルトキハ甲地四拾六圓餘乙地四拾貳圓丙地貳拾八圓總價格四萬四千餘圓ト爲リ又本
地拂下後設定セラレタル宅地賃貸價格ノ等級ハ五十二級ナルヲ以テ之カ價格ヲ相續稅宅地時價標準ニ依リ推算スルトキハ
參萬六千餘圓ト爲ルノ計算ナリ要スルニ本件ハ土地ノ賣拂ニ當リ價格ノ評定其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモ
ノニシテ不當ナリトス



参照 函館市沙見町賣拂地附近略圖

【辨明】會計検査院ハ本件賣拂地ノ價格評定ニ當リ「比準地ノ選定其ノ適正ヲ得ス評定價格低廉ニ失ス云々」ト批難セリ然レトモ本件土地賣拂ニ當リ比準地ヲ甲、乙兩地區ニ付テハ、汐見町三十二番ノ甲貨貸價格壹圓貳拾錢(四五級)丙地ニ對シテハ、元町七十二番ノ一貨貸價格六拾錢(三九級)爾餘ノ部分ニハ、舟見町百四十八番貨貸價格拾錢(二五級)ヲ採リタル理由ハ、當時前記比準地ノ土地ノ狀況即チ土地ノ品格、利用價值等賣拂地ノ各區分地域ニ略類似シ比準地トシテ採ルニ最モ適切ナリト認メタル結果ニシテ殊更劣等ナル土地ヲ選定シタルモノニアラス價格ノ評定ニ關シ會計検査院ハ「甲地ニ付テハ、汐見町六番ノ甲貨貸價格參圓參拾錢(五五級)乙地ニ付テハ、元町六十一番貨貸價格參圓(五四級)丙地ニ對シテハ、元町六十二番ノ甲貨貸價格貳圓(四九級)ノ各地ノ貨貸價格ヲ五分ニテ還元シタル價格ヨリ賣拂地カ比準地ニ比シ面積廣大ナルニ付各三割ヲ低減シタル價格即甲地ニ付テハ、四拾六圓乙地四拾貳圓丙地貳拾八圓トナスヲ相當トシ尙本地賣拂後設定セラレタル土地貨貸價格ハ貳圓六拾錢(五二級)ナルヲ以テ之カ價格ヲ相續稅宅地時價標準ニヨリ推算シタル總價格ハ參萬六千餘圓トナル計算ナリ」ト認メ居レリ然レトモ前記比準地トシテ採レル賣拂隣接地ニ於ケル拂下當時ノ實際ノ貨貸價格ハ設定當時即チ大正十五年四月ニ對比シ著ルシク低下セル實狀ナリ又新設ニ係ル貨貸價格ハ既定ノ貨貸價格ヲ標準トシテ設定セラルモノナルヲ以テ必スシモ之ニ依リ還元シタル價格カ實際ニ於ケル土地ノ時價ナリトナスハ實情ニ副ハサルモノアリ凡ソ不況時代ニアリテハ土地貨貸價格ヨリ還元シタル價格並相續稅課稅標準ヨリ見タル價格ニ對シ相當多額ノ斟酌ヲ加フルニアラサレハ買受希望者恐ラク皆無ナルヘシ現ニ本件賣拂直後賣拂地中ノ甲地區ト相對シ地位品格全ク甲地區ト同等ト認メラルル汐見町十五、十六番地土地貨貸價格參圓(五四級)ノ土地ニ對スル地主側ノ賣却希望價格ハ坪當貳拾五圓ナルニ之カ買手皆無ナル實情ニ徴スルモ、二割六分餘ノ利用不能ナル崖地ヲ加ヘタル本地ノ價格ヲ坪當平均貳拾圓餘ト評定シタルハ不當ニアラス

【實決】 異議ナシ

【衆決】 警告

拓務省所管

臺灣總督府

歲入臨時部

第一款 官有物拂下代 第一項 官有物拂下代

【報告】

(六六) 花蓮港廳ノ徵收ニ係ル

七、八八〇六六〇

ハ昭和六年三月花蓮港廳研海區所在官有原野二百三十八甲餘ヲ廳地方費ニ對シ賣渡シタル地代金ナリ右賣渡地ハ大正十五年頃ヨリ花蓮港街富田某外二名カ多數ノ小作人ヲ招致シ無斷開墾ヲ爲シタルモノナルニ拘ラス昭和五年二月畑地等ニ開墾スルヲ條件トシ成功期間ヲ一箇年ト定メ成功後ニ於ケル土地價格ヲ甲當貳百圓ト評定シ之ヨリ開墾費甲當百五拾貳圓七拾八錢ヲ控除シタル殘額ノ七割即チ甲當參拾參圓六錢ヲ以テ豫約賣渡ヲ爲シタルハ妥當ナラスト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

本地ハ耕作ヲ續行シ來レリト雖許可直後ニ於テモ尙幾多ノ未墾地散在シ石礫ノ整理土壤ノ改良等行ハレス整理ノ域ニ達セサル狀態ナリシヲ以テ豫約買受人ハ成功期間中小作者ニ耕作セシムル極力之ヲ督勵シテ十分ナル墾成ヲ期セルモノニシテ其ノ勞銀ノ意味合ヲ以テ 開墾期限内ノ小作料ハ類地ニ比シ低廉ナル約拾四圓ト爲シタルモノナリ而シテ 成功後(六年度)ハ約貳拾八圓ニ更新増加ノ豫定ナルヲ以テ其ノ小作料ノ差額並當時ノ狀況ヨリ推定シタル開墾勞力監督費雜費等ヲ調査シ以テ開墾諸經費ノ査定ヲ爲シタルモノナリ

ト謂フニ在リ然レトモ本地ハ豫約賣渡直後五年五月實地ヲ監査シタル職員ノ報告ニ依ルモ二百三十八甲餘ノ中二百二十六甲ハ既墾地ニ屬シタルモノナルニ之ヲ未墾地トシテ處分スルカ如キハ當ヲ得サルノミナラス地代金ノ決定ニ當リ成功後ニ於ケル土地價格ヲ甲當貳百圓ト評定セルモ廳稅務課ニ於ケル土地所得標準調查資料ニ依レハ本件土地ト同等則地タル十三則知甲當價格ハ五、六百圓ヲ普通トシ本地ノ間ニ介在セル元南部臺灣海產株式會社ニ對スル成功賣渡地四十九甲餘ハ同等

既往昭和五年度 臺灣總督府 (六六)

則地ナルニ四年五月甲當五百五拾餘圓ヲ以テ賣買セラレタルノ事實等ニ鑑ミ右評定價格ハ低廉ニ失シ又開墾費トシテ甲當百五拾餘圓ヲ控除セルモ許可受人ハ本地ニ關シ監督費及雜費トシテ總額約五百圓ヲ支出セルニ過キサルノミナラス答辯ニ謂フカ如ク開墾勞銀トシテ控除セル小作料ノ值引額甲當約拾四圓ナルニ徴シ開墾費ノ算定又妥當ヲ缺キ本件賣渡地代金ハ著シク低廉ニ失スルモノト認メサルヲ得ス尙六年度ニ於テ花蓮港街ニ對シ七百五拾餘圓ヲ以テ賣渡シタル接續官有原野七十七甲餘ハ本件ト同一事情ノ既墾地ナルニ拘ラス五年二月開墾ヲ條件トシ成功期間ヲ一箇年ト定メ甲當九圓七拾錢ヲ以テ豫約賣渡ヲ爲シタルモノアリ要スルニ本件ハ名ヲ未墾地ニ藉リ低廉ナル價格ヲ以テ處分ヲ爲シ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件土地ハ豫約賣渡前已ニ粗放ナル切替畑式ノ開墾ヲナシアリタルハ事實ナルモ其ノ開墾程度僅カニ一割四五分内外ニ過キス更ニ甲當百五拾餘圓ノ經費ヲ投スルニアラサレハ成功ノ域ニ達シ難キ狀況ナリシニ鑑ミ土地評價ニ當リテハ之ヲ控除シタルモノニシテ會計検査院ノ謂フカ如ク許可面積二百三十八甲中二百二十六甲ノ成功既墾地アリタルモノニアラス又會計検査院ニ於テ花蓮港廳稅務課ノ調査ニ係ル本件土地ト同等則ノ土地所得標準調査資料ニ依ルトキハ甲當價格五六百圓ヲ普通ナリト謂フモ甲當五六百圓ノ地價ヲ有スル土地ハ十三則中最モ優良ナル熟畑ノ價格ニシテ平均價格ニアラス當府ニ於テ花蓮港廳ニ於ケル昭和六年土地所得標準調査資料ニ付キ調査セシトコロニ依レハ十三等則畑一甲當小作料ハ平均參拾五圓ナルヲ以テ假ニ小作料ノ地價ノ一割ト見做ストキハ一甲歩ノ平均地價ハ參百五拾圓トナル然レトモ此ハ老熟セル地價ニシテ本件地價ノ之ニ及ハサルハ當然ナリ

又本地ヲ元南部臺灣海產株式會社所有地ノ賣渡價格甲當五百五拾圓ナリシニ比シ地價ノ評定著シク低廉ナリト爲スモ元來右ノ賣買地ハ本地ヲ含ム千甲歩ニ近キ荒蕪原野中最モ豐饒ナル地域ニ屬シ而モ成墾後數年ヲ經過シ相當成熟セル土地ナルニ依リ開墾早々ノ本件土地ノ地價ニ比シ遙ニ高値ナルヘキハ現地ノ狀況ニ照シテ否ムヘカラサル事實ナリ
要スルニ如斯特種地域ノ地價ヲ以テ本件土地ノ地價ヲ律シ低廉ナリト爲スハ首肯シ能ハサルトコロナリ
尙花蓮港街ニ對シ賣渡シタル土地ニ就テモ亦大體同様ノ事情ニシテ検査院ノ謂フカ如ク名ヲ未墾地ニ藉リ低廉ナル價格ヲ以テ賣渡シタルモノニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 注意

樺太廳

歳入經常部

第一款 租 稅 第三項 營業收益稅

【報告】 (六七) 樺太廳泊居支廳ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

九、六九二、三〇〇

アリ右ハ樺太工業株式會社 自昭和二年十月三事業年度分營業純益額ヲ決定スルニ當リ惠須取工場ニ於ケル製紙用「バルブ」製造益合計貳拾六萬九千貳百參圓ニ對シ該工場ヲ獨立ノ營業所トシテ大正十四年新ニ製紙用「バルブ」製造業ヲ開業シタルモノト認メ樺太營業收益稅規則第九條ニ依リ課稅ヲ免除シタルモノナルモ昭和二年年度検査報告 大正十五年度ノ部並昭和四、五兩年度検査報告ニ於テ同會社所得稅ノ徵收ニ關シ掲載セシ如ク同會社「バルブ」製造業ハ大正十年以前ノ開業ナルヲ以テ右惠須取工場ノ増設ハ該事業ノ擴張ニ外ナラス隨テ樺太營業收益稅規則ニ所謂開業ト認メ之ヲ免稅スヘキモノニ非ス依テ本件ハ不當ナリトス(昭和二年度一〇二二三六頁、昭和四年度五二〇五三頁及昭和五年度七三〇六五〇頁參看)

【辨明】 本件樺太工業株式會社惠須取工場ハ獨立シタル營業所ニシテ樺太營業收益稅規則ニ所謂開業ノ意義ハ獨立シタル營業所毎ニ之ヲ適用スルモノト解シタルモノナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

(參照) ○樺太營業收益稅規則(昭和二年五月四日 樺太廳令第二十一號)

第九條第一項 左ニ掲クル物産ノ製造業ヲ營ム者ニハ其ノ申請ニ依リ開業ノ年及其ノ翌年ヨリ三年間其ノ營業ヨリ生スル純益ニ付營業收益稅ヲ免除ス

六 製紙用バルブ

【報告】 (六八) 樺太廳大泊支廳ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

五、二〇七、七二〇

アリ右ハ王子製紙株式會社 自昭和三年十二月事業年度分營業純益額ヲ決定スルニ當リ稅則施行地外ノ營業場タル北海道苫小牧工場ノ固定資産減價償却金拾四萬四千六百五拾九圓ヲ損金ニ計算シタルニ因ルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

既往昭和五年度 樺太廳 (六七)(六八)

昭和六年度總決算未確定金額表

【辨明】會計検査院検査報告ノ通

但シ昭和七年三月三十日訂正處理ヲ了シ同年四月九日税金追徴濟ナリ

【貴決】將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】不當

(別表第一號表)

昭和六年度總決算未確定金額表

出入	部所管	款	項	證明廳	金額	歳入	
						部	常經
		第一款	租稅				
		第一項	所得稅	神田橋外五十八稅務署	三、五五三、〇五二、〇一〇		
		第三項	營業收益稅	神田橋外四十五稅務署	一、二〇九、一九三、六三〇		
		第四項	資本利子稅	神田橋外十五稅務署	八、四六七、六三〇		
		第五項	相續稅	神田橋外五稅務署	七六、一三八、五五〇		
	合計				四、八四六、八五一、八一〇		
	外務省	第二款	在外公館				
		第一項	俸給		四三、三四九、八二〇		
		第二項	館費		五〇、七二八、七〇二		
		第五項	裁判及登記諸費		三、四七〇、八三四		
		第六項	在外國居留民取締費		七二、二九九、四八〇		

部	省法司	省	出		歳	
			常	經	部	常經
		省	軍	海	内務省	省
		第三款	諸支出金	諸支出金	諸支出金	諸支出金
		第一項	雜給及雜費	俸給	職業紹介所費補助	收容費
		第四項	造船造兵及修理費	雜給及雜費	救護費補助	地所家屋借料
		第五項	營費	雜給及雜費	救護費補助	電信料
		第六項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第七項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第八項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第九項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第十項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第十一項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第十二項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第十三項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第十四項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第十五項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第十六項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第十七項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第十八項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第十九項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第二十項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第二十一項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第二十二項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第二十三項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第二十四項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第二十五項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第二十六項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第二十七項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第二十八項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第二十九項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第三十項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第三十一項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第三十二項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第三十三項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第三十四項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第三十五項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第三十六項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第三十七項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第三十八項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第三十九項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第四十項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第四十一項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第四十二項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第四十三項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第四十四項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第四十五項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第四十六項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第四十七項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第四十八項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第四十九項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第五十項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第五十一項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第五十二項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第五十三項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第五十四項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第五十五項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第五十六項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第五十七項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第五十八項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第五十九項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第六十項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第六十一項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第六十二項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第六十三項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第六十四項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第六十五項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第六十六項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第六十七項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第六十八項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第六十九項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第七十項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第七十一項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第七十二項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第七十三項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第七十四項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第七十五項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第七十六項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第七十七項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第七十八項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第七十九項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第八十項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第八十一項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第八十二項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第八十三項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第八十四項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第八十五項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第八十六項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第八十七項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第八十八項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第八十九項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第九十項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第九十一項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第九十二項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第九十三項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第九十四項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第九十五項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第九十六項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第九十七項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第九十八項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第九十九項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金
		第一百項	同	雜給及雜費	救護費補助	諸支出金

昭和六年度總決算未確定金額表

昭和六年度總決算未確定金額表

歲入										出
部										部
經										所
常										管
信										款
遞										項
省										證
林										明
農										廳
省										金
計										額
第三項	收	容	費	鹿兒島刑務所	一、七一五、一〇〇					
第一款	農	林	本省	農林省	二四、七六七、九九九					
第一款	遞	信	本省							
第二款	遞	信	本省	遞信省	六〇〇、〇〇〇					
第二款	遞	信	事業費		一二、六〇〇、〇〇〇					
計					三六一、九八七、八一二					
第一款	營	繕	費							
第一款	在	外	公館修築費	外務省	八、六三五、七五〇					
第三款	補	助	費							
第一款	在	外	教育費補助		四一、五〇〇、〇〇〇					
第四款	在	外	國居留民臨時保護取締費							
第二款	事	務	費		八六、一七八、一二〇					
第六款	移	民	保護獎勵費							
第一款	移	民	保護獎勵費	同	八六、二〇〇、〇〇〇					
第十款	滿	洲	事件費							

出										
部										
時										
內										
務										
省										
大										
藏										
省										
海										
軍										
省										
司										
法										
第一項	滿	洲	事件費	同						一、〇五五、三五四、七五六
第一款	補	助	費							
第四款	土	木	費借入金利子補給	鳥取縣	五二六、二六九、九五〇					
第二款	治	水	事業費							
第一款	事	務	費	內務省土木試驗所	五九、二九九、一一〇					
第四款	道	路	改良費							
第一款	道	路	改修及助成費	內務省土木試驗所	二四七、二〇〇、〇〇〇					
第二十九款	復	興	事業費補助							
第二款	地	方	復興事業費補助	東京府	二九四、〇七七、〇〇〇					
第三十四款	失	業	救濟道路改良費							
第三款	補	助	費	鳥取外一縣	一三三、〇二四、〇二〇					
第一款	營	繕	費							
第二款	中	央	諸官衙建築費	營繕管財局	一六九、三四四、〇〇〇					
第二十款	製	鹽	地整理交付金							
第一款	製	鹽	地整理交付金	專賣局	二〇、六六〇					
第十五款	艦	艇	派遣費							
第三款	中	華	民國方面臨時艦艇派遣諸費補足	海軍省經理局外一箇所	一一、七三九、一八〇					
第二款	營	繕	費							

昭和六年度總決算未確定金額表

昭和六年度各特別會計決算未確定金額表

出	歲		部	所管	項	證	明	廳	金	額	
	部	時									所管
計	計	第五款	鹿兒島刑務所	四一四一〇〇							
		第二款	遞信省	二六、〇〇〇〇〇〇							
計	計	計		二、六二〇、七七六六四六							
		計		二、九八二、七六四四五八							

(別表第二號表)

昭和六年度各特別會計決算未確定金額表

省	藏	大	局	專	省	務	外	對	支	文	化	業	所管名稱	出	入	項	證	明	廳	金	額											
																						資	財	國	局	專	業	事	化	文	支	對
																						整	理	有	賣	賣	業	業	業	業	業	業
第一項	國有財產賣拂代	東京外四稅務監督局													四九〇、五六一八一〇																	
第二項	國有財產整理資金收	專賣局及岡山外四地方專賣局													一〇七、六四二一六〇																	
第一項	專賣局作業費																															
第二項	專賣局作業費																															
第三項	對支文化事業費																															
第四項	對支文化事業費																															
第五項	對支文化事業費																															
第六項	對支文化事業費																															
計	計																															
計	計																															

省	務	拓	府	督	總	鮮	朝	部	臨	歲	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經	常	入	歲	出	省	道	鐵	省	信	遞	省	部	文	帝	國	大	學	校	及	圖	書	部	經	常	出	部	經</
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----

既往年度各特別會計決算未確定額中檢查確定金額表

年度所管名稱		出		入	
昭 和 五 年		臺 灣 總 督 府		太 樺 省	
款 項		部 常 經 出 歲		部 時 臨 出 歲	
第十款	教 育 費	1,771,100	0	1,771,100	0
第四項	學 事 諸 費	1,771,100	0	1,771,100	0
第十二款	交 通 局	9,500,000	0	9,500,000	0
第三項	遞 信 事 業 費	9,500,000	0	9,500,000	0
第十三款	專 賣 局	11,700,000	0	11,700,000	0
第二項	事 業 費	11,700,000	0	11,700,000	0
第一款	事 業 費	11,700,000	0	11,700,000	0
第三項	港 灣 費	4,481,314	0	4,481,314	0
第四項	治 水 事 業 費	10,000,000	0	10,000,000	0
第四十三項	南支那及南洋施設費	5,100,000	0	5,100,000	0
第二款	勸 業 費	5,100,000	0	5,100,000	0
第二項	事 業 費	1,300,000	0	1,300,000	0
第一款	租 稅	1,300,000	0	1,300,000	0
第二項	所 得 稅	2,272,260	0	2,272,260	0
第三項	營 業 收 益 稅	2,910,740	0	2,910,740	0
第五款	雜 收 入	30,130,110	0	30,130,110	0
第一項	雜 收 入	30,130,110	0	30,130,110	0
前年度檢査報告提出ノ際未確定額		0	0	0	0
爾後確定額		0	0	0	0
未確定殘額		0	0	0	0

應 出 歲		應 入 歲	
部 常 經 出 歲		部 常 經 入 歲	
第二款	樺 太 廳	4,500,000	0
第二項	事 務 費	4,500,000	0

既往年度各特別會計決算未確定額中檢查確定金額表

附
錄

The right page contains a large, faint grid or table structure. It appears to be a ledger or a data table with multiple columns and rows. The content is extremely light and difficult to discern, but the grid lines are visible. The table is oriented vertically on the page.

歳入出

事

項

歳

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ

工事ノ施行ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ

所管及部局	件數	金額
商工省	一	一一三、六八四、〇〇〇
計	四	一、五三一、四六二、五二〇
特別會計		
健康保險	一	一三、九三八、〇〇〇
造幣局	一	一四一、三〇〇、三〇〇
印刷局	一	六三三、〇六四、〇〇〇
專賣局	一	一九、一九五、〇〇〇
大藏省預金部	一	一一、三五九、〇〇〇
製鐵所	一	四三二、九九七、〇〇〇
帝國鐵道	一	三四、九五〇、六二四、五七〇
計	七	三六、二〇二、四七七、八七〇
合計	一一	三七、七三三、九四〇、三九〇
一般會計		
內務省	一	一〇六、三二七、二三三四
海軍省	一	九二、八八一、四六九
計	二	一九九、一九八、七〇三
特別會計		

出

契約ノ變更ニ當リ請負代金ノ決定其ノ宜シキヲ得サルモノ

工事ノ請負及物品ノ購入ニ關シ不當ナルモノ

物品ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ

枕木ノ購入及防腐作業請負料金等高價ニ失スルモノ

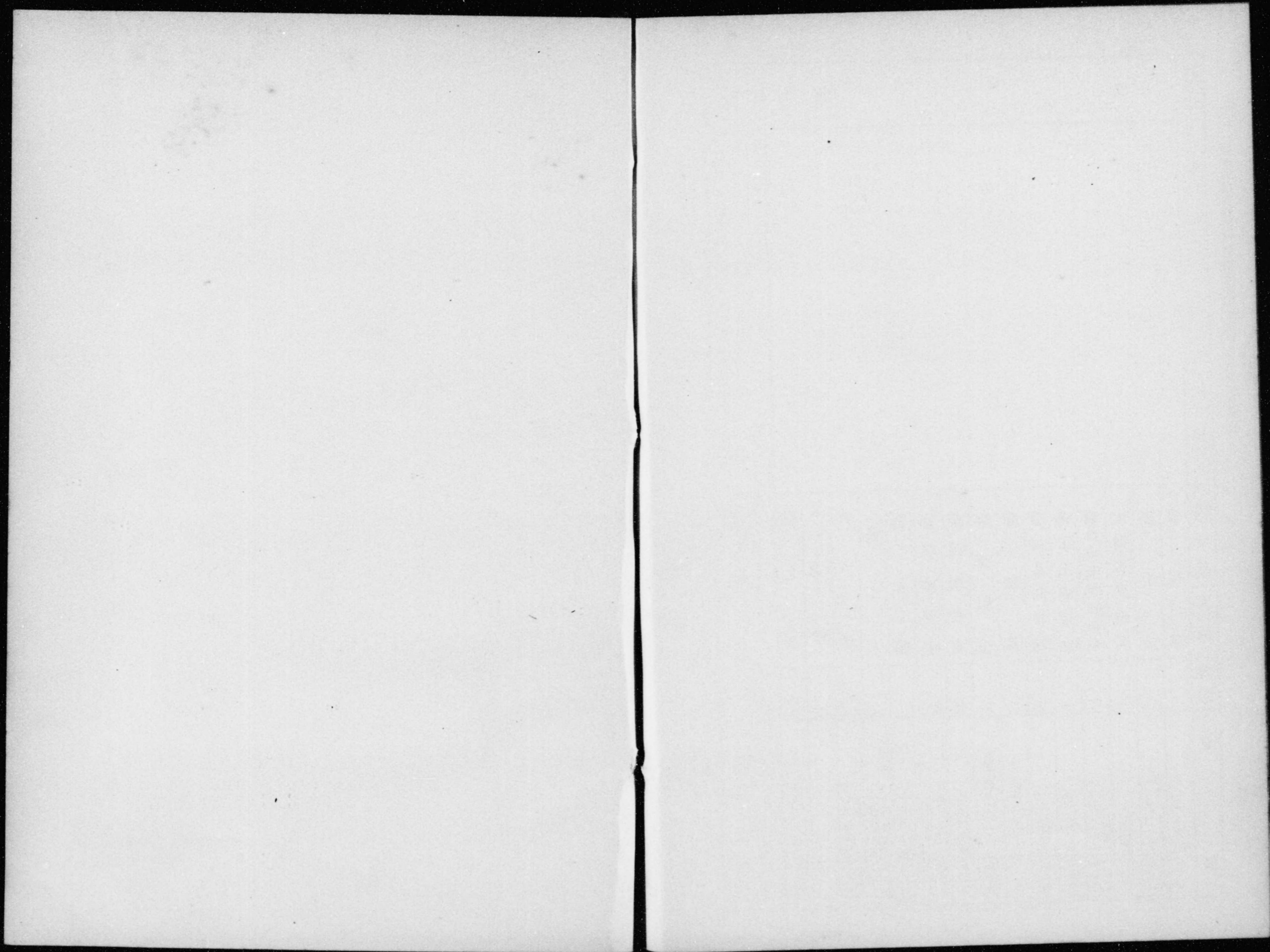
帝國鐵道	件數	金額
帝國鐵道	一	五〇、一一五、三一五
合計	三	二四九、三一四、〇一八
一般會計		
海軍省	一	五七四、四三七、四四〇
一般會計		
文部省	一	三、八二五、〇〇〇
特別會計		
學校及圖書館	一	八、四八五、七六〇
合計	二	一一、三一〇、七六〇
一般會計		
陸軍省	二	四五八、五一、一六七〇
遞信省	二	三三、七〇六、五六〇
計	四	四九二、二一八、二三三〇
特別會計		
海軍工廠資金	一	二〇七、三一八、六五〇
合計	五	六九九、五三六、八八〇
特別會計		
帝國鐵道	一	四一一、〇五四、七五〇

歳入出		事	項	所管及部局	件數	金額
		鹽包裝請負單價ノ決定其ノ宜シキヲ得サルモノ		特別會計	(一)	二〇六、二六〇、三〇〇
		土地買收ニ當リ價格ノ評定其ノ宜シキヲ得サルモノ		特別會計	(一)	四九、〇五四、五〇〇
		補助金ノ支給ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ		一般會計		
		補助金ノ支給其ノ宜シキヲ得サルモノ		農林省	一	七九、六九八、〇〇〇
		煙草元賣捌人制度廢止ニ伴フ給與金ノ交付其ノ宜シキヲ得サルモノ		商工省	一	八、〇〇〇、〇〇〇
		鹽ノ賣渡ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ		計	二	八七、六九八、〇〇〇
		虛構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノ		特別會計		
				臺灣總督府	一	一六八、八〇一、一七〇
				特別會計		
				臺灣總督府	一	二一〇、九七三、〇〇〇
				特別會計		
				臺灣總督府	一	一、八三三、六八〇
				特別會計		
				臺灣總督府	二	三、三二〇、一五〇
				特別會計		
				臺灣總督府	(一)	昭五年度 (四四、一六七、三八二)

出		其ノ他不當ナルモノ		合計		
				計	三	五、一五二、八三〇
				一般會計		
				大藏省	一	三、七九二、〇七〇
				特別會計		
				專賣局	一	五、五六三、五六〇
				學校及圖書館	二	八、一六二、七二〇
				朝鮮總督府	一	二〇、九四四、三〇〇
				臺灣總督府	一	三一、九三七、〇六〇
				計	五	六六、六〇七、六四〇
				合計	六	七〇、三九九、七一〇
				一般會計		
				內務省	二	三五七、〇一三、三六四
				大藏省	二	一、〇三七、六八一、〇七〇
				陸軍省	二	四五八、五一、一六七〇
				海軍省	二	六六七、三一八、九〇九
				文部省	一	三、八二五、〇〇〇
				農林省	二	二二二、八九一、三九〇
				商工省	二	一一一、六八四、〇〇〇

歳入出	事	項	歳出	
			件數	金額
合 計	合 計	所管及部局	二	三三、七〇六、五六〇
		遞信省	一五	二、八九二、六三一、九六三
		特別會計		
		健康保險	一	一三、九三八、〇〇〇
		造幣局	一	一四一、三〇〇、三〇〇
		印刷局	一	六三三、〇六四、〇〇〇
		專賣局	(一)四	四四一、九九一、五九〇 (一)四、二〇五、三五二
		大藏省預金部	一	一、二三五、九〇〇
		海軍工廠資金	一	二〇七、三一八、六五〇
		學校及圖書館	三	一六、六四八、四八〇
		製鐵所	一	四三一、九九七、〇〇〇
		帝國鐵道	三	三五、四一一、七九四、六三五
		朝鮮總督府	三	七、一八三、一四八〇
		臺灣總督府	四	二〇四、〇五八、三八〇
		合計	(三)八	三七、五八六、三〇一、五一五 (二)四、二〇五、三五二 四〇、四七八、九三三、四七八 (二)四、二〇五、三五二

官 物	官有地ノ貸付其ノ宜シキヲ得ス且貸付料金低廉ニ失スルモノ 國有林ノ豫約賣渡ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ	計	總計													
			(朝鮮總督府)	(臺灣總督府)	一般會計	歳入	內務省	陸軍省	海軍省	文部省	農林省	商工省	遞信省	特別會計	健康保險	造幣局
		二	一	一	二	二	二	二	二	一	二	二	二	二	二	一
					三、一七八、七二二、〇〇〇 (一)〇、三三六、〇九九、七七〇	三五七、〇一三、三六四	一〇、三七、六八一、〇七〇	四五八、五一、一六七〇	六六七、三一八、九〇九	三、八二五、〇〇〇	二二二、八九一、三九〇	一一一、六八四、〇〇〇	三三、七〇六、五六〇	三、四、一七、一三五、三九六、三 (一)〇、三三六、〇九九、七七〇	二六、五四四、九〇〇	一四一、三〇〇、三〇〇



43
110

